

令和8年3月23日

第1回川根本町総合計画審議会 資料2

**川根本町
まちづくりアンケート調査
結果報告書**

令和8年3月

川根本町

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の方法	1
3 回収結果	1
4 本調査報告書の基本的な事項	1
II アンケート結果	4
1 あなたご自身のことについて	4
2 現在の町に対する、あなたの思い(考え)について	7
3 まちづくりの満足度・重要度について	13
4 コミュニティについて	21
5 就労について	33
6 デジタル化について	35
7 暮らしやすさの幸福度(Well(ウェル)-Being(ビーイング))について	40
8 住民参加のまちづくりについて	51
9 行政施策全般について	56
10 自由意見等について	62
III アンケート調査票	66

I 調査の概要

1 調査の目的

川根本町では、今後のまちづくりの指針となる「第3次川根本町総合計画」と、少子高齢化の進展に対応し、将来にわたり活力ある社会を維持するための「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を進めています。

このアンケートは、町民の皆様の町政に対する満足度や日常生活の中で感じておられることなどについてご意見をお聞きし、その結果をこれからの総合計画や総合戦略に反映させることにより、町民の皆様と行政が一体となって住みよいまちを実現していくことを目的としています。

2 調査の方法

(1) 調査対象

町内にお住まいの18歳以上の方

(2) 抽出方法

無作為抽出

(3) 調査方法

郵送とインターネットによる調査票の配布・回収

(4) 調査時期

令和7年11月

3 回収結果

(1) 配布数 1,000

(2) 回収数 504

(3) 回収率 50.4%

4 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値等の基本的な取扱いについて

- ・比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。(回答者総数又は該当者数)
- ・複数回答については、ひとりの回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問であり、したがって、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。

- ・文中、グラフ中の設問カテゴリー（選択肢）の文言は、作図の都合上、簡略化する場合があります。
- ・本文中の“「」”内は〔アンケートの回答項目〕、“『』”内は〔アンケートの回答項目を複数あわせて表示したもの〕となります。
- ・年齢別の回答については、10代の回答者が少ないため、10代と20代を合わせて「10・20代」と標記しています。
- ・クロス集計等で、属性別の回答者数が少ない場合は、標本誤差を考慮して特にコメントはしていません。

（２）標本誤差（信頼度）について

統計調査の中で、調べたい対象全体を調べる（悉皆調査）のではなく、標本すなわち調査対象である世帯や個人、施設などを一部抽出・選定して実施される調査を**標本調査**といいます。この標本調査では、調査した対象が、全体とは必ずしも一致しないことに起因する**標本誤差**というものが存在します。すなわち、標本調査の結果として統計表などに示されている結果数値は、この標本誤差を含んだものとして見る必要があります。

標本誤差は、無作為標本調査による**推計結果値が真の値からどのくらい離れているか**の幅を示す数値です。

無作為抽出により実施した標本調査では、推計値の前後にそれぞれ標準誤差の2倍の値をとると、真の値は約95パーセントの確率でこの幅の中にあるといえるという性質があります。

誤差の大きさは、抽出の方法（無作為抽出の方法という意味）や調査対象とした集団の性質など、様々な要因により影響を受けますが、最も関連性を持つのが「**標本数の大きさ**」、すなわち、調査の客体としたサンプル数です。例えば、同一の調査、同一の項目においては、サンプル数が多い程標本誤差は小さくなり、逆に、サンプル数が少ない程標本誤差は大きくなります。

一般的には、標本誤差を小さくなるようにしたほうが、推計値の精度が上がることから、標本誤差の観点からは、サンプル数を増やして調査を行うほうが望ましいことにはなりますが、サンプル数が増加すると調査の手間や経費などが増加するため、むやみにサンプル数を増やすわけにはいきません。

従って、サンプル数の決定は、誤差の大きさとコストなどとの兼ね合いということになります。その標本調査の推計値の標本誤差をどの程度におさめて、サンプル数をいくつにするかというのが、標本調査の企画における重要な部分になりますが、これを「**標本設計**」と呼んでいます。国が実施している調査では、見たい項目についての誤差の程度、標本誤差率を**5パーセント程度**におさめるようにする設計が行われているのが多くなっています。

標本誤差は下記の式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（p）によって誤差幅が異なります。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母数集団（川根本町の18歳以上人口）

n=比率算出の基数（回答者数）

p=測定値

そこで、令和7年11月に行った川根本町民アンケートの母数集団（選挙人名簿）5,002人、サンプル数1,000、有効回答者数504、回収率は50.4%であり、これを上式に当てはめての標本誤差について計算すると、

測定値 (%)	信頼区間の1/2幅 (%)
50	4.2
45・55	4.2
40・60	4.1
35・65	4.0
30・70	3.9
25・75	3.7
20・80	3.4
15・85	3.0
10・90	2.5
5・95	1.8

となり、すべての区間において誤差率は5パーセント以内に納まっています。

この表の使い方は、ある設問に対しての回答が50%であったとすると、測定値50%の1/2幅は4.2%ですから、同じアンケートを対象者全数に行っても、45.8～54.2%の間で回答が得られるということを示しています。

Ⅱ アンケート結果

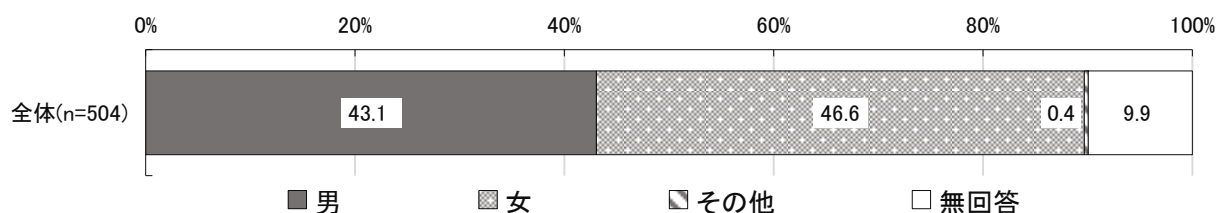
Ⅰ あなたご自身のことについて

問Ⅰ

あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとに当てはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。

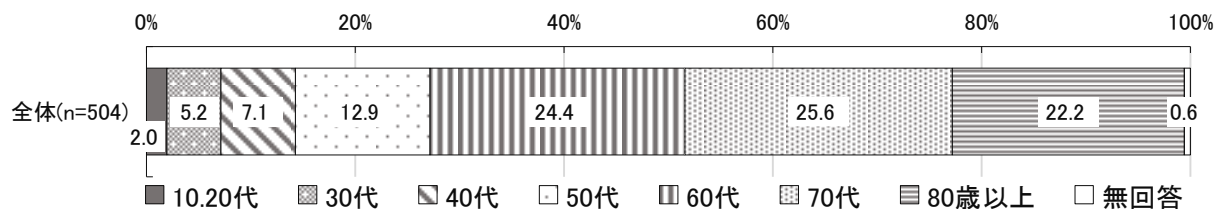
(1) 性別

性別については、「男性」が43.1%、「女性」が46.6%、「その他」が0.4%となっており、「女性」のほうが高くなっています。



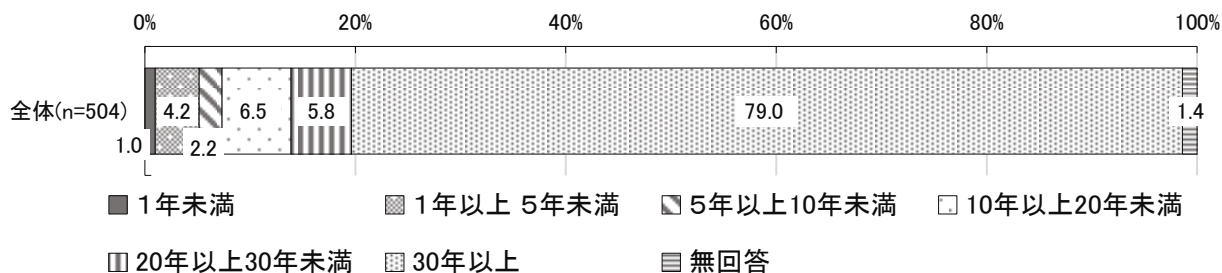
(2) 年齢

年齢については、「70代」が25.6%と最も高く、次いで、「60代」(24.4%)、「80歳以上」(22.2%)、「50代」(12.9%)、「40代」(7.1%)、「30代」(5.2%)、「10・20代」(2.0%)の順となっています。



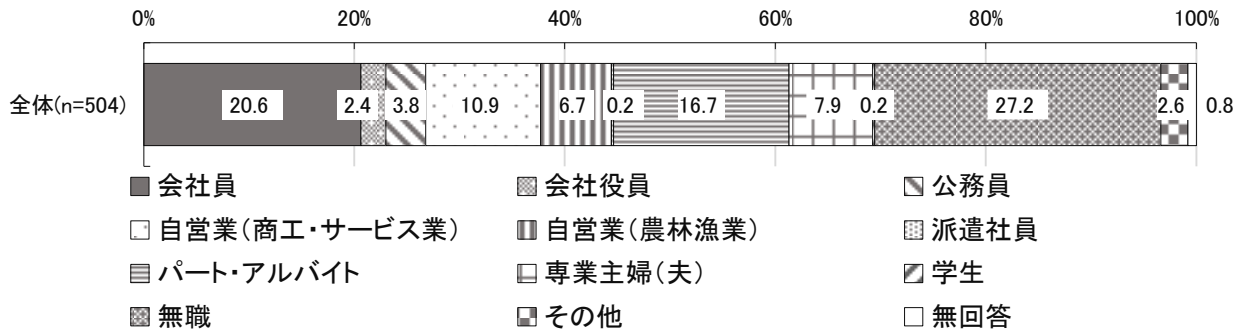
(3) 川根本町に住んでいる通算年数

川根本町における居住年数については、「30年以上」が79.0%と最も高く、次いで、「10年以上20年未満」(6.5%)、「20年以上30年未満」(5.8%)、「1年以上5年未満」(4.2%)、「5年以上10年未満」(2.2%)、「1年未満」(1.0%)の順となっています。



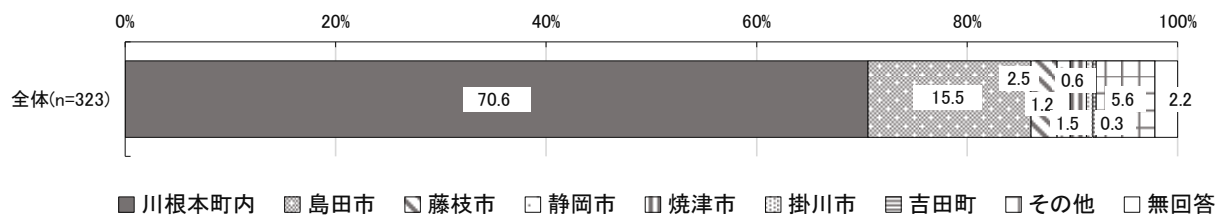
(4) 職業

職業については、「無職」が27.2%と最も高く、次いで、「会社員」(20.6%)、「パート・アルバイト」(16.7%)、「専業主婦(夫)」(7.9%)、「自営業(農林漁業)」(6.7%)などの順となっています。



(5) あなたの通勤先・通学先

通勤先・通学先については、「川根本町内」が70.6%と最も高く、次いで、「島田市」(15.5%)、「その他」(5.6%)の順となっています。

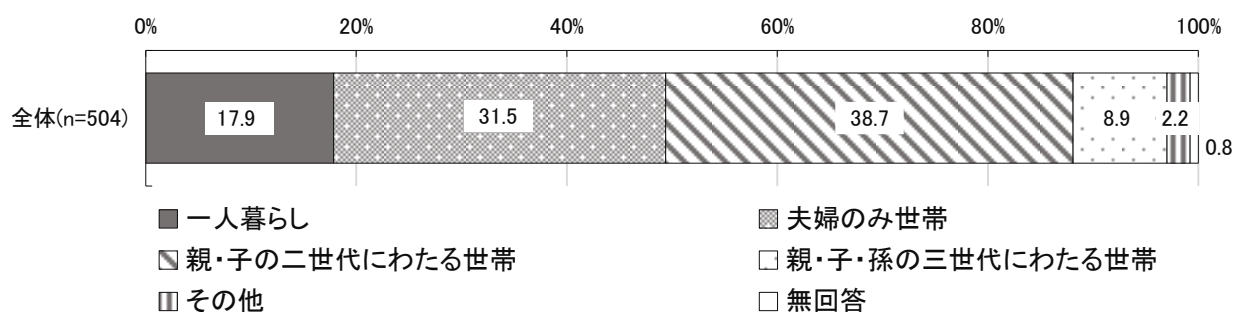


[その他]

袋井市) / 牧之原市 / 菊川市

(6) 家族構成

家族構成については、「親・子の二世代にわたる世帯」が38.7%と最も高く、次いで、「夫婦のみ世帯」(31.5%)、「一人暮らし」(17.9%)、「親・子・孫の三世代にわたる世帯」(8.9%)などの順となっています。

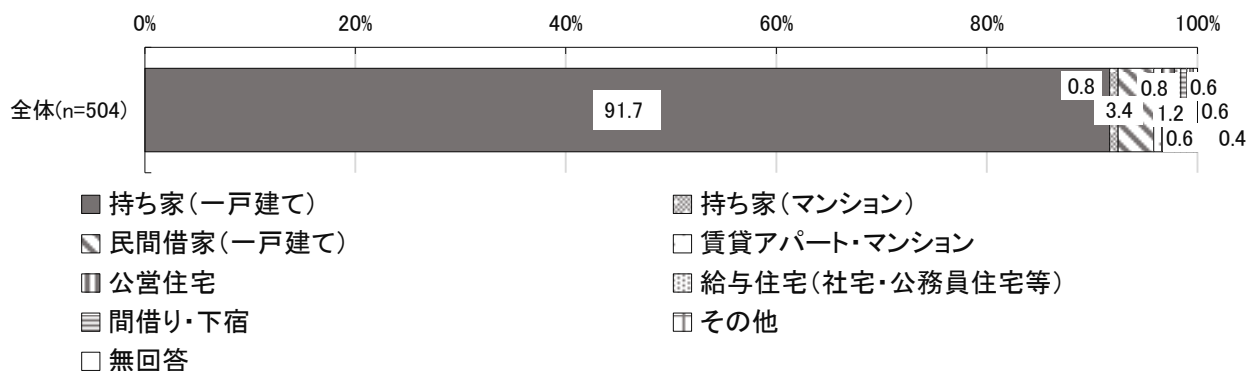


[その他]

息子と2人/夫婦、妹/介護施設/兄、妹/兄弟世帯/兄、娘

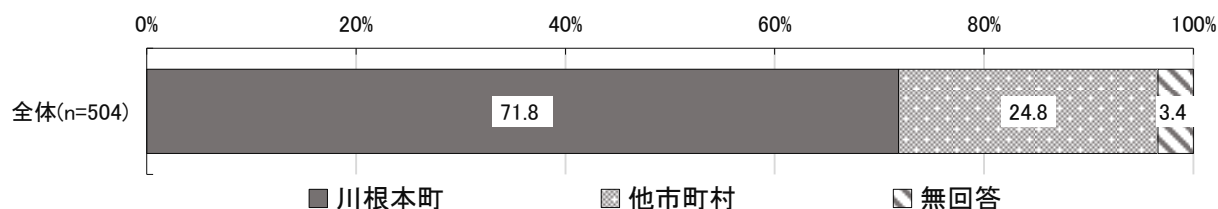
(7) 住居形態

住居形態については、「持ち家（一戸建て）」が91.7%と最も高く、次いで、民間借家（一戸建て）」(3.4%)などの順となっています。



(8) あなたの出身地

出身地については、「川根本町」が71.8%、「他市町村」が24.8%となっており、「川根本町」の出身者が多くなっています。



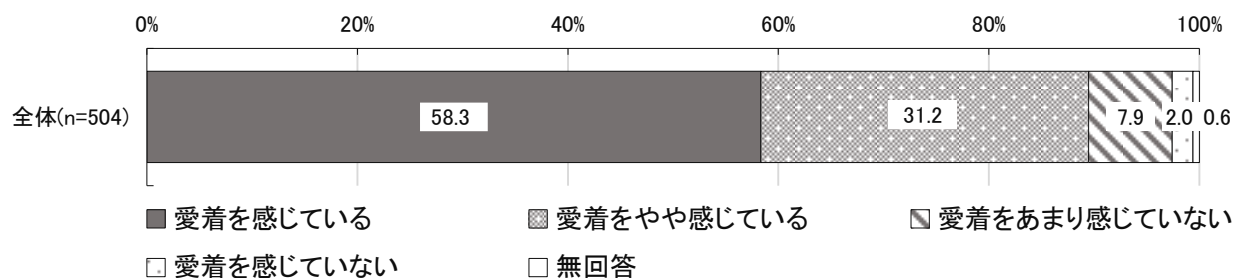
2 現在の町に対する、あなたの思い(考え)について

問 2

あなたは、川根本町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。

(1つに○印)

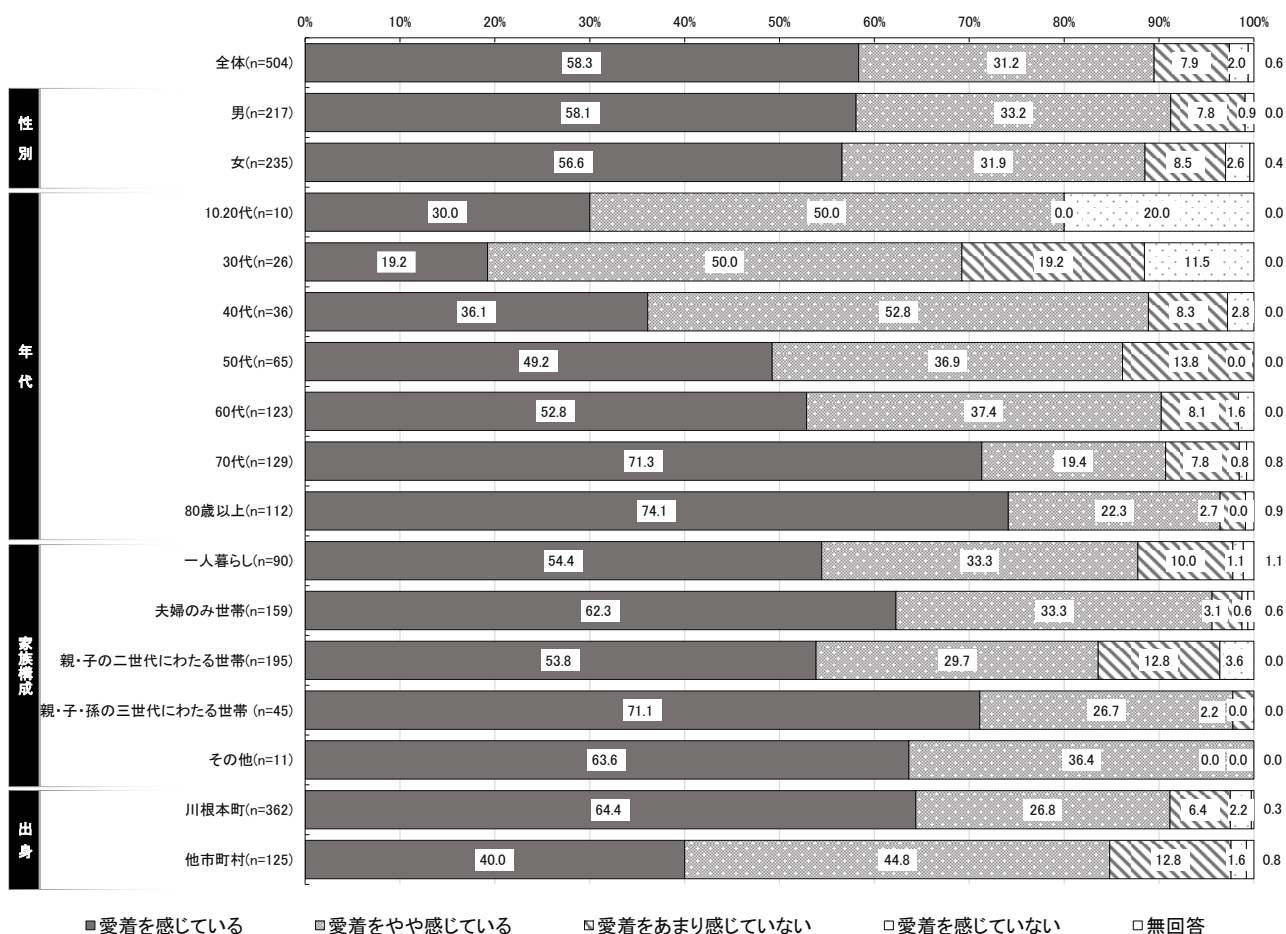
愛着度については、「愛着を感じている」(58.3%)と「愛着をやや感じている」(31.2%)を合わせた『川根本町に愛着を感じている』は89.5%となっており、町民の9割近くが川根本町に愛着を感じていることになります。一方、「愛着をあまり感じていない」(7.9%)と「愛着を感じていない」(2.0%)を合わせた『川根本町に愛着を感じていない』は9.9%と、全体の中では少数です。



【属性の分析】

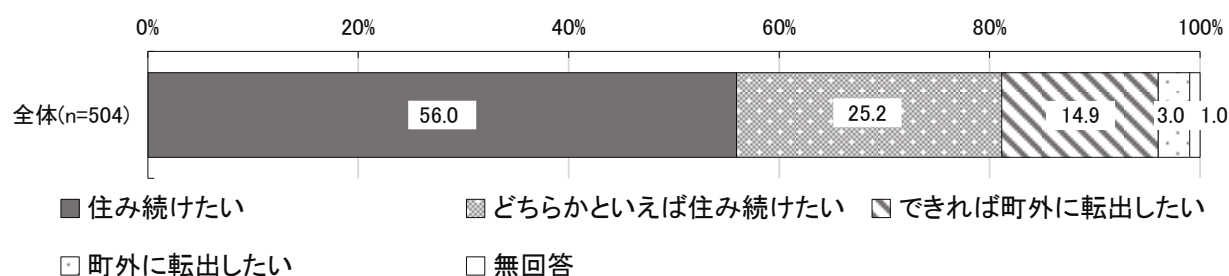
年代別でみると、20代以下と30代、40代は『川根本町に愛着を感じている』の割合が他年代より低くなっています。

出身地別でみると、川根本町出身者では「愛着を感じている」が64.4%と他市町村出身者より高くなっています。



問3 あなたは、これからも川根本町に住み続けたいと思いますか。(1つに○印)

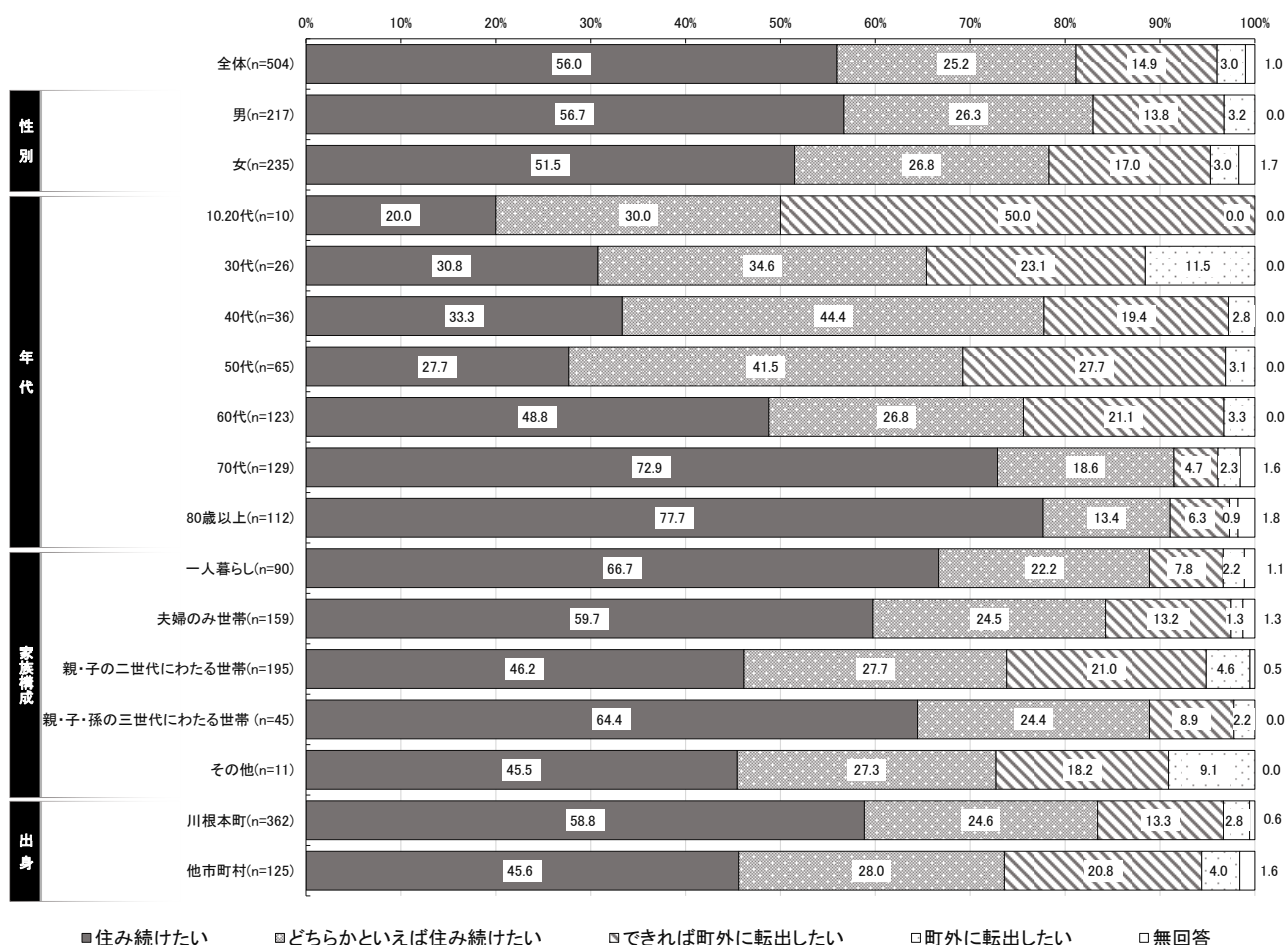
定住意向については、「住み続けたい」(56.0%)、「どちらかといえば住み続けたい」(25.2%)を合わせた『川根本町に住み続けたい』は81.2%と8割以上が川根本町への定住希望があることになります。一方「できれば町外に転出したい」(14.9%)と「町外に転出したい」(3.0%)を合わせた『川根本町から転出したい』は17.9%と、全体の中では2割以下にとどまっています。



【属性の分析】

年代別でみると、10・20代と30代、40代では『川根本町に住み続けたい』の割合が他の年代より低くなっています。

出身地別でみると、川根本町出身者では「住み続けたい」が58.8%と他市町村出身者より高くなっています。

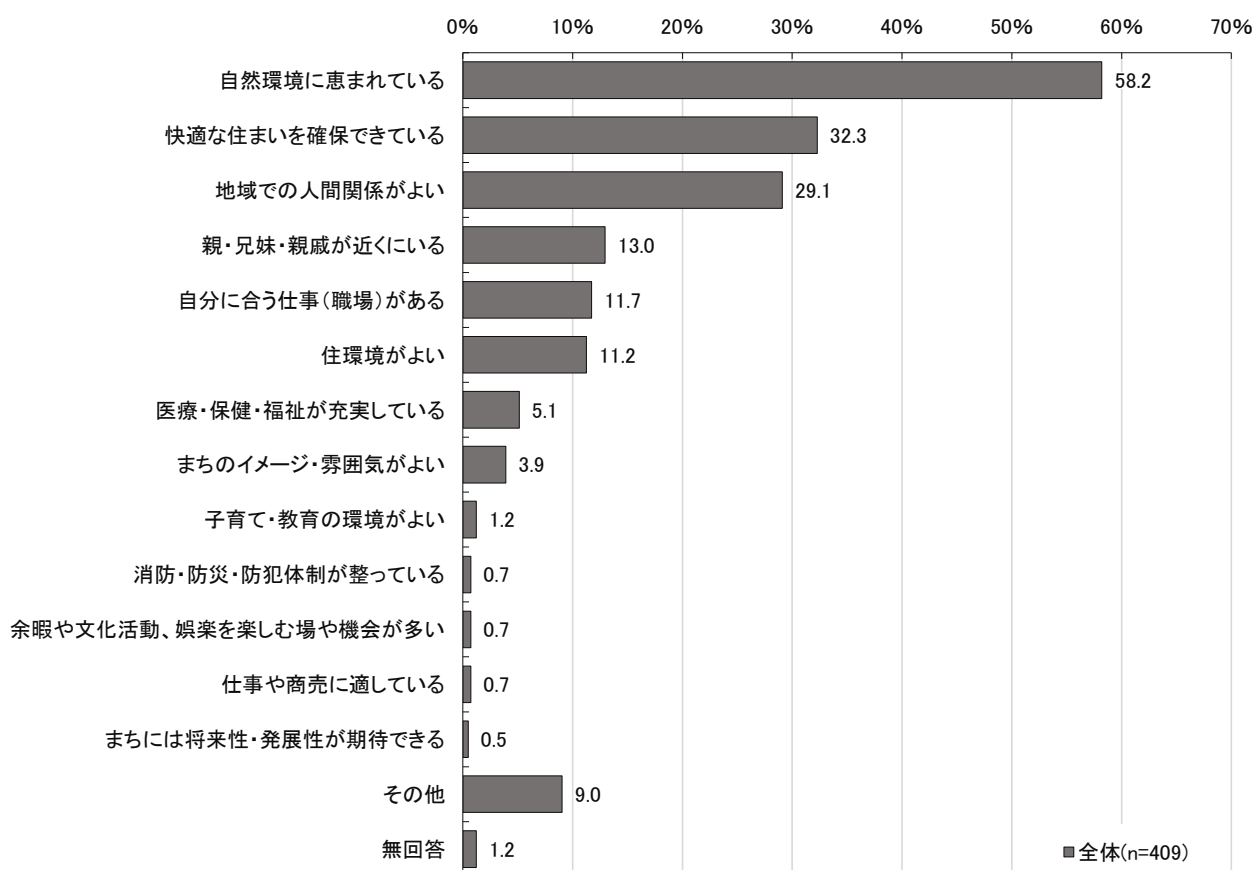


問3-1

問3で「1. 住み続けたい」または「2. どちらかといえば住み続けたい」と回答した方におたずねします。

住み続けたい理由は？（2つまで○印）

住み続けたい理由については、「自然環境に恵まれている」が 58.2%と最も高く、次いで、「快適な住まいを確保できている」(32.3%)、「地域での人間関係がよい」(29.1%)、「親・兄妹・親戚が近くにいる」(13.0%)、「自分に合う仕事(職場)がある」(11.7%)、「住環境がよい」(11.2%)などの順となっています。



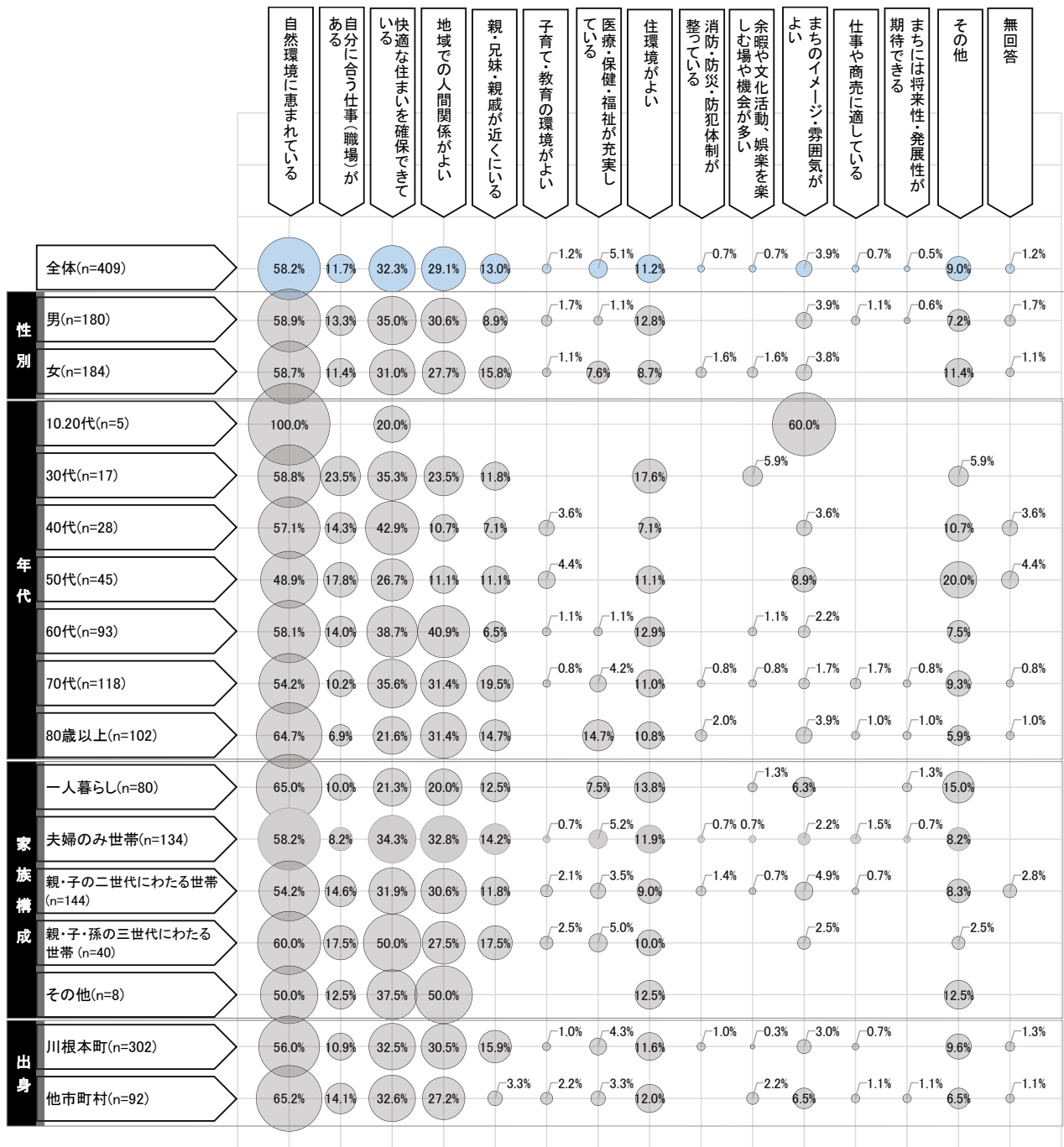
〔その他〕

最後までこの町で暮らしたい/生まれたこの家が好き/ほかに行くところも余力もない/子供達が地域の人達からかわいがってもらい、子供達が川根本町を好きだから。/不便さを感じながらも建てた家があり、長年この場所で生きてきたから/先祖よりの土地があるから/ここで生まれてここで育った/生まれ故郷で終活したい/転居が面倒/今の年齢ではどこも行けない/親が高齢のため/年々外来人口が増えてきて、この町に楽しく過ごしているため/茶畑を所有している/仕事を辞めれない

【 属性の分析 】

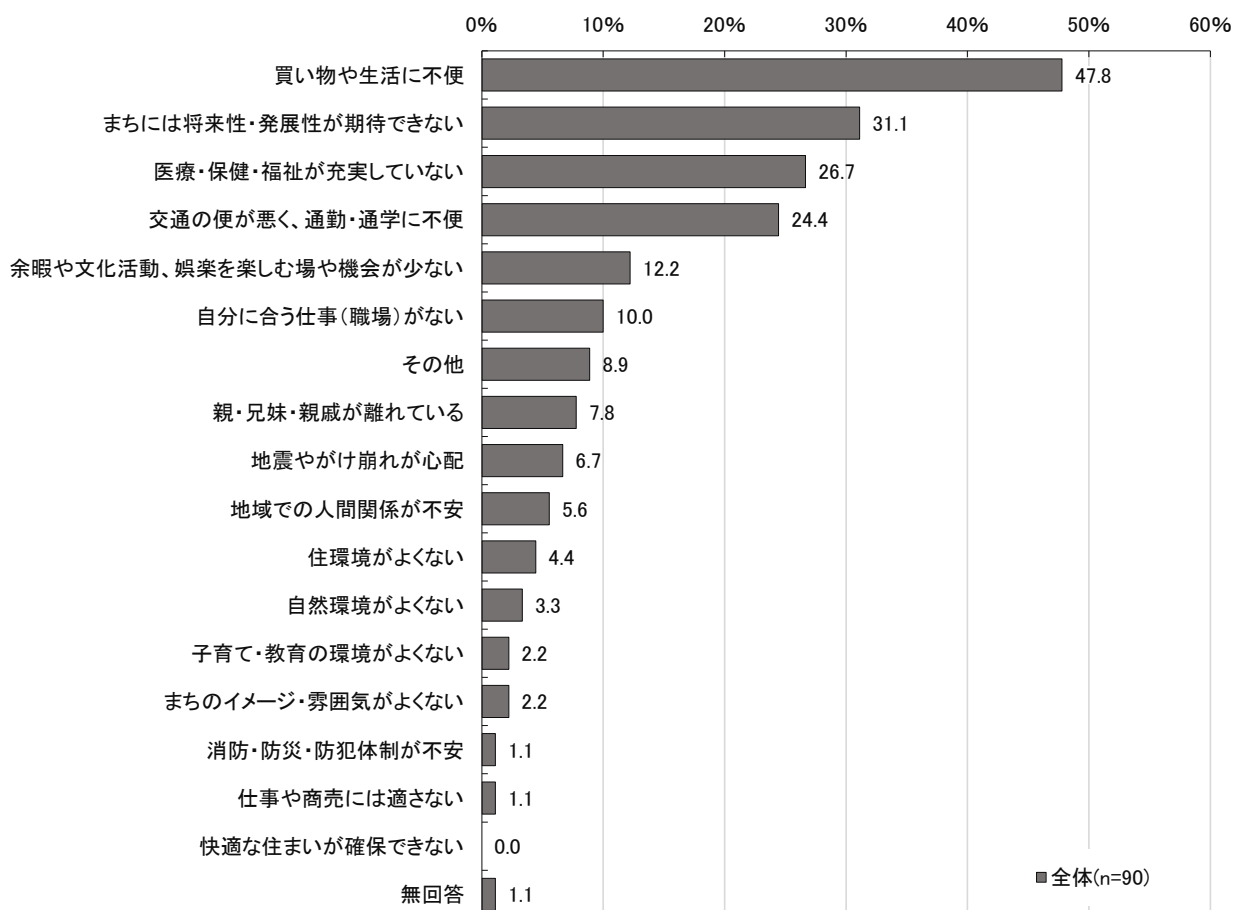
年代別でみると、10・20代では「自然環境に恵まれている」、40代では「快適な住まいを確保できている」、60代以上では「地域での人間関係がよい」が高くなっています。

出身地別でみると、川根本町出身者では「親・兄妹・親戚が近くにいる」が高くなっています。



問3-2	問3で「3. できれば町外に転出したい」または「4. 町外に転出したい」と回答した方におたずねします。 転出したい理由は？（2つまで○印） 【回答者数：90人】
------	--

転出したい理由については、「買い物や生活に不便」が47.8%と最も高く、次いで、「まちには将来性・発展性が期待できない」(31.1%)、「医療・保健・福祉が充実していない」(26.7%)、「交通の便が悪く、通勤・通学に不便」(24.4%)などの順となっています。



〔その他〕

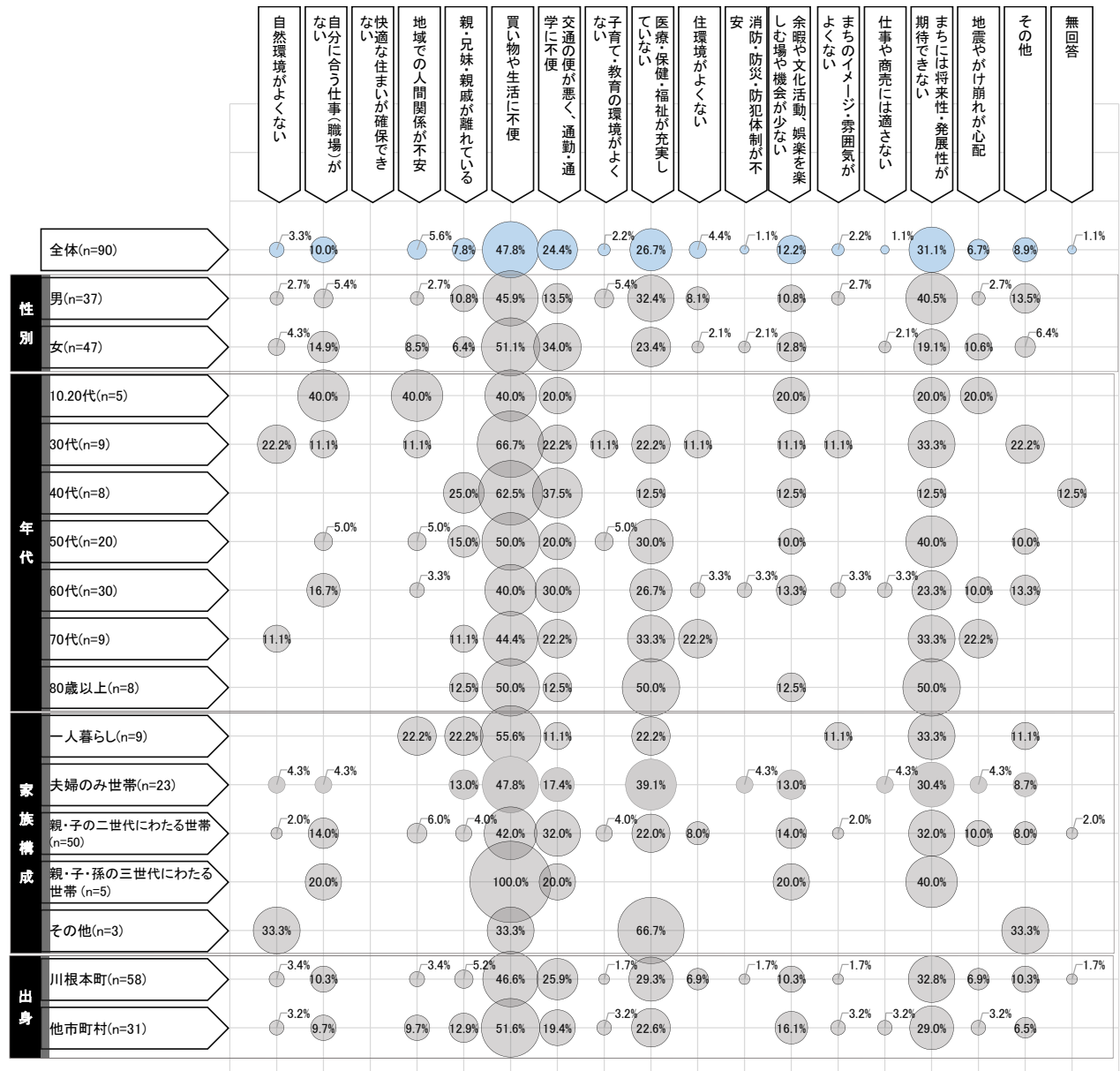
国外に移住したい/町外に自宅があるため/人間関係/職場が遠い/子供が町外にいるから/子供が、町内に住んでないので、いずれここを離れる事になる。若者が静岡、島田に通勤出来る道路状況、時間でないから、無理。

【 属性の分析 】

性別でみると、男性に「まちには将来性・発展性が期待できない」「医療・保健・福祉が充実していない」、女性に「交通の便が悪く、通勤・通学に不便」が高くなっています。

年代別でみると、50代と80歳以上に「まちには将来性・発展性が期待できない」、80歳以上に「医療・保健・福祉が充実していない」が高くなっています。

家族構成別では、「買い物や生活に不便」が高くなっています。



3 まちづくりの満足度・重要度について

問 4	川根本町での暮らしについて、第2次総合計画の各分野の現在の「①評価」と、その分野の施策の今後の「②重要度」をおたずねします。それぞれの項目についてお答えください。
-----	---

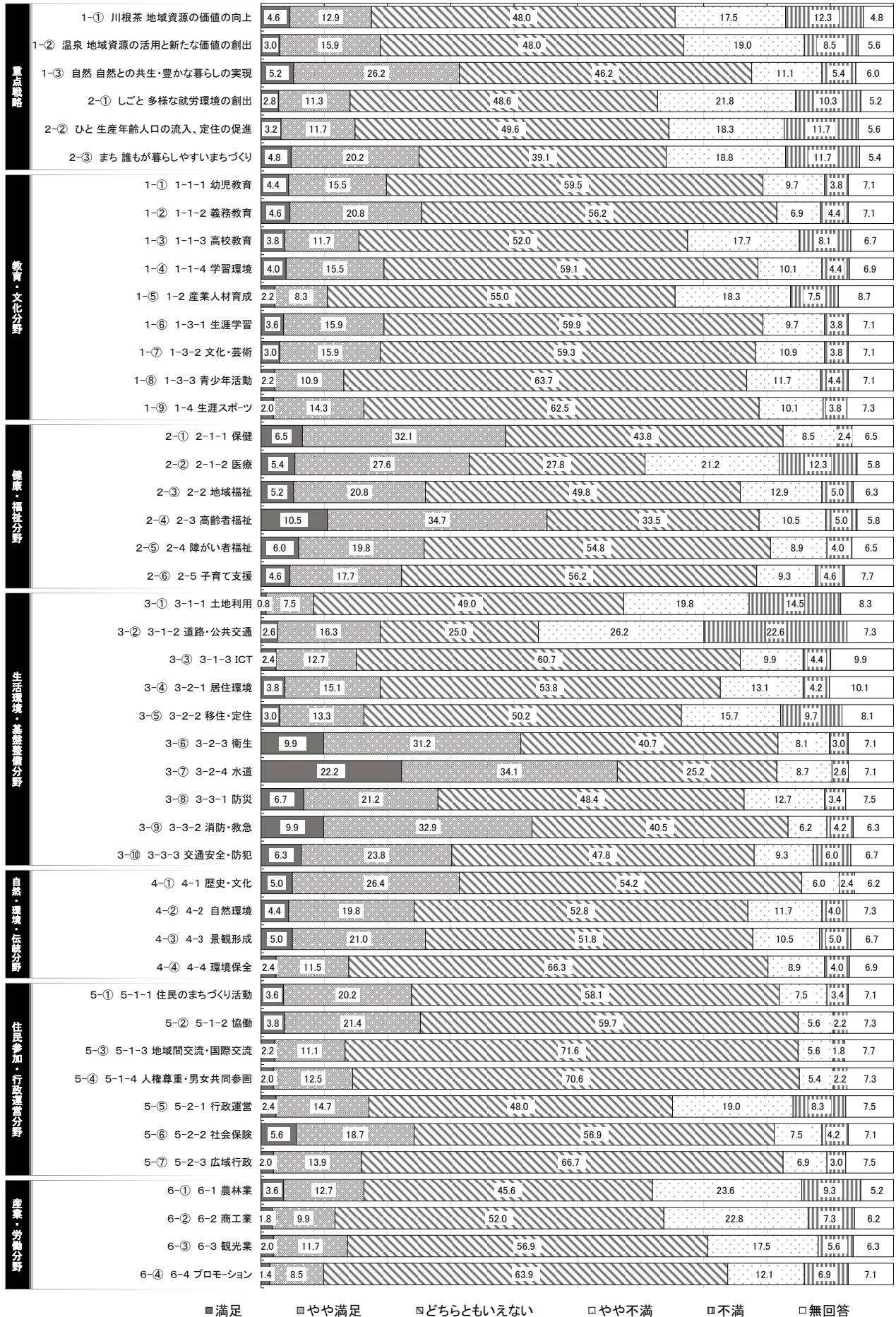
① 満足度

満足度については、「満足」と「やや満足」を合わせた『川根本町での暮らしに満足』は、「3-2-4 水道」が56.3%と最も高く、次いで、「2-3 高齢者福祉」(45.2%)、「3-3-2 消防・救急」(42.8%)、「3-2-3 衛生」(41.1%)、「2-1-1 保健」(38.6%)などの順となっています。

また、「やや不満」と「不満」を合わせた『川根本町での暮らしに不満』は、「3-1-2 道路・公共交通」が48.8%と最も高く、次いで、「3-1-1 土地利用」(34.3%)、「2-1-2 医療」(33.5%)、「6-1 農林業」(32.9%)などの順となっています。

全体(n=504)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

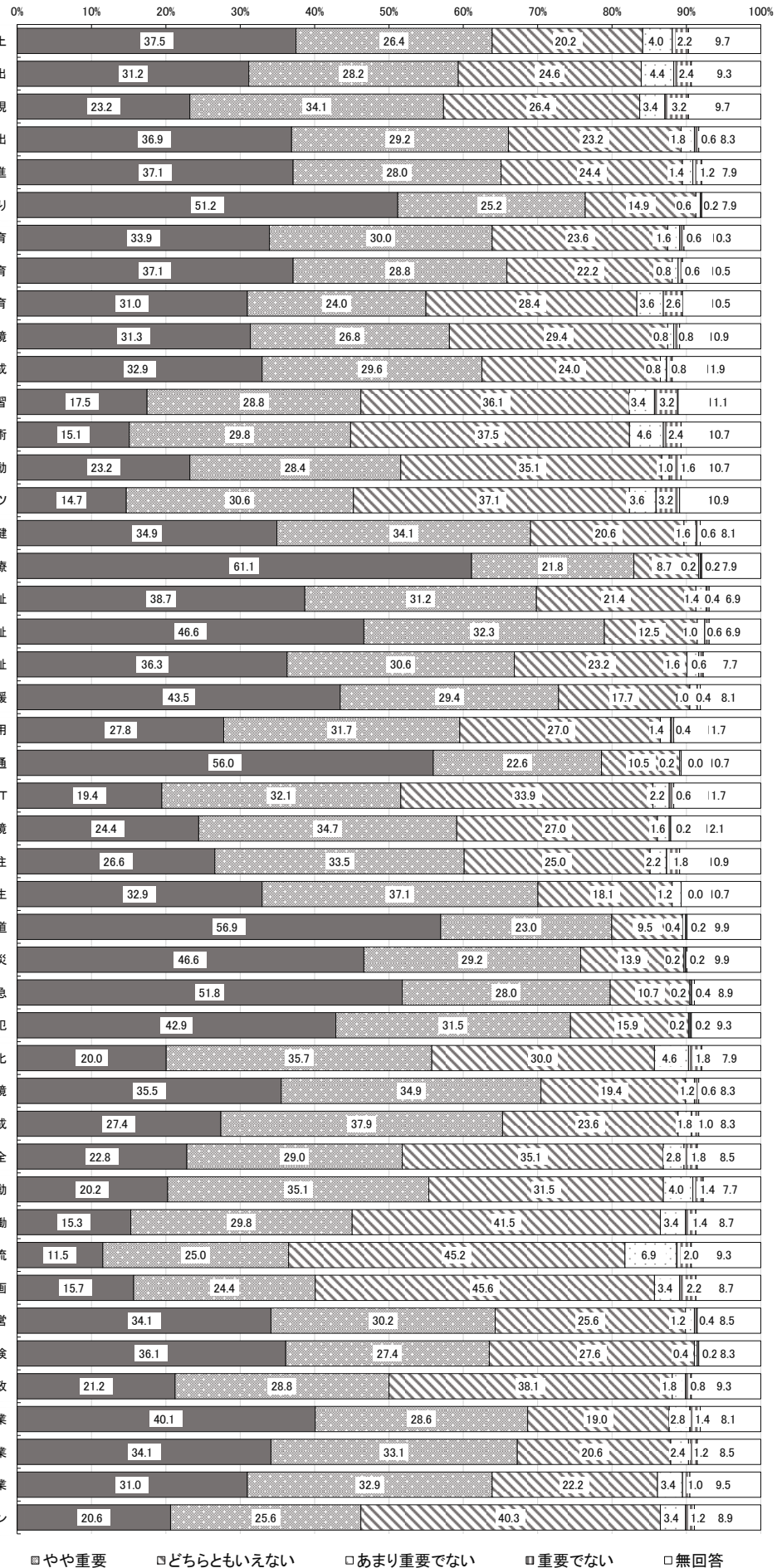


② 重要度

重要度については、「重要」と「やや重要」を合わせた『川根本町での暮らしに重要』は、「2-1-2 医療」が82.9%と最も高く、次いで、「2-3 高齢者福祉」(79.0%)、「3-1-2 道路・公共交通」(78.6%)、「まち 誰もが暮らしやすいまちづくり」(76.4%)、「3-3-3 交通安全・防犯」(74.4%)などの順となっています。

また、「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた『川根本町での暮らしに重要でない』は、「5-1-3 地域間交流・国際交流」が8.9%と最も高く、次いで、「1-3-2 文化・芸術」(6.9%)、「1-4 生涯スポーツ」「温泉 地域資源の活用と新たな価値の創出」(同率 6.7%)、「1-3-1 生涯学習」「自然 自然との共生・豊かな暮らしの実現」(同率 6.5%)などの順となっています。

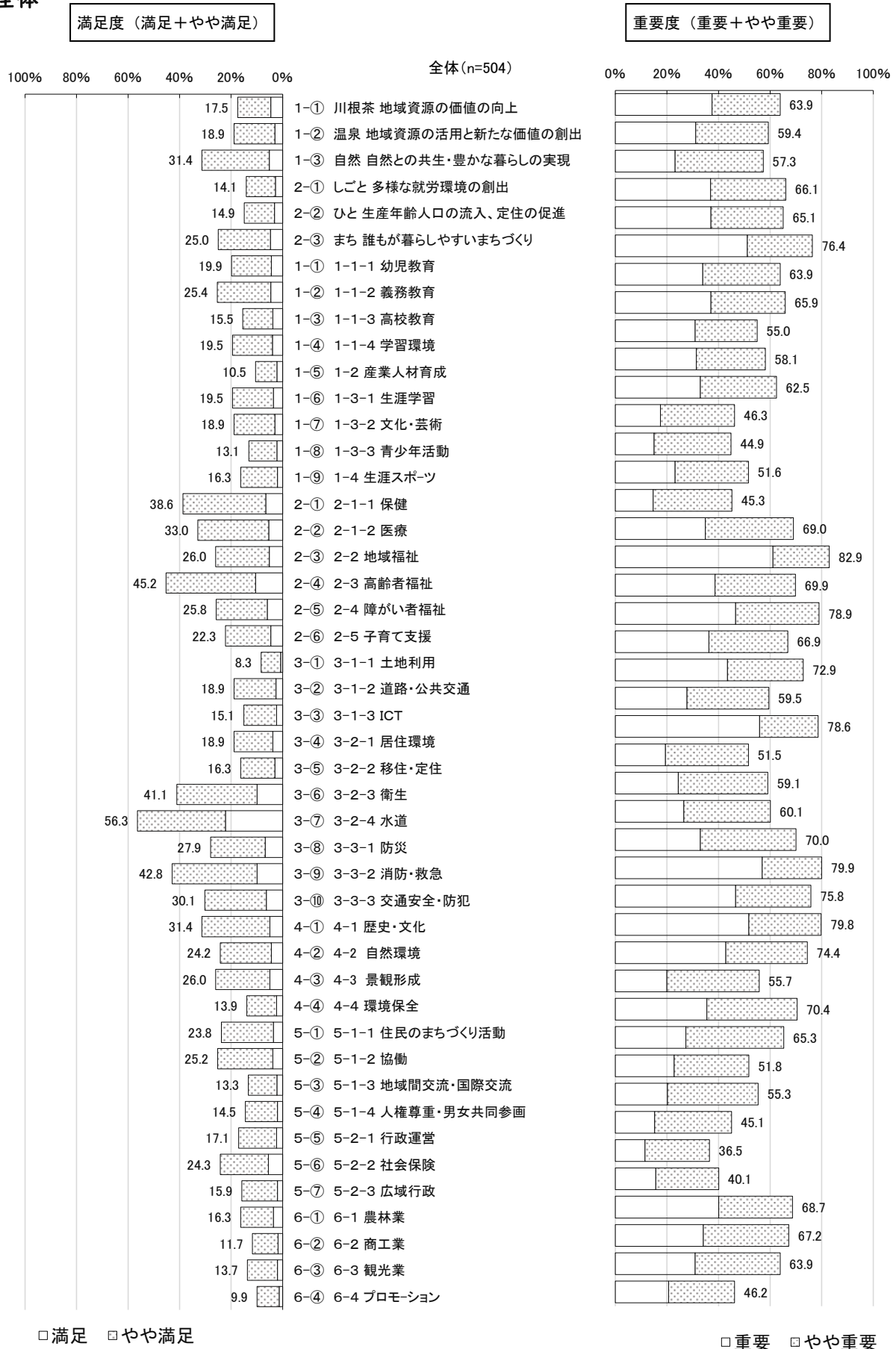
全体(n=504)



■重要 □やや重要 □どちらともいえない □あまり重要でない □重要でない □無回答

全体の満足度（満足＋やや満足）と重要度（重要＋やや重要）となります。

■全体



【点数化による分析】

※加重平均値の算出方法（重要度も同様）

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

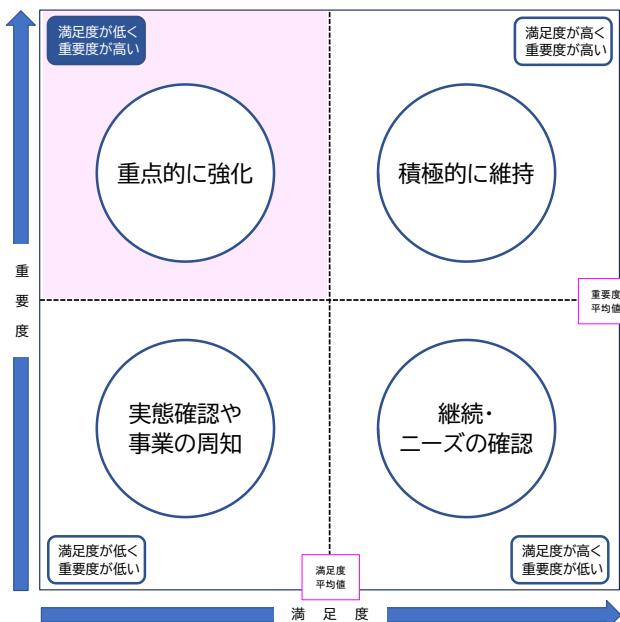
$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足」の回答数} \times 3 \text{点} \\ \text{「やや満足」の回答数} \times 2 \text{点} \\ \text{「どちらともいえない」の回答数} \times 1 \text{点} \\ \text{「やや不満」の回答数} \times -2 \text{点} \\ \text{「不満」の回答数} \times -3 \text{点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足」、「やや満足」、} \\ \text{「どちらともいえない」、} \\ \text{「やや不満」、「不満」} \\ \text{の回答数の合計} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点は3点～－3点の間に分布し、3点に近くなるほど評価は高くなり、逆に－3点に近くなるほど評価が低くなる。

各施策の満足度と重要度を偏差値化し、分布図を作成しました。

満足度と重要度それぞれの相関について平均点を算出し、グラフ上にラインを引くと4つのエリアに分類されます。左上エリア（満足度が低く重要度が高い）が『重点的に強化する必要がある領域』、右上エリア（満足度が高く重要度が高い）が『積極的に維持していくべき領域』、左下エリア（満足度低く重要度低い）が『町民ニーズの実態確認や事業の周知を図るべき領域』、右下エリア（満足度高く重要度低い）が『満足度を保ちながらニーズに見合った対応をすべき領域』となります。

■グラフの見方

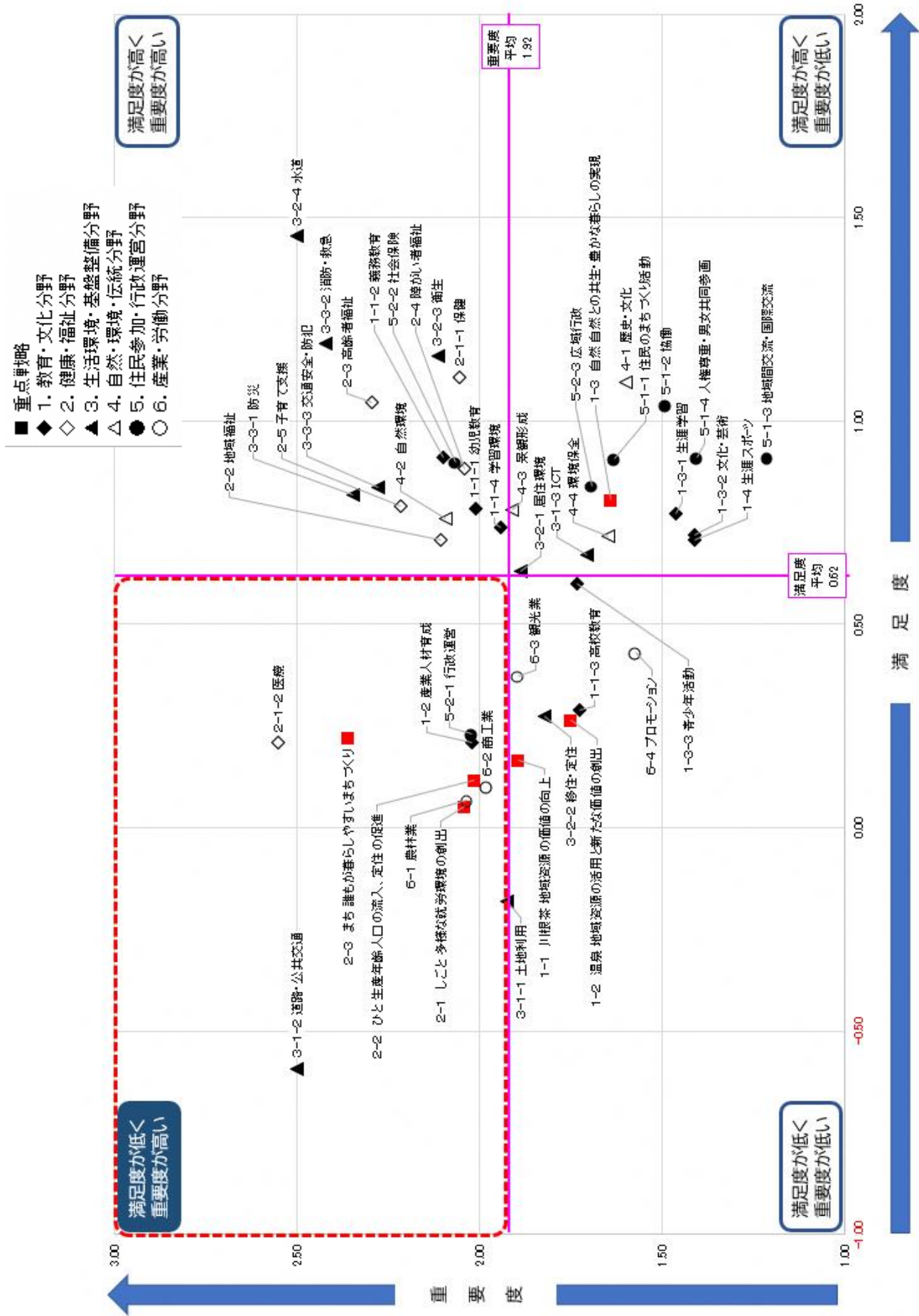


区 分	内 容
満足度が低く 重要度が高い	重点的に強化する必要がある領域
満足度が高く 重要度が高い	積極的に維持していくべき領域
満足度低く 重要度低い	町民ニーズの実態確認や事業の周知を図るべき領域
満足度高く 重要度低い	満足度を保ちながらニーズに見合った対応をすべき領域

満足度が低く重要度が高い『重点的に強化する必要がある領域』については、次の9項目となります。

中でも「3-1-2 道路・公共交通」については、満足度が特に低くなっており、とりわけ対応が必要な項目であると考えられます。

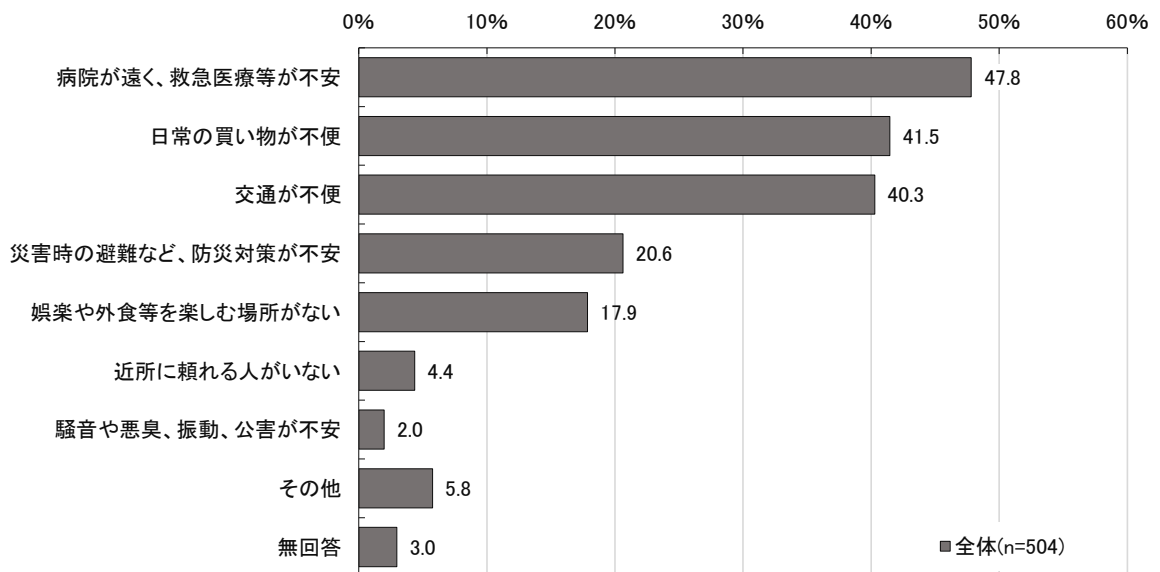
基本目標	施 策
生活環境・基盤整備分野 快適に安心して暮らせるふるさと	3-1-2 道路・公共交通
健康・福祉分野 安心して元気に暮らせるふるさと	2-1-2 医療
人口減少の克服を目指すプロジェクト	まち 誰もが暮らしやすいまちづくり ひと 生産年齢人口の流入、定住の促進 しごと 多様な就労環境の創出
産業・労働分野 お茶と温泉 活気ある産業に満ちたふるさと	6-1 農林業 6-2 商工業
教育・文化分野 地域を支えるひとであふれるふるさと	1-2 産業人材育成
住民参加・行政運営分野 住民主役の地域づくりが盛んなふるさと	5-2-1 行政運営



4 コミュニティについて

問5 あなたが、お住まいの地域で特にお困りのことはどれですか。（2つまで○印）

地域で特にお困りのことについては、「病院が遠く、救急医療等が不安」が47.8%と最も高く、次いで、「日常の買い物が不便」(41.5%)、「交通が不便」(40.3%)、「災害時の避難など、防災対策が不安」(20.6%)、「娯楽や外食等を楽しむ場所がない」(17.9%)などの順となっています。

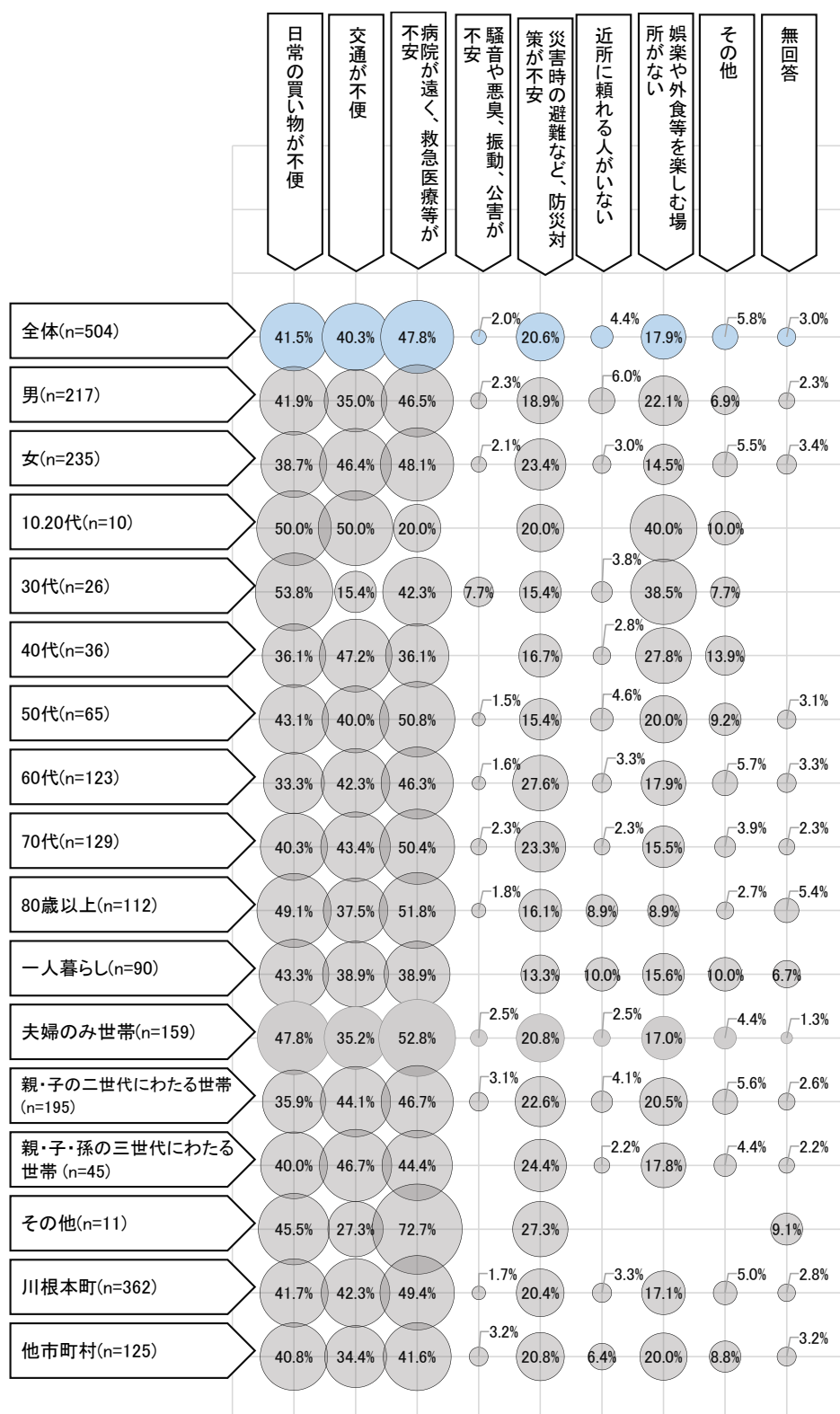


[その他]

ごみ収集場が遠い/車が多くなったことへの配慮、観光者のマナーとゴミ、●●茶園の対応、草むら増大/商店が早く閉店するため明かりが早く消える/4 以外困っている/リニアによる水の不足や水質汚染は不安/空き家が多く、防犯が心配/腕の良い獣医がいない/茶畑等の放棄地/農作物を荒らす動物への対策/空き家の状況/若者がいない/ドッグランの場所が欲しい。道の駅の辺り。/いずれも現状は車を使って解決しているが、さらに高齢になったとき困るのではないか/農地の管理が大変になってきた/ゴミ当番制を廃止してほしい、会社休まないといけない/茶畑が、荒れて野生動物のすみかになっている。/独居が多い。サービスを利用する事を理解できていない高齢者がいる。/ランニングや子供の外遊びを安全に楽しめる環境がない。/頼りたいところは4時まで、土日休みなこと/町のお金の使い方、県立高校を助成する必要はない！コレに1億円使うのは間違ってる！/獣がでてくるようになり、不安です/熊や野良猫、空き家問題が不安。/私有地への無断駐車等々/地域住民の高齢化/道路がぼこぼこしている。/静岡岡に行く道にトンネルを作って時間短縮をしっかりと静岡市と協議して実現してほしい等

【 属性の分析 】

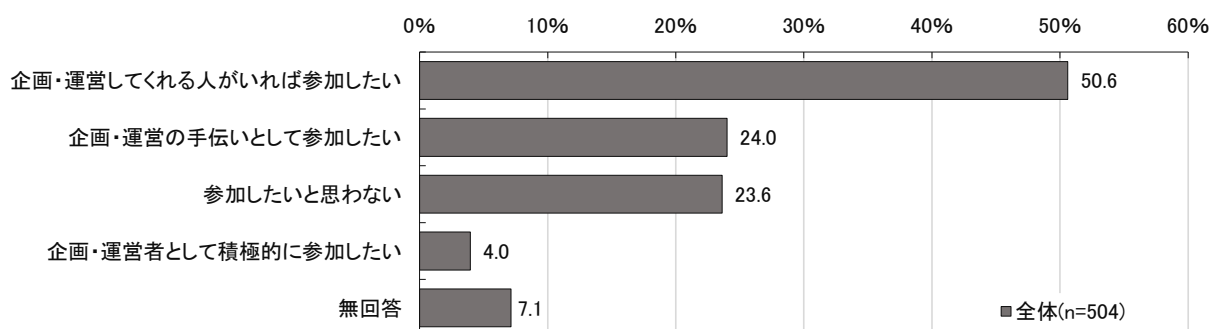
性別では男性、年代別では 10・20 代、30 代で「娯楽や外食等を楽しむ場所がない」の割合が他の年代より高くなっています。また、60 代、70 代で「災害時の避難など、防災対策が不安」の割合が他の年代より高くなっています。



問6

あなたは、清掃・美化活動、サークル活動、まちづくり活動など、地域が中心となった活動には、どのように参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)

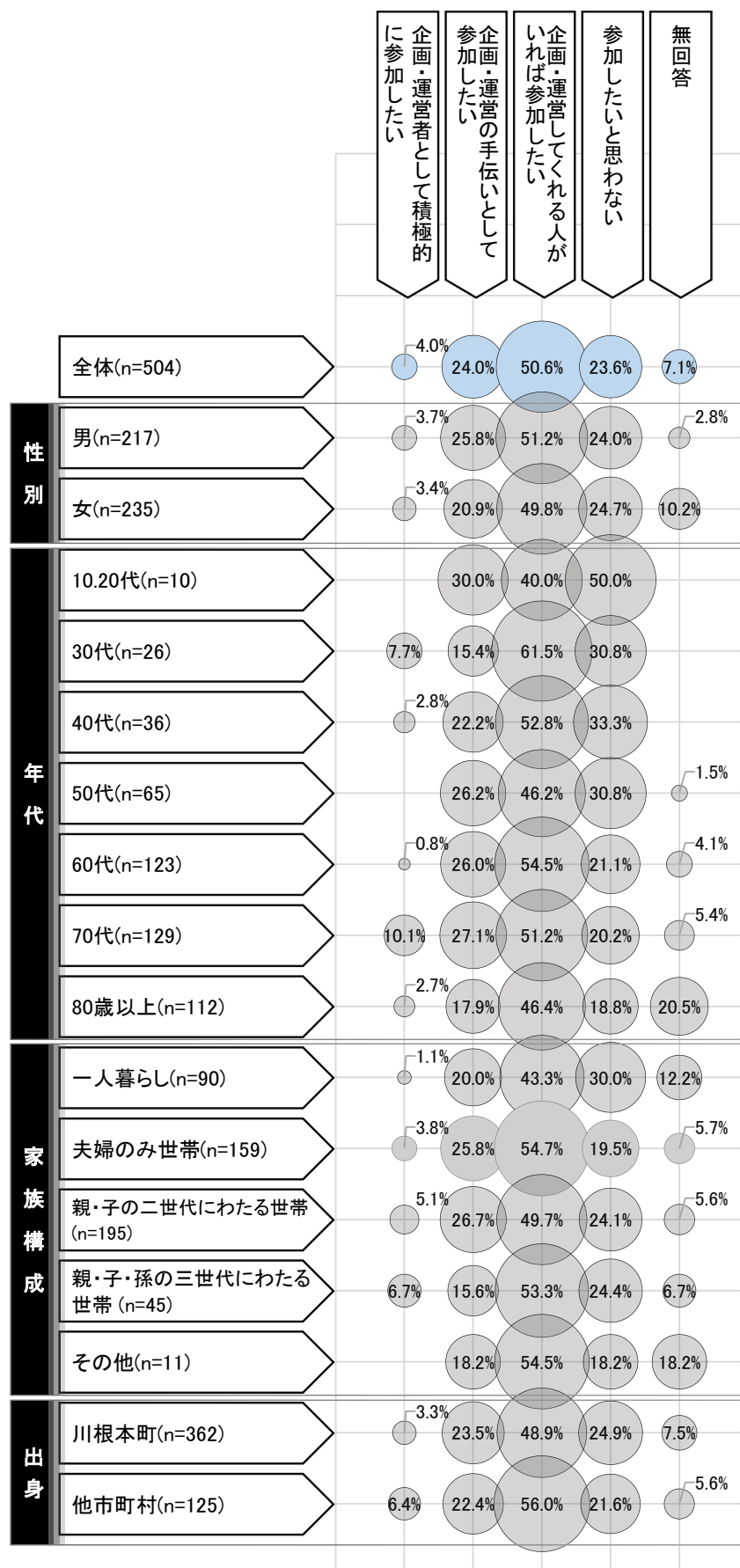
地域が中心となった活動への参加意思については、「企画・運営してくれる人がいれば参加したい」が50.6%と最も高く、次いで、「企画・運営の手伝いとして参加したい」(24.0%)、「参加したいと思わない」(23.6%)、「企画・運営者として積極的に参加したい」(4.0%)の順となっています。「企画・運営者として積極的に参加したい」(4.0%)と「企画・運営の手伝いとして参加したい」(24.0%)、「企画・運営してくれる人がいれば参加したい」(50.6%)を合わせた『参加したい』は78.6%とおよそ8割となっています。



【 属性の分析 】

年代別でみると、10・20代では、「参加したいと思わない」が他の年代に比べ高くなっています。一方、30代では、「企画・運営してくれる人がいれば参加したい」が他の年代に比べ高くなっています。

家族構成でみると、一人暮らしでは、「参加したいと思わない」が高くなっています。

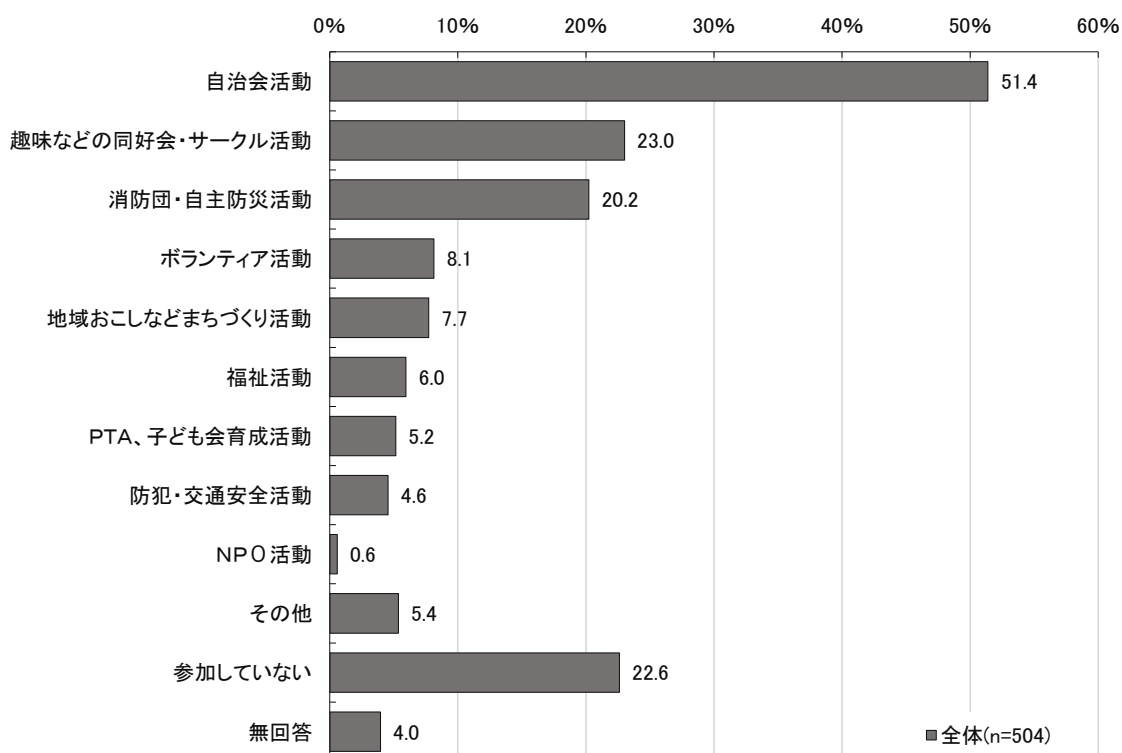


問 7

あなたは、この1年間に、どのような地域活動に参加していますか。

(〇はいくつでも)

この1年間の地域活動への参加については、「自治会活動」が51.4%と最も高く、次いで、「趣味等の同好会・サークル活動」(23.0%)、「消防団・自主防災活動」(20.2%)、「ボランティア活動」(8.1%)、「地域おこしなどまちづくり活動」(7.7%)などの順となっています。また、「参加していない」は22.6%となっています。



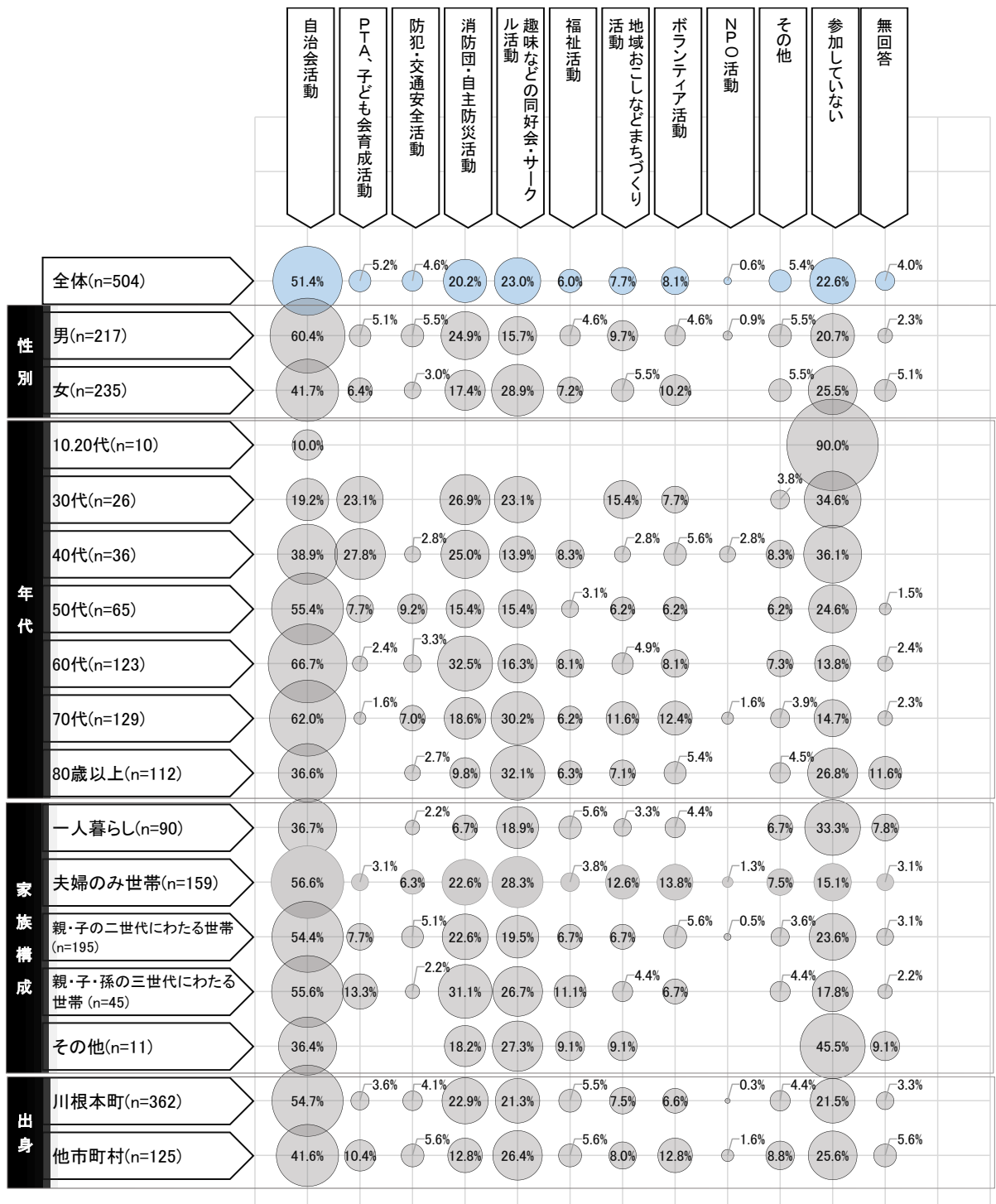
[その他]

神社境内清掃/森づくり/近所の高齢女性の話を聞く/話し相手、高齢者の集まり/コミュニティスクールの活動への参加/学校応援隊/地区内除草、トレイルラン、資材人的支援、金銭支援
サロンの協力員として/学校応援団ふれあいスクールサロン/河川美化、環境整備事業/農業体験活動(小学3,4年生対象)/80歳以上見守り/地区内の清掃/道にゴミを捨てていく人が多く時々掃除して歩く/日赤奉仕団、川根本町いきいきサロンの手伝い/食推協で/道路の掃除、美化活動/月1回宮掃除、サロンの手伝い、公共施設の草取り/年数回の草刈り/人権擁護、生活支援/学校、保育園、高齢者施設などへのお話し会など

【 属性の分析 】

年代別でみると、10・20代では、「参加していない」が高くなっています。40代以上では、「自治会活動」が高い傾向となっています。

また、一人暮らし世帯で「参加していない」が高くなっています。

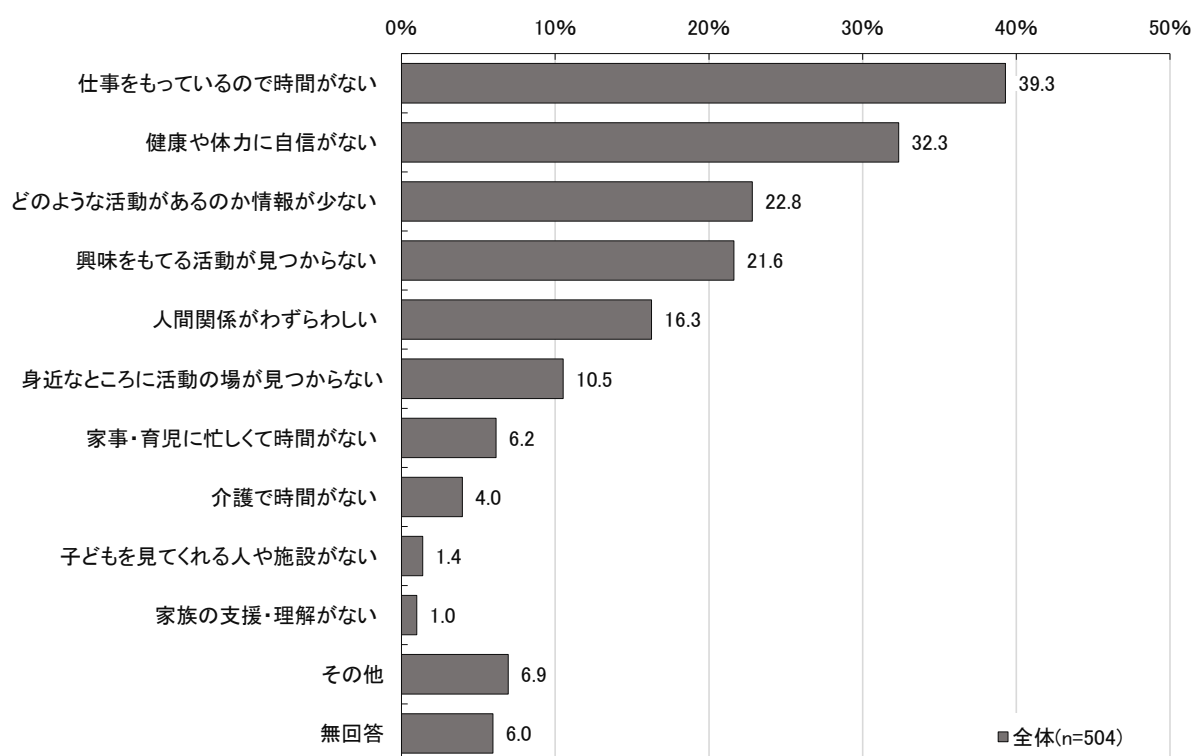


問 8

あなたは、地域活動に参加する上で、支障になることがありますか。

(〇はいくつでも)

地域活動に参加する上で、支障になることについては、「仕事をもっているので時間がない」が39.3%と最も高く、次いで、「健康や体力に自信がない」(32.3%)、「どのような活動があるのか情報が少ない」(22.8%)、「興味をもてる活動が見つからない」(21.6%)、「人間関係がわずらわしい」(16.3%)などの順となっています。



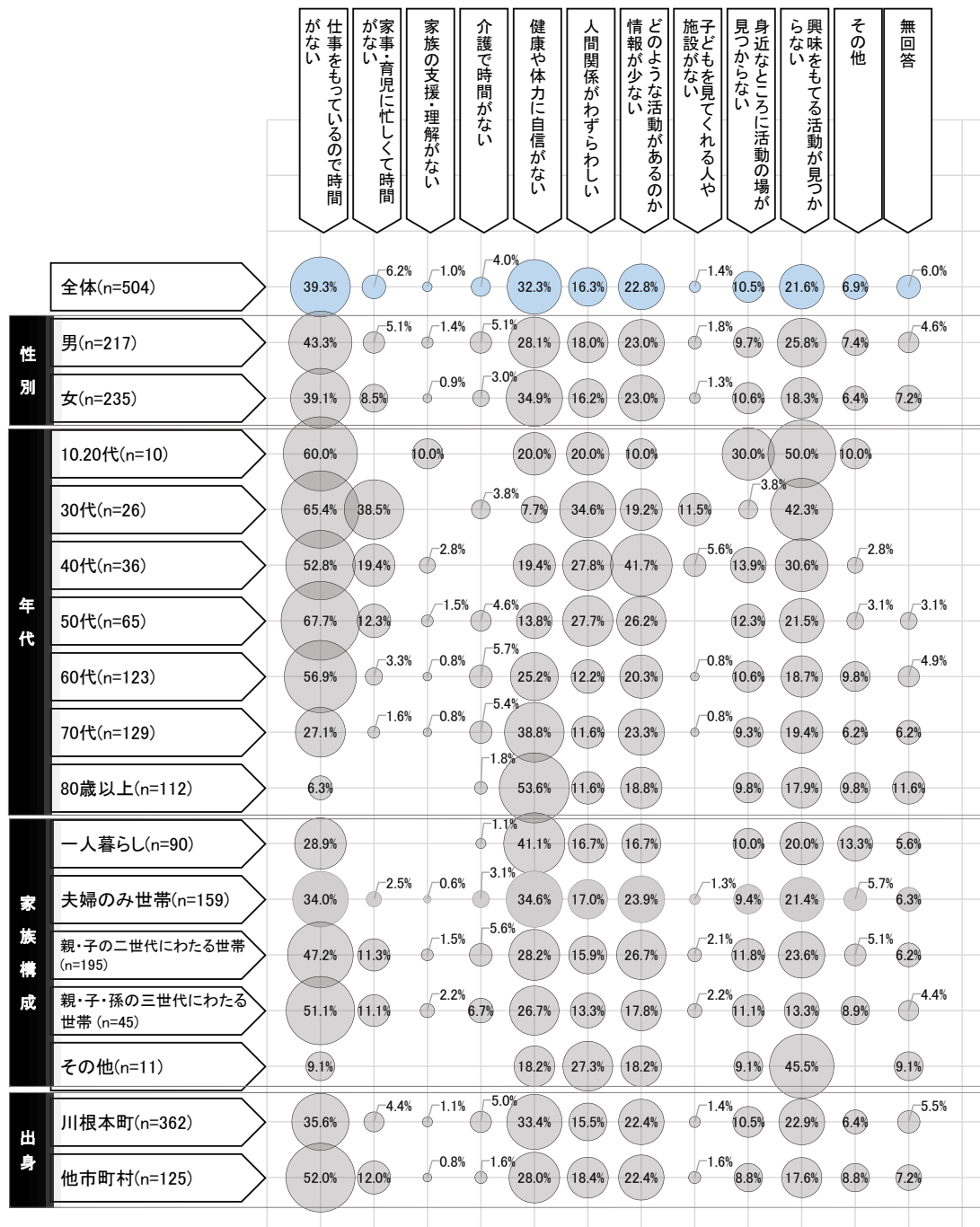
[その他]

参加場所までの交通手段がない/年齢と共に活動意欲が乏しくなる/体が自由に動かない/仕事を持っているが都合つく限り参加する/犬を飼っているので、休みの日は一緒にいたい/自分の田畑の管理で手一杯/孫達の世話があり、時間が十分にとれない/部落も人が少ないので協力している/仕事、家庭、体力、気力、地域活動の頻度などがバランスよくいくと良い など

【 属性の分析 】

年代別でみると、10・20代では「興味をもてる活動が見つからない」が高く、40代では、「どのような活動があるのか情報が少ない」が高くなっています。

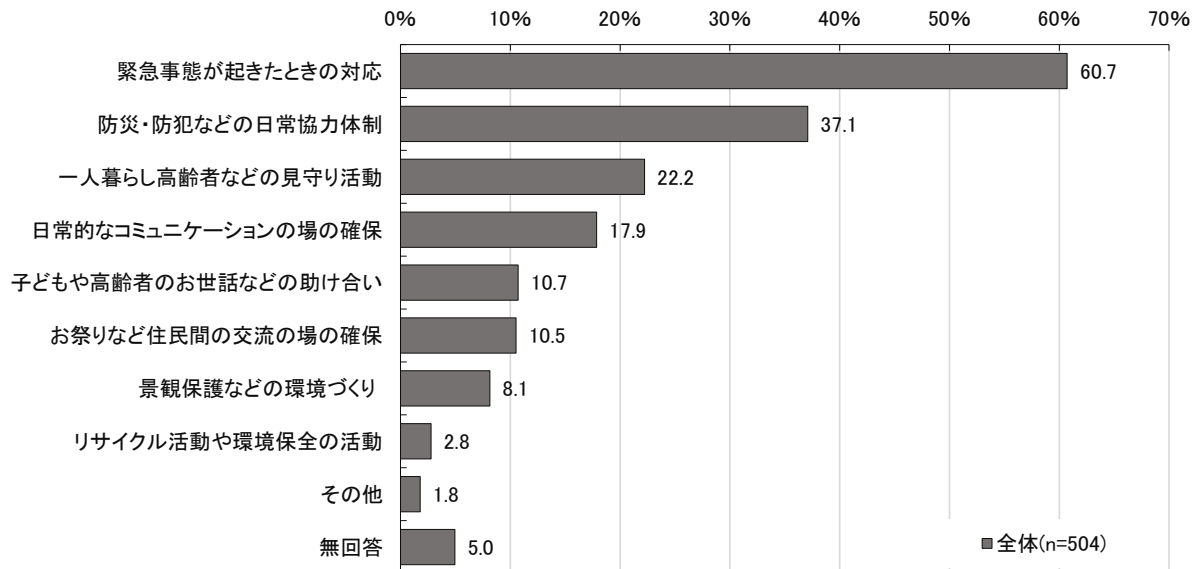
30代から50代にかけては、「仕事をもっているので時間がない」が高く、年代が高くなるにつれて「健康や体力に自信がない」が高く、30代では、「人間関係がわずらわしい」が高くなっています。



問9

あなたは、自治会などご自分の地域コミュニティにどのようなことを期待しますか。(2つまで○印)

地域コミュニティへの期待については、「緊急事態が起きたときの対応」が60.7%と最も高く、次いで、「防災・防犯などの日常協力体制」(37.1%)、「一人暮らし高齢者などの見守り活動」(22.2%)、「日常的なコミュニケーションの場の確保」(17.9%)などの順となっています。



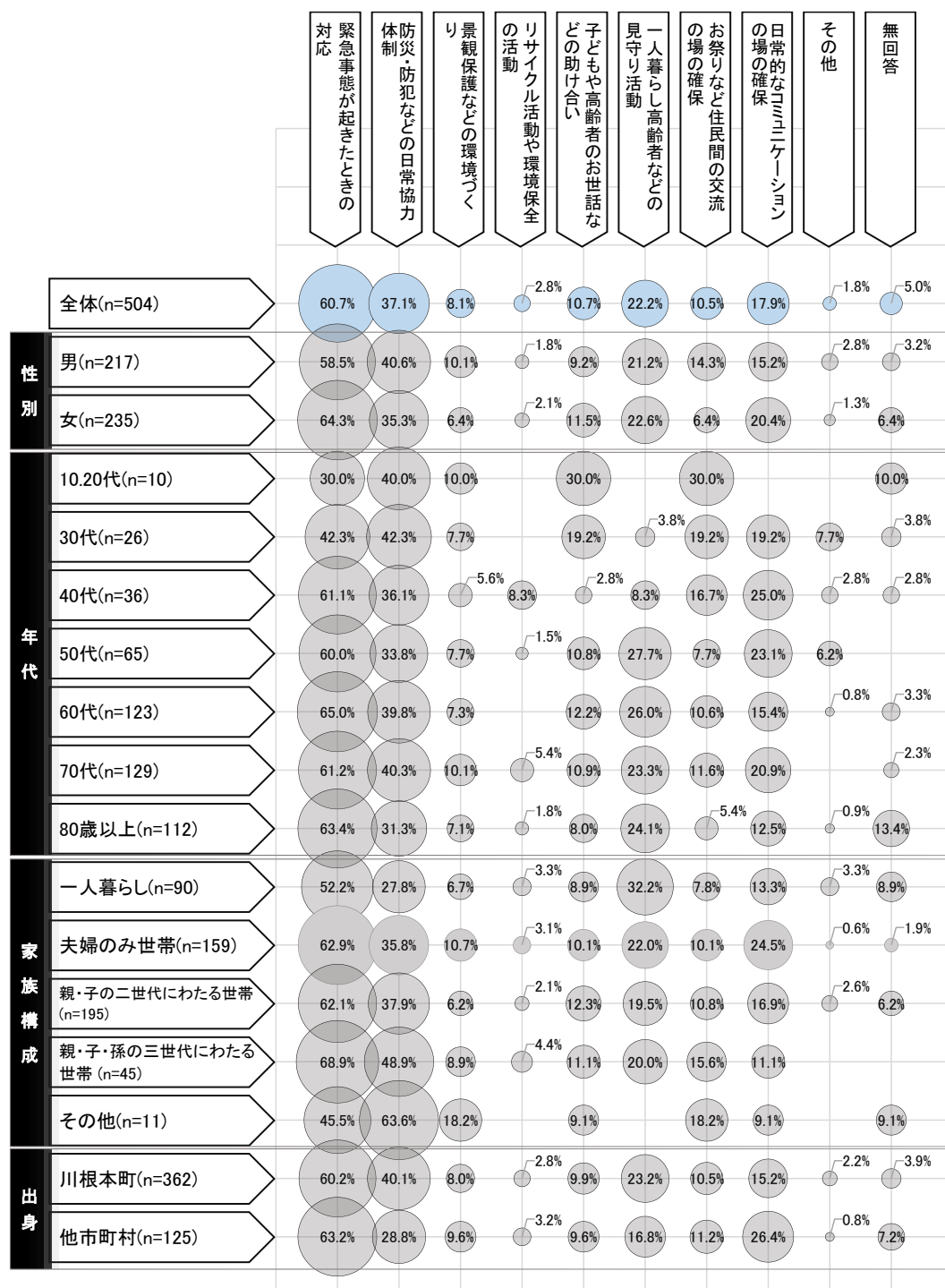
【その他】

ボランティアに期待しすぎるのはどうかと思う/本来なら全部/期待していない/国や町に税金とられて自治会に区費まで払うのはキツイ/女性の積極的な参画 など

【 属性の分析 】

年代別では、10・20代では「子どもや高齢者のお世話などの助け合い」「お祭りなど住民間の交流の場の確保」が高く、50代以上で「一人暮らし高齢者などの見守り活動」が高くなっています。

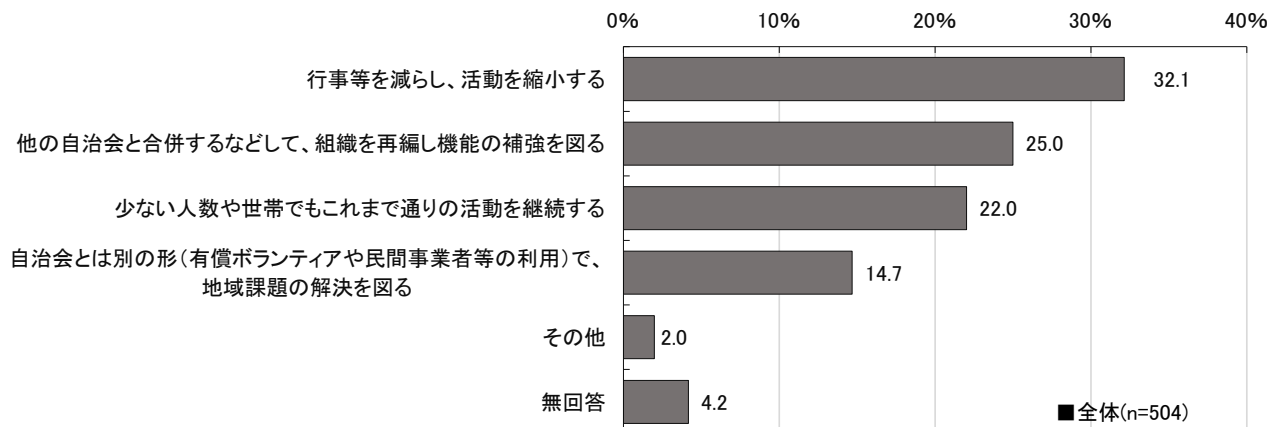
家族構成別では、一人暮らしで「一人暮らし高齢者などの見守り活動」、夫婦のみ世帯で「日常的なコミュニケーションの場の確保」が高くなっています。



問 10

人口・世帯数の減少や高齢化の進行が予想されますが、今後の自治会のあり方についてどのようにお考えですか。（1つに○印）

今後の自治会のあり方については、「行事等を減らし、活動を縮小する」が32.1%と最も高く、次いで、「他の自治会と合併するなどして、組織を再編し機能の補強を図る」（25.0%）、「少ない人数や世帯でもこれまで通りの活動を継続する」（22.0%）、「自治会とは別の形（有償ボランティアや民間事業者等の利用）で、地域課題の解決を図る」（14.7%）などの順となっています。

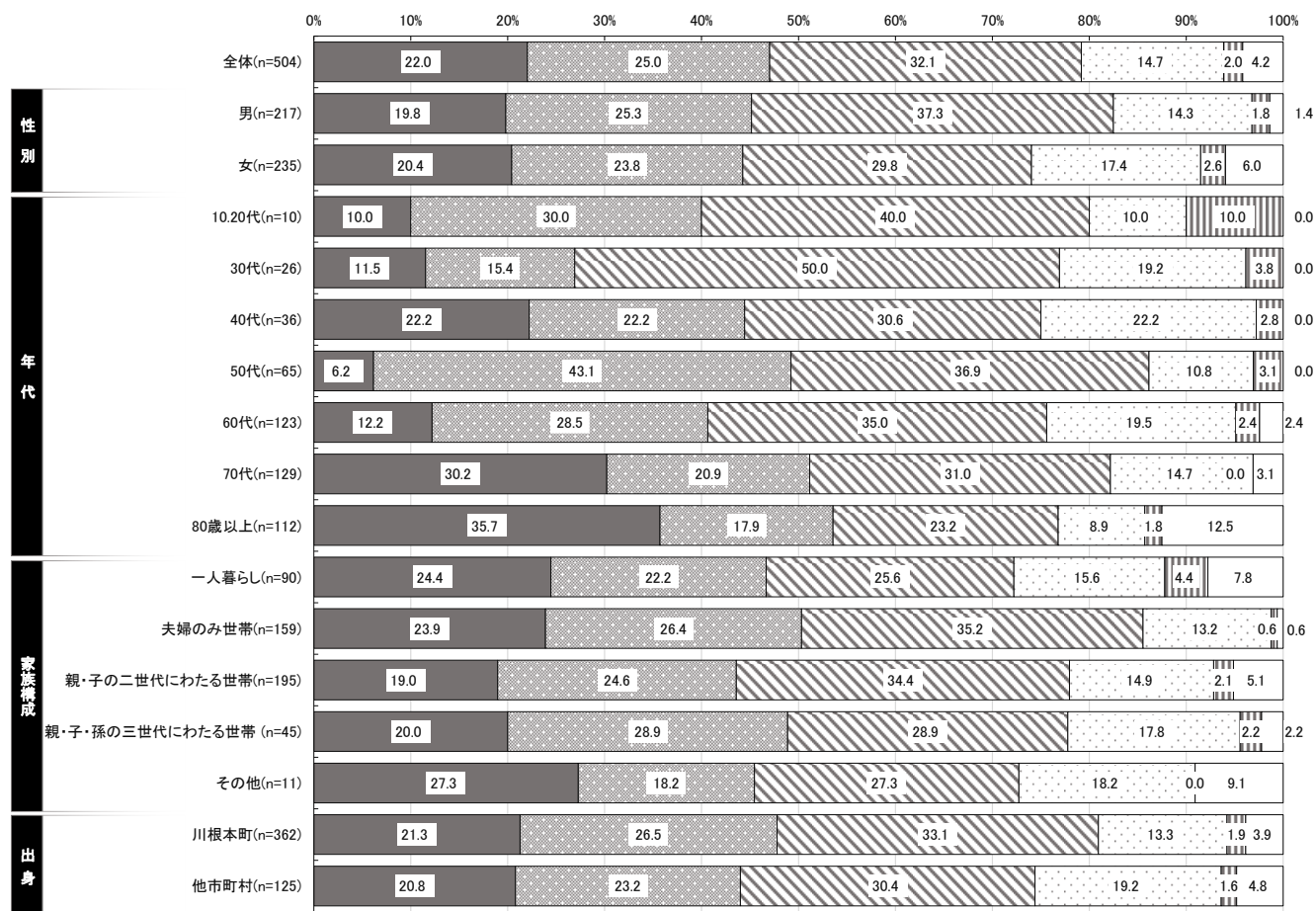


【その他】

自分達の自治会で何が必要なのか考えていきたい/お年寄りが多いため先導する人がほしい。民生委員の方がもっと活動してほしい。/今までの活動を全て廃止して新しい活動や方法を考える/何もしなくていい/若者の仕事場の確保が一番/何があっても出られません/本音は合併したくはないがやむを得ない昔から繁栄する所は仕事がある所。ここで暮らせるから始めないと。など

【 属性の分析 】

年代別でみると、概ね年代が高くなるにつれて「少ない人数や世帯でもこれまで通りの活動を継続する」が高くなっており、50代で「他の自治会と合併するなどして、組織を再編し機能の補強を図る」が高くなっています。



- 少ない人数や世帯でもこれまで通りの活動を継続する
- ▣ 他の自治会と合併するなどして、組織を再編し機能の補強を図る
- ▤ 行事等を減らし、活動を縮小する
- 自治会とは別の形(有償ボランティアや民間事業者等の利用)で、地域課題の解決を図る
- ▥ その他
- 無回答

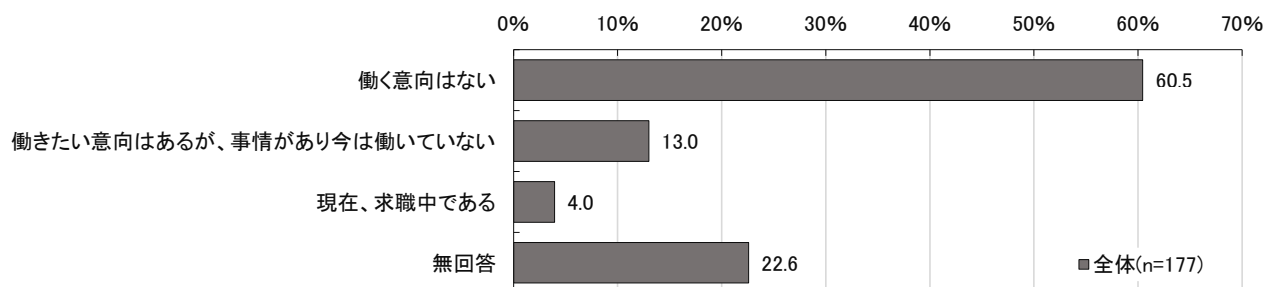
5 就労について

問 11

★現在、働いていない方（主婦・主夫、無職・休職中）にお伺いします。（学生は除く。）

働きたい意向はありますか。（1つに○印）

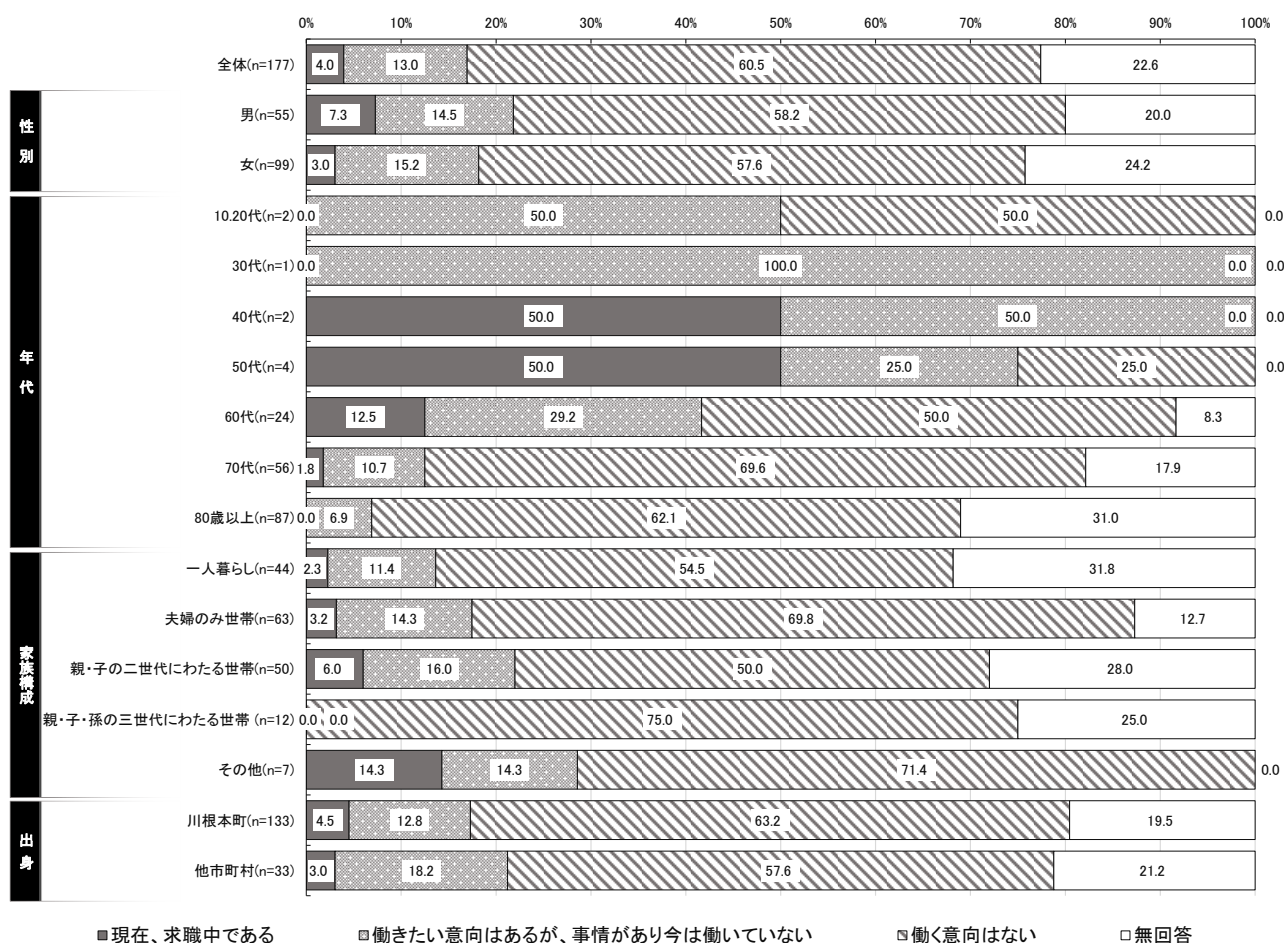
現在、働いていない方 177 人の就労意向については、「働く意向はない」が 60.5%と最も高く、次いで、「働きたい意向はあるが、事情があり今は働いていない」（13.0%）、「現在、求職中である」（4.0%）の順となっています。



【 属性の分析 】

性別では、男性に働きたい意向が高くなっています。

年代別でみると、60代に働きたい意向が高くなっています。



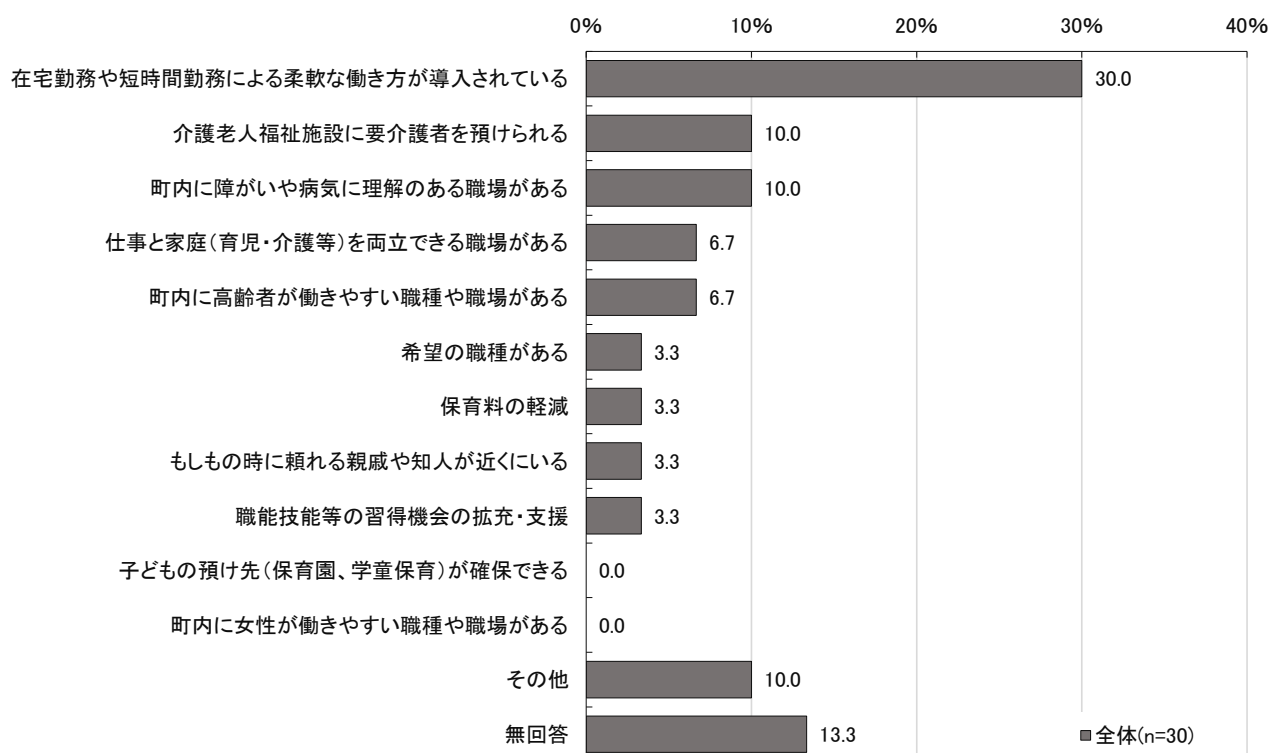
問 12

問 11 で「1. 現在、求職中である」または「2. 働きたい意向はあるが、事情があり今は働いていない」と回答した方におたずねします。

どのような環境を整えば、働きやすいと思いますか。(1つに○印)

【回答者数：30人】

働きやすい環境整備については、「在宅勤務や短時間勤務による柔軟な働き方が導入されている」が30.0%と最も高く、次いで、「介護老人福祉施設に要介護者を預けられる」「町内に障がいや病気に理解のある職場がある」(同率10.0%)、「仕事と家庭(育児・介護等)を両立できる職場がある」「町内に高齢者が働きやすい職種や職場がある」(同率6.7%)などの順となっています。



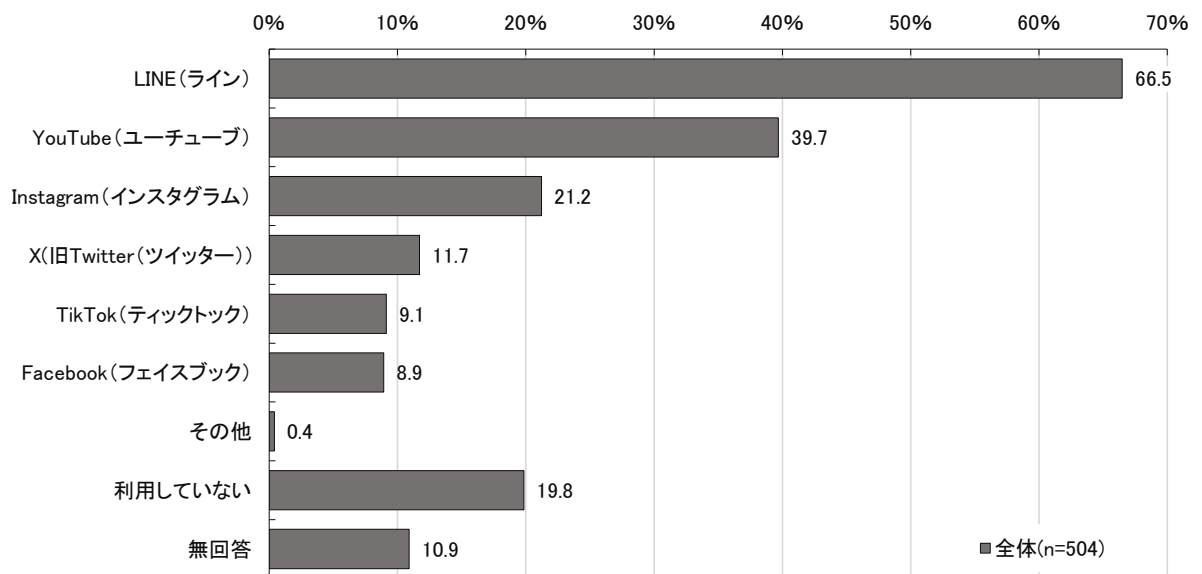
6 デジタル化について

問 13

日頃、主にどのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用していますか。（該当するものすべてに○印）

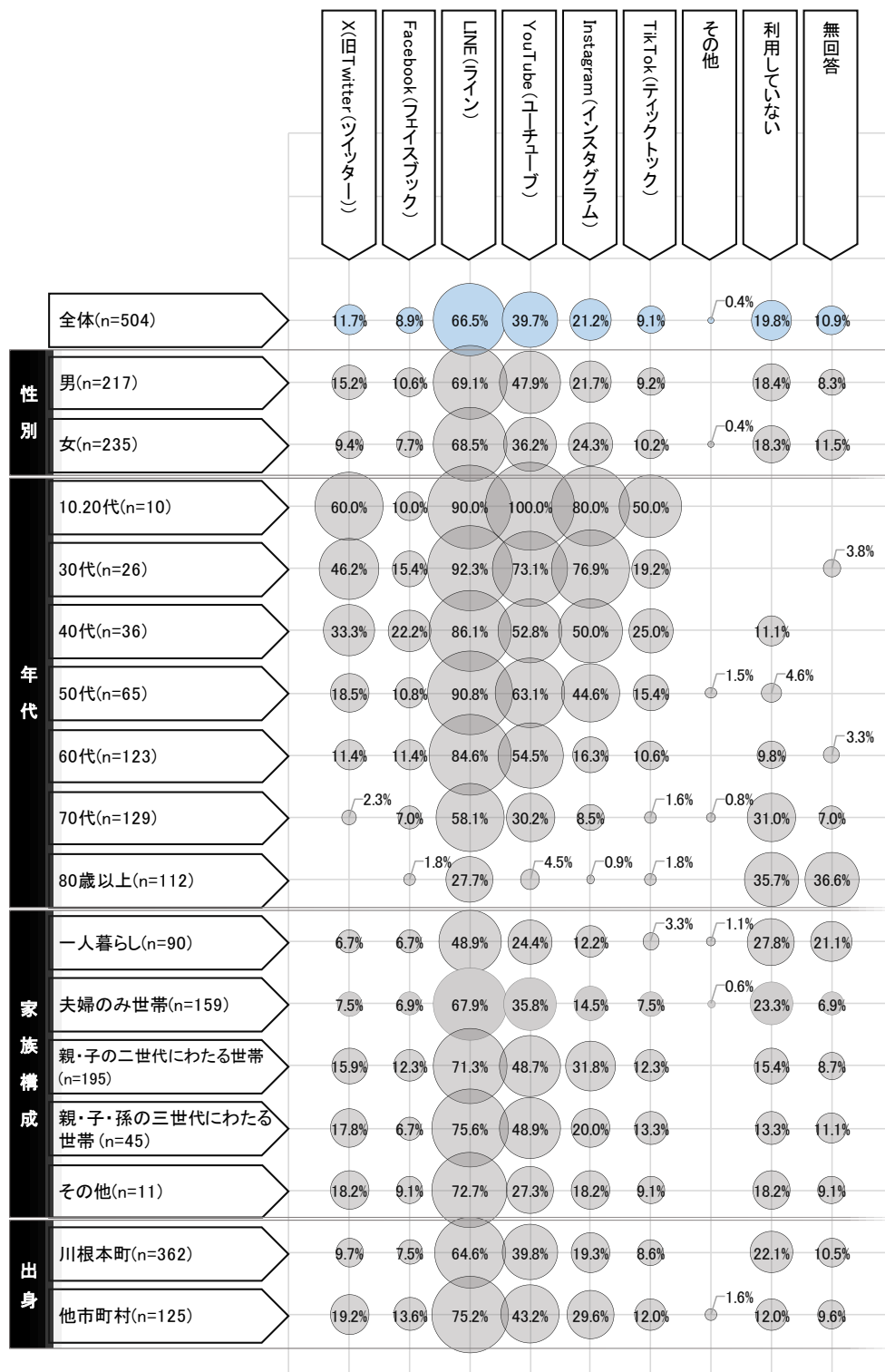
利用している主なSNSについては、「LINE（ライン）」が66.5%と最も高く、次いで、「YouTube（ユーチューブ）」（39.7%）、「Instagram（インスタグラム）」（21.2%）、「X（旧Twitter（ツイッター））」（11.7%）、「TikTok（ティックトック）」（9.1%）「Facebook（フェイスブック）」（8.9%）、などの順となっています。

また、「利用していない」が19.8%あります。



【 属性の分析 】

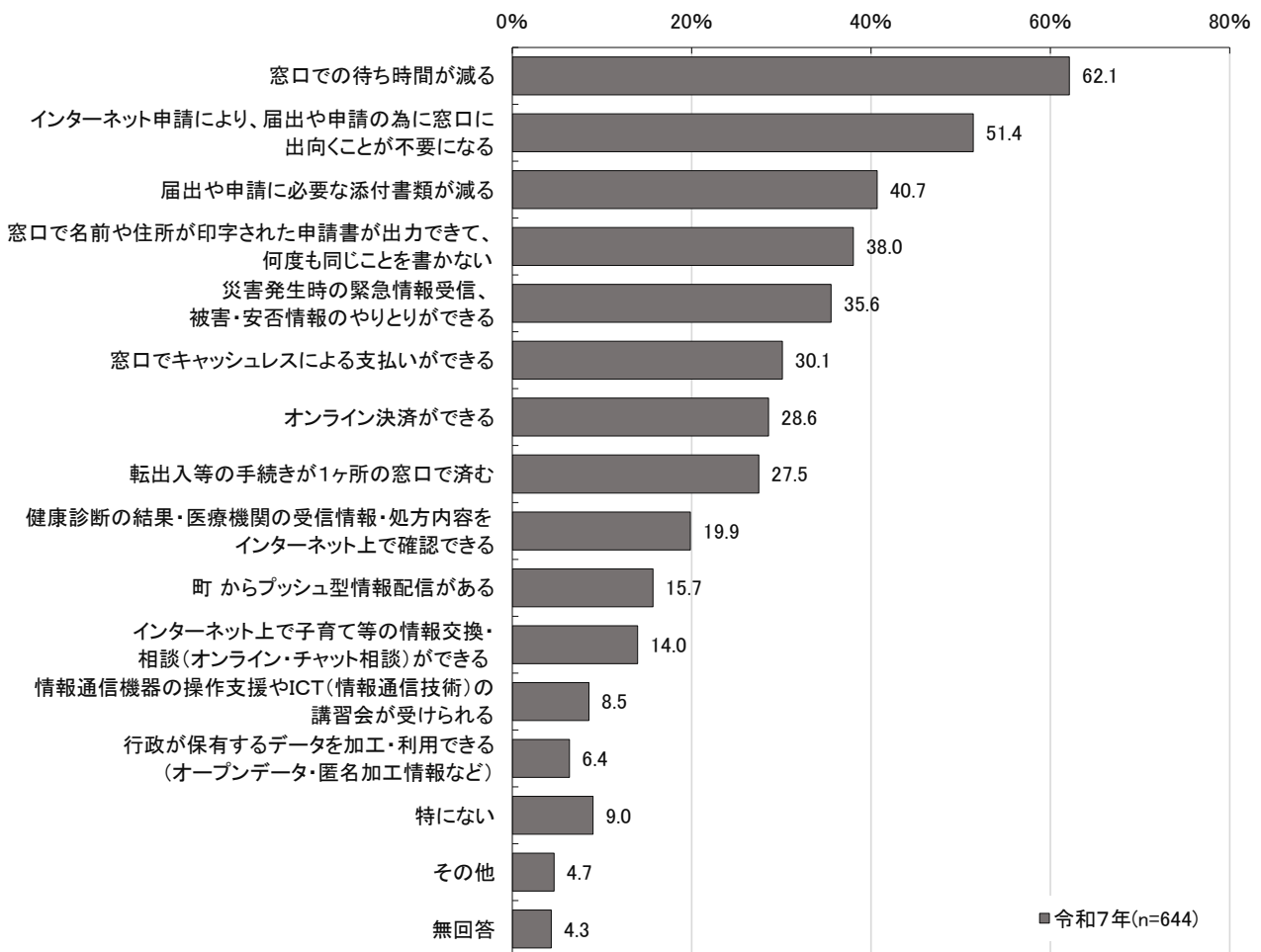
年代別でみると、概ね年代が高くなるにつれて SNS の利用率が低くなっています。また、70 代以上では「利用していない」が他の年代より高くなっています。



問14

あなたは、今後行政手続きや行政サービスがデジタル化されることで、サービスがどのように良くなることを期待しますか。(〇印はいくつでも)

行政手続きや行政サービスがデジタル化されることで期待するサービスについては、「窓口での待ち時間が減る」が62.1%と最も高く、次いで、「インターネット申請により、届出や申請の為に窓口に出向くことが不要になる」(51.4%)、「届出や申請に必要な添付書類が減る」(40.7%)、「窓口で名前や住所が印字された申請書が出力できて、何度も同じことを書かない」(38.0%)、「災害発生時の緊急情報受信、被害・安否情報のやりとりができる」(35.6%)、「窓口でキャッシュレスによる支払いができる」(30.1%)などの順となっています。



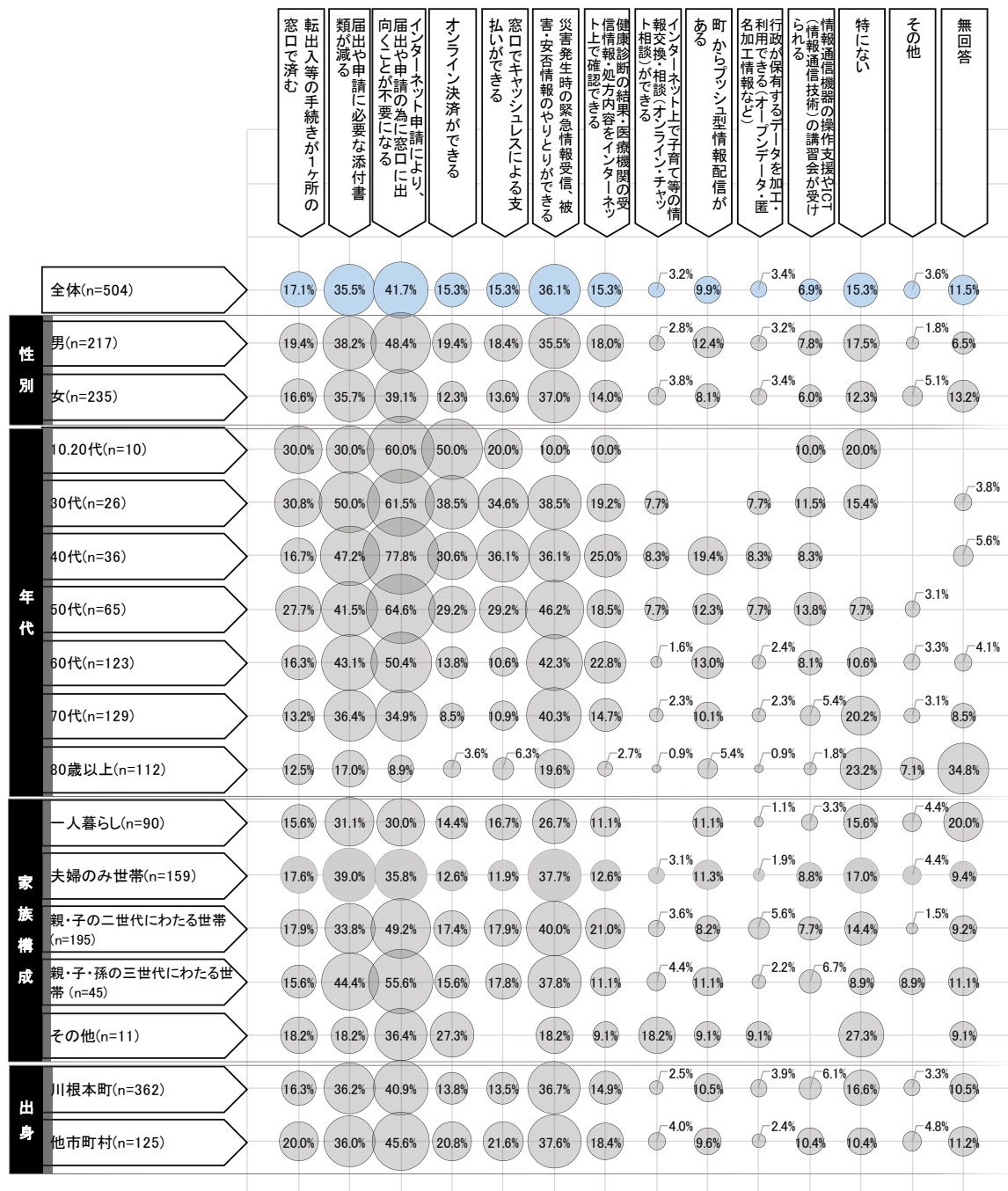
[その他]

たらい回しがなくなること／高齢化社会ではアナログで良い。高齢なので手続きが電子化になるのは不本意。土日祝に窓口が開いていて欲しい。／便利なものの活用は大賛成。しかしアナログな取り組みも手を抜かないでほしい。／携帯に不慣れなため、便利とは思いが困る事も多い。デジタル化は利点も多く良いことだと思う一方、これから増々高齢の方が増えていくが、デジタル化が進み過ぎてそれらの方々が困らないかと心配になる。／デジタル化されるとついていけないので、別の方法でサービス化を期待する／疑問箱をペーパーではなく、もっと住民が発言しやすいように今回のように町のHP等からアンケート方式のインターネットから投稿できるようにして欲しい。／平日仕事なので窓口に行くのが難しいので／人件費を減らしてそ

の他に資金を使える／まちの情報を得やすい／行政職員のデジタル化によって生まれた時間を、町民へ対面によるサービスに当てて欲しい。／行政に頼らないでも上手くやれるポテンシャルがあると思う。／窓口終了時間よりネット窓口時間が長ければ、休みを取らずに行ける。等

【 属性の分析 】

年齢別でみると、40代では「インターネット申請により、届出や申請の為に窓口に出向くことが不要になる」の割合が高く、概ね年代が高くなるにつれてどの項目も低くなっています。



7 暮らしやすさの幸福度(Well(ウェル)-Being(ビーイング))について

問 15

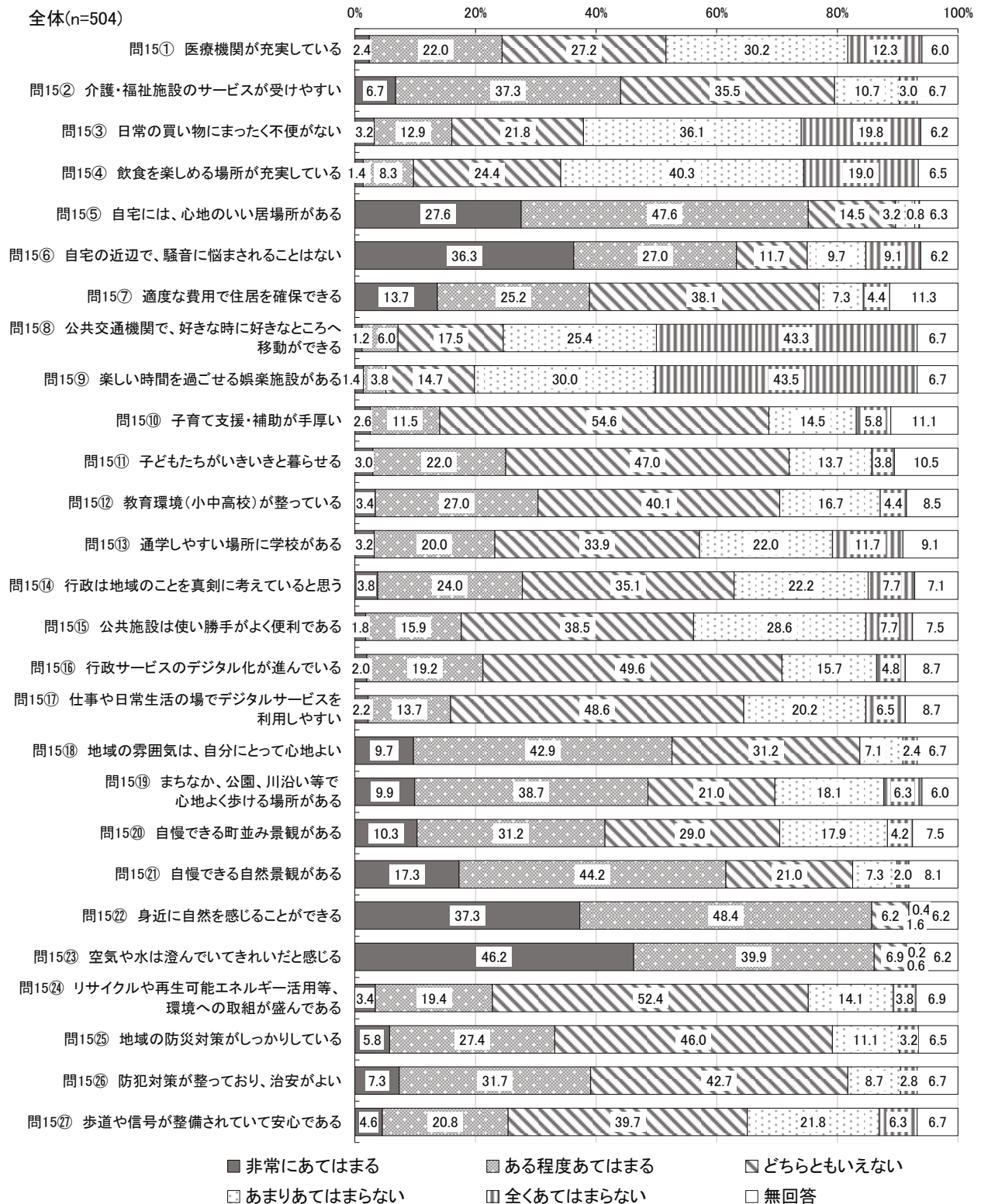
生活環境に関する次の項目について、あなたのお考えにあてはまるものをお答えください。(それぞれ1つに○印)

生活環境については、「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』では、「㉓ 空気や水は澄んでいてきれいだと感じる」が86.1%と最も高く、次いで、「㉒ 身近に自然を感じることができる」(85.7%)、「㉑ 自宅には、心地のいい居場所がある」(75.2%)、「㉒ 自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない」(63.3%)、「㉑ 自慢できる自然景観がある」(61.5%)、「㉒ 地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」(52.6%)などの順となっています。

一方、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』では、「㉑ 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある」が73.5%と最も高く、次いで、「㉒ 公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」(68.7%)、「㉑ 飲食を楽しめる場所が充実している」(59.3%)、「㉒ 日常の買い物にまったく不便がない」(55.9%)、「㉑ 医療機関が充実している」(42.5%)などの順となっています。

Ⅱ-7 暮らしやすさの幸福度(Well(ウェル)-Being(ビーイング))について

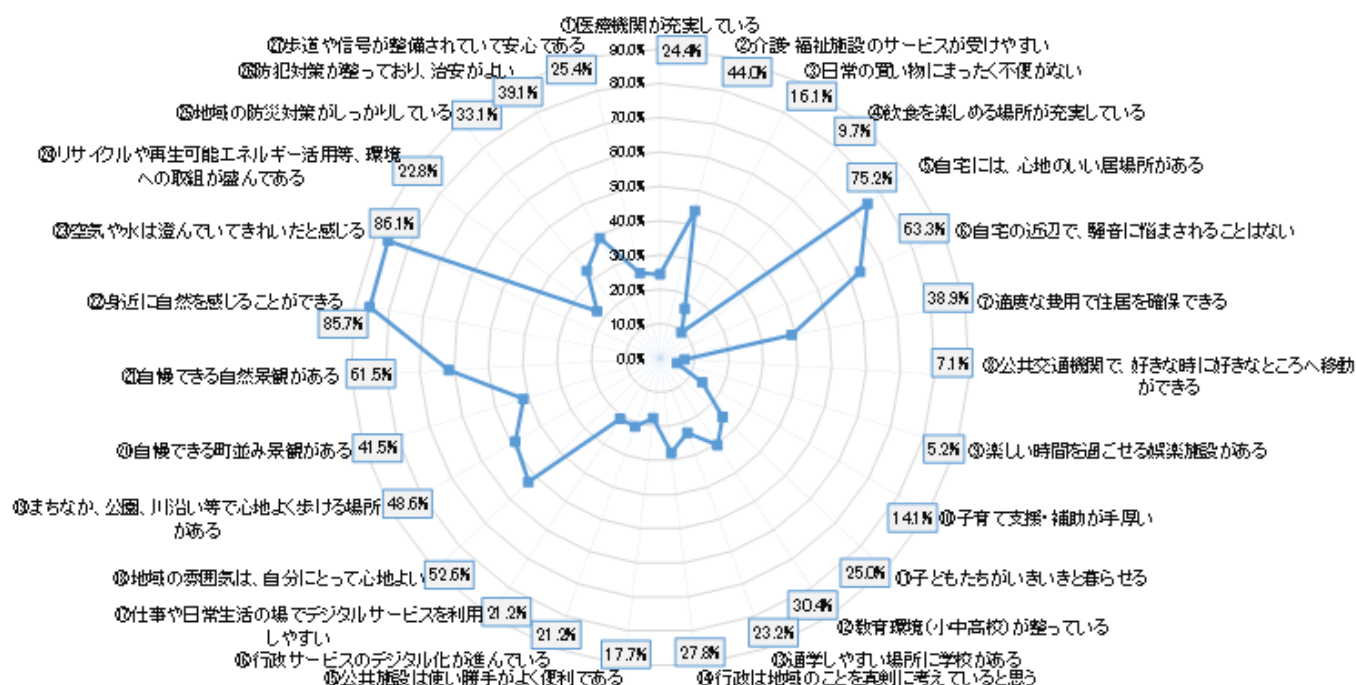
■生活環境(全体)



「暮らしやすさの幸福度に関する調査」は、わが国の経済社会の構造を人々の満足度(Well-Being)の観点から多面的に把握し、政策運営に活かしていくことを目的としたものです。問4の「満足度」と「重要度」は川根本町の総合計画に掲げられた施策に対しての町民の皆さんの評価をお聞きするものですが、Well-Being調査は、総合的な主観的満足度を把握し、次期地方創生総合戦略策定に活用しようとするものです。

生活環境に関する間で、「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』の数値をレーダーグラフにしてみました。

このグラフで外に張り出している部分が町民の生活環境に対する感じ方が高いところであり、中に窪んでいる部分が町民の生活環境に対する感じ方が低いところであるといえます。



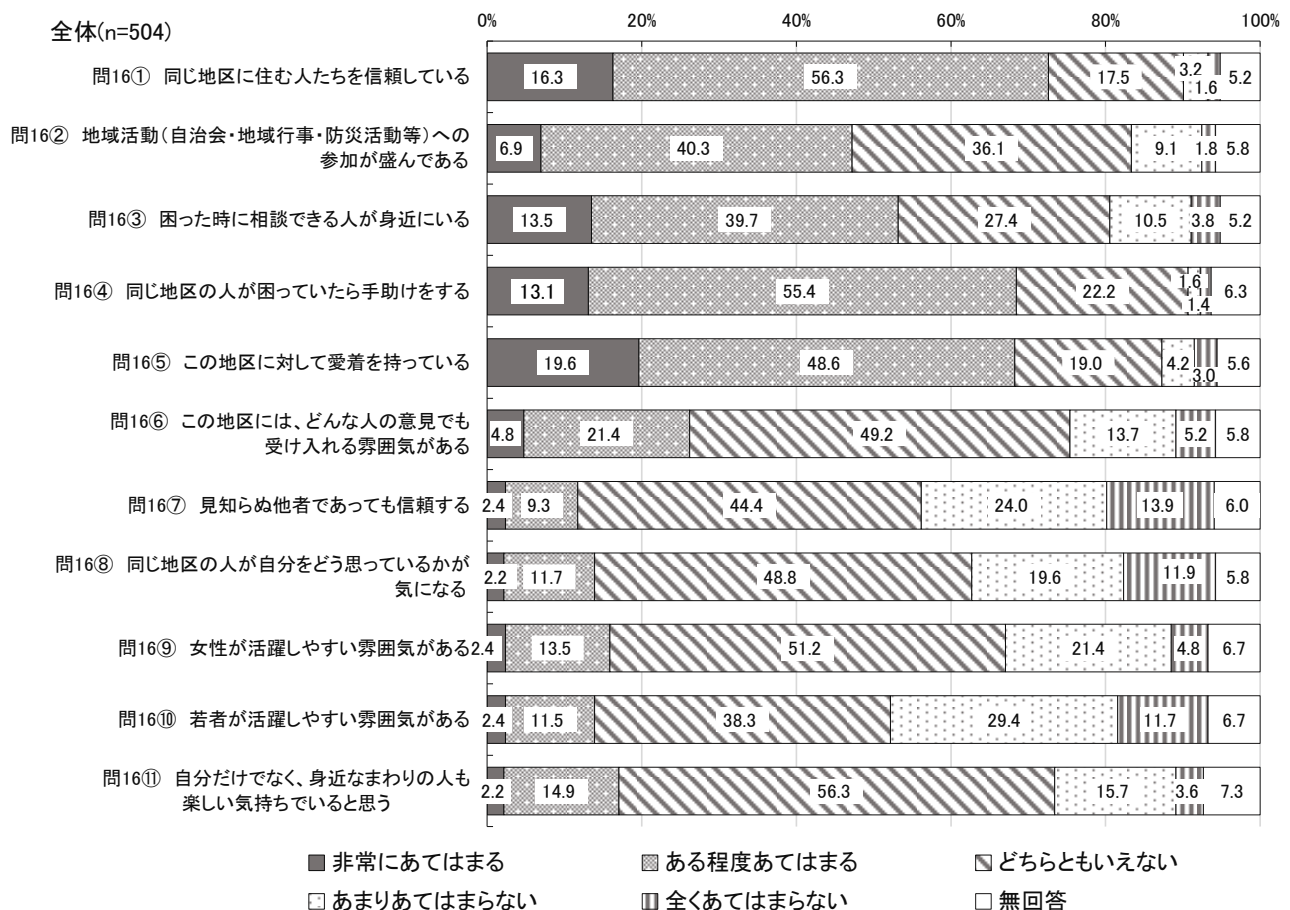
問 16

地域の人間関係に関する次の項目について、あなたのお考えにあてはまるものをお答えください。(それぞれ1つに○印)

地域の人間関係については、「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』では、「① 同じ地区に住む人たちを信頼している」が72.6%と最も高く、次いで、「④ 同じ地区の人が困っていたら手助けをする」(68.5%)、「⑤ この地区に対して愛着を持っている」(68.2%)、「③ 困った時に相談できる人が身近にいる」(53.2%)、「② 地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への参加が盛んである」(47.2%)などの順となっています。

一方、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』では、「⑩ 若者が活躍しやすい雰囲気がある」が41.1%と最も高く、次いで、「⑦ 見知らぬ他者であっても信頼する」(37.9%)、「⑧ 同じ地区の人が自分をどう思っているかが気になる」(31.5%)、「⑨ 女性が活躍しやすい雰囲気がある」(26.2%)などの順となっています。

■地域の人間関係(全体)



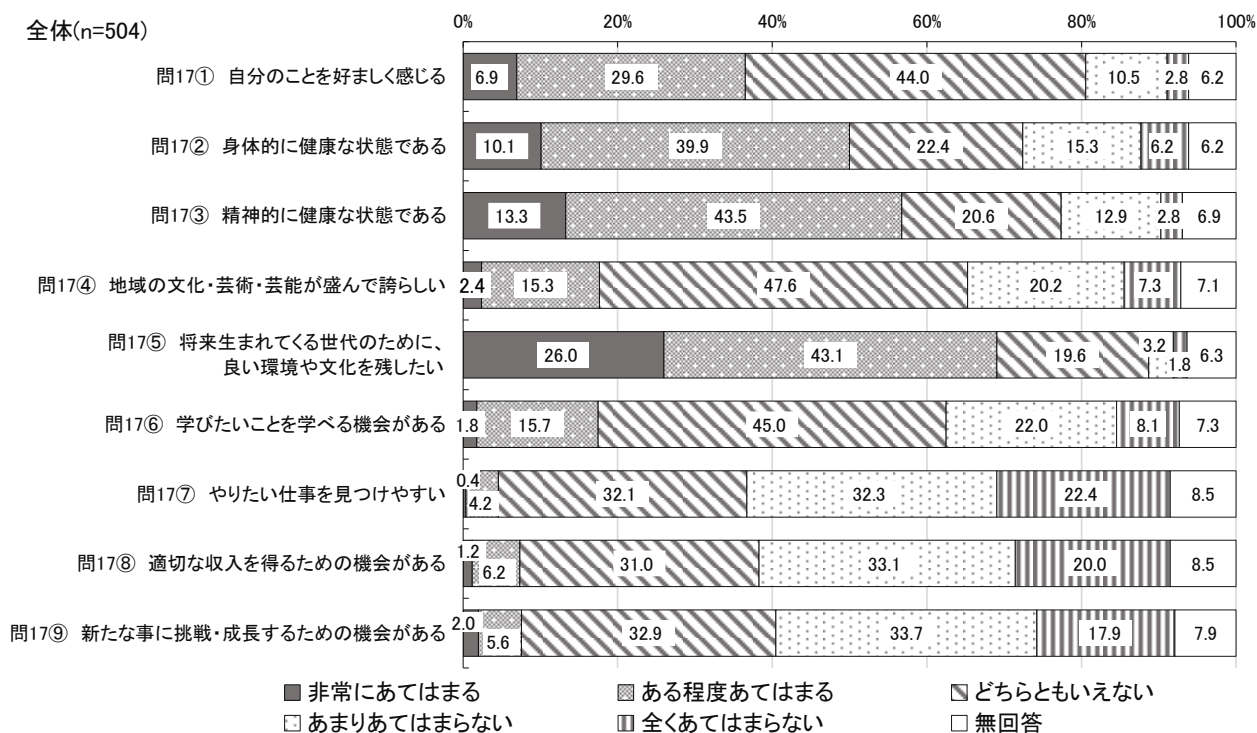
問 17

自分らしい生き方に関する次の項目について、あなたのお考えにあてはまるものをお答えください。(それぞれ1つに○印)

自分らしい生き方については、「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』では、「⑤ 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」が69.0%と最も高く、次いで、「③ 精神的に健康な状態である」(56.8%)、「② 身体的に健康な状態である」(50.0%)、「① 自分のことを好ましく感じる」(36.5%)などの順となっています。

一方、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』では、「⑦ やりたい仕事を見つけやすい」が54.7%と最も高く、次いで、「⑧ 適切な収入を得るための機会がある」(53.1%)、「⑨ 新たな事に挑戦・成長するための機会がある」(51.6%)、「⑥ 学びたいことを学べる機会がある」(30.1%)などの順となっています。

■自分らしい生き方（全体）

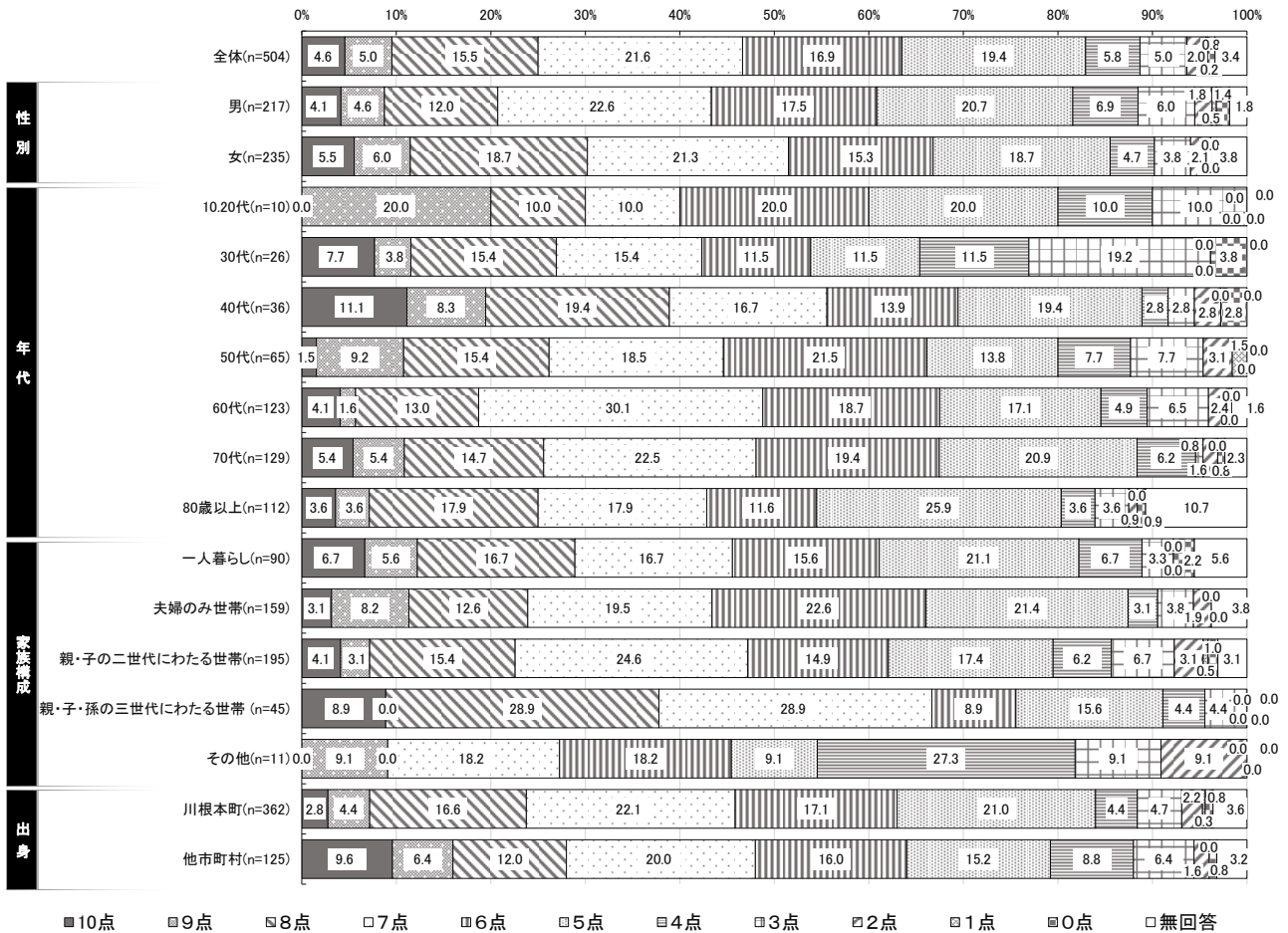


問 18

あなたは、川根本町での暮らしをどの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点になると思いますか。(1つに○印)

本町での暮らしの「幸せ度」については、「7点」が21.6%と最も高く、次いで、「5点」(19.4%)、「6点」(16.9%)、「8点」(15.5%)などの順となっています。

全体でみると、本町での暮らしの「幸せ度」の平均は6.3点となっています。

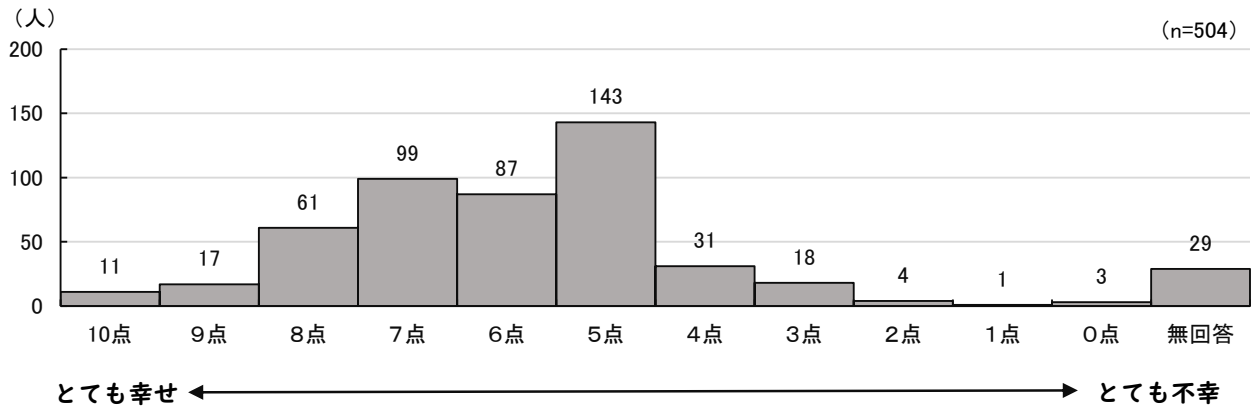


【属性の分析】

全体、性別、年代別のヒストグラム図でみると、本町での暮らしの「幸せ度」については、次のようになっています。

■本町での暮らしの「幸せ度」(全体)

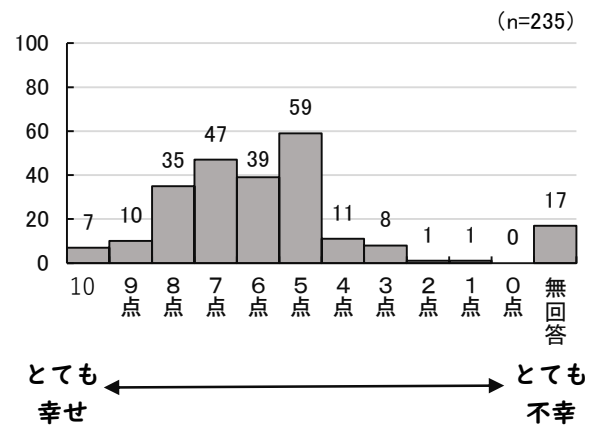
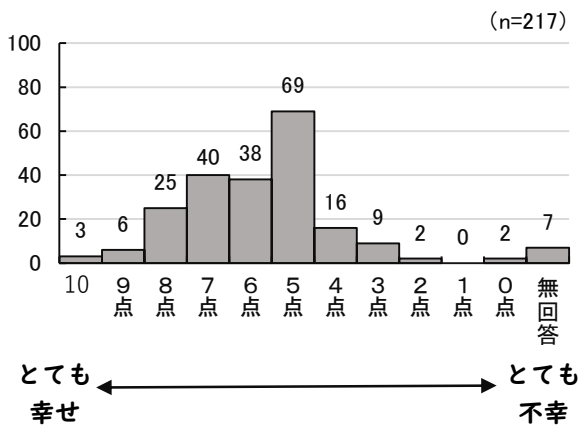
【(全体)】



■本町での暮らしの「幸せ度」(性別)

(男性)

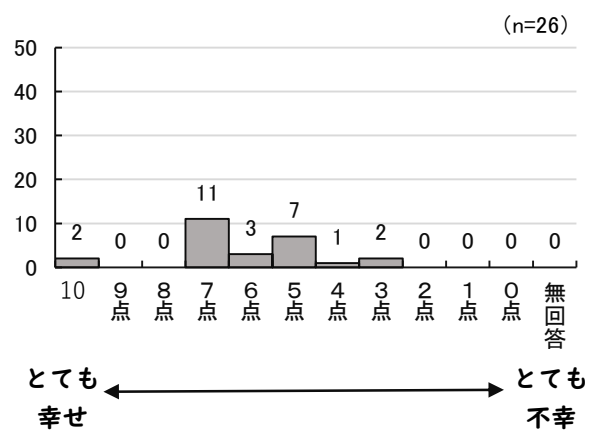
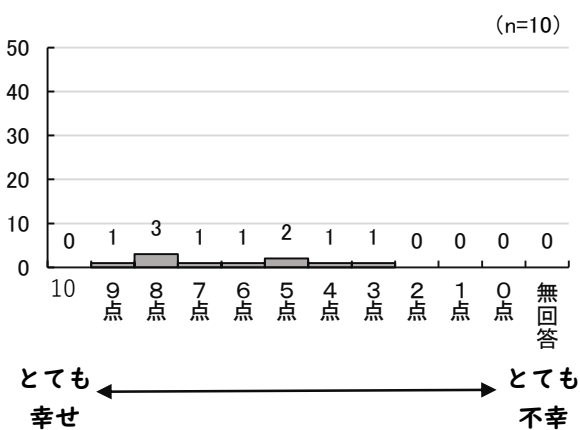
(女性)



■本町での暮らしの「幸せ度」(年代別)

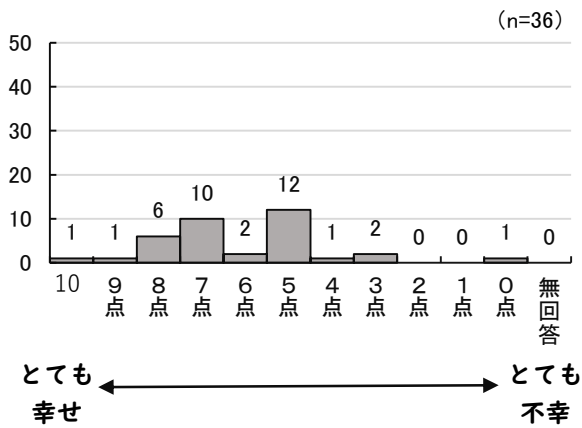
(10・20代)

(30代)

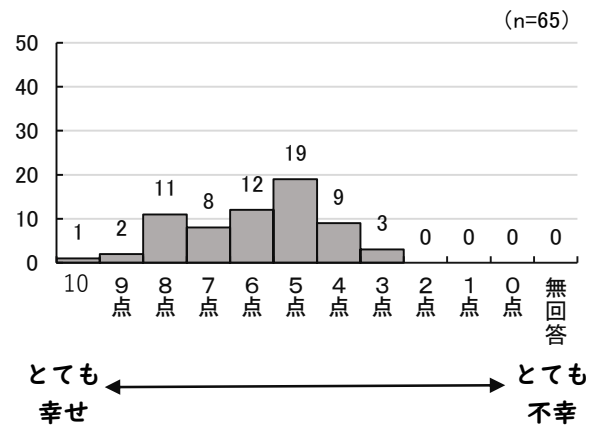


Ⅱ-7 暮らしやすさの幸福度(Well(ウェル)-Being(ビーイング))について

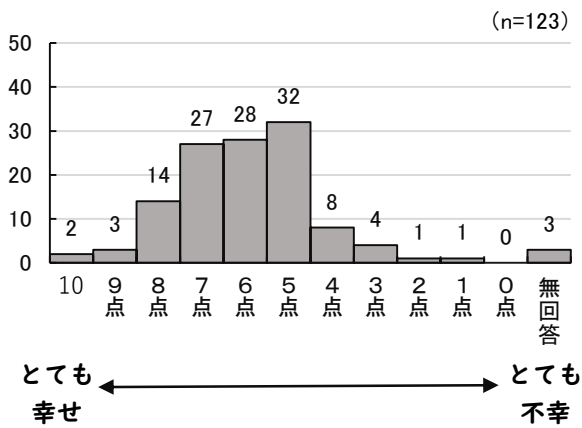
(40代)



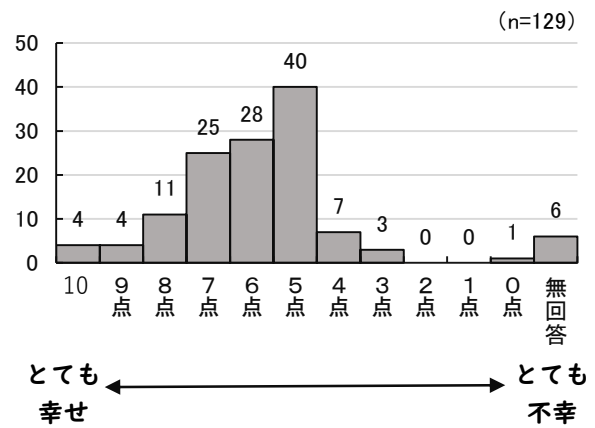
(50代)



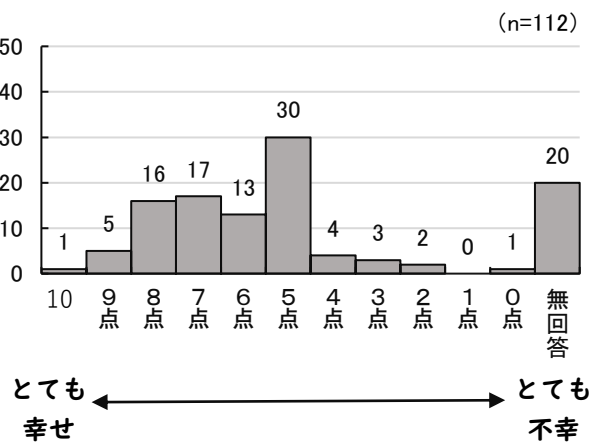
(60代)



(70代)



(80歳以上)

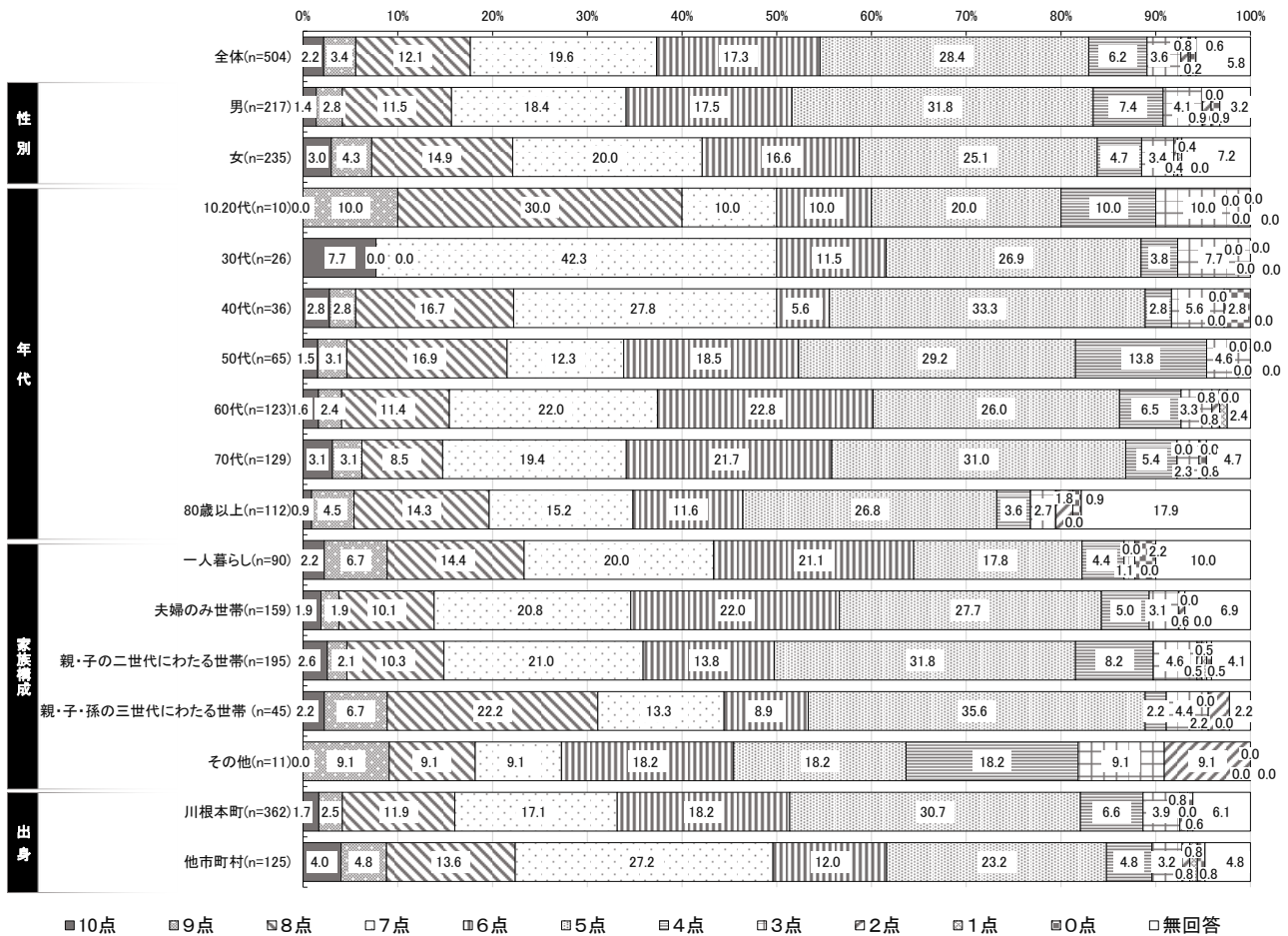


問 19

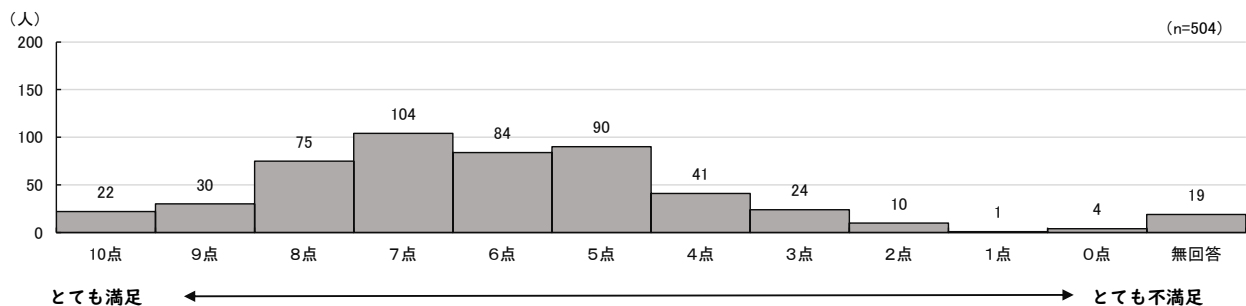
あなたは、現在住んでいる地域での暮らしにどの程度「満足」していますか。「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(1つに○印)

住んでいる地域での暮らしの「満足度」については、「5点」が28.4%と最も高く、次いで、「7点」(19.6%)、「8点」(12.1%)、「4点」(6.2%)などの順となっています。

全体でみると、住んでいる地域での暮らしの「満足度」の平均は6.3点となっています。



住んでいる地域での暮らしの「満足度」(全体)

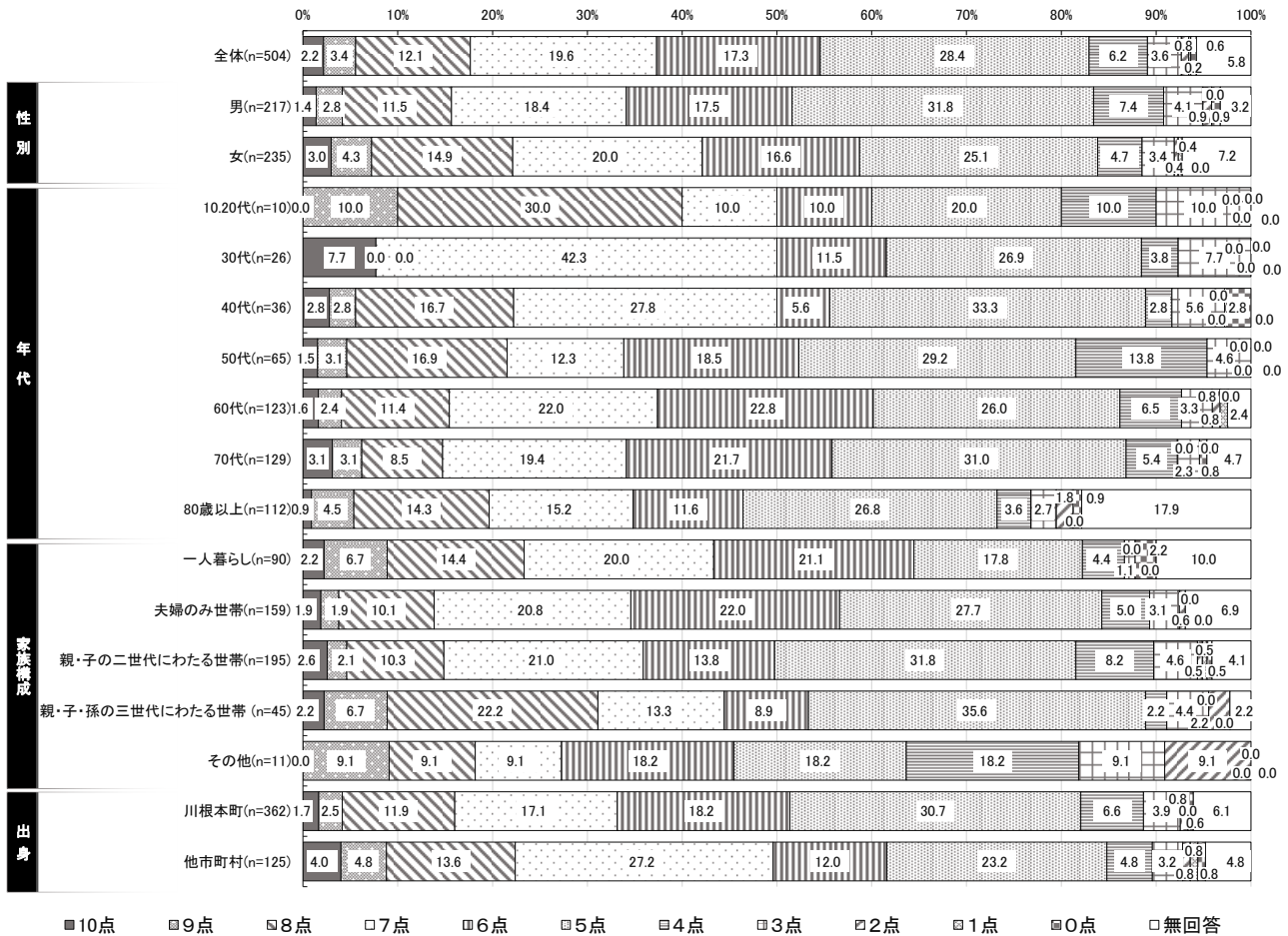


問 20

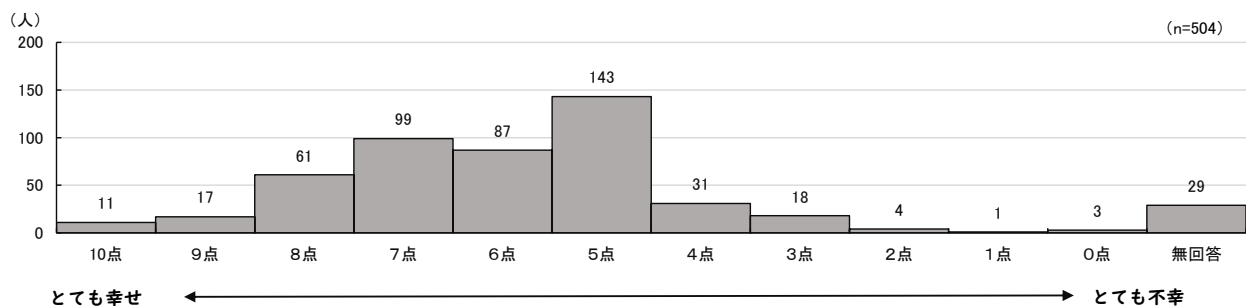
あなたの地区の人々は、大体において、どれくらい「幸せ」だと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。ここでは、自分の同居家族は除いてお考えください。(1つに○)

地区の人々の「幸せ度」については「5点」が28.4%と最も高く、次いで、「7点」(19.6%)、「6点」(17.3%)、「8点」(12.1%)、「4点」(6.2%)などの順となっています。

全体でみると、地区の人々の「幸せ度」の平均は6.0点となっています。



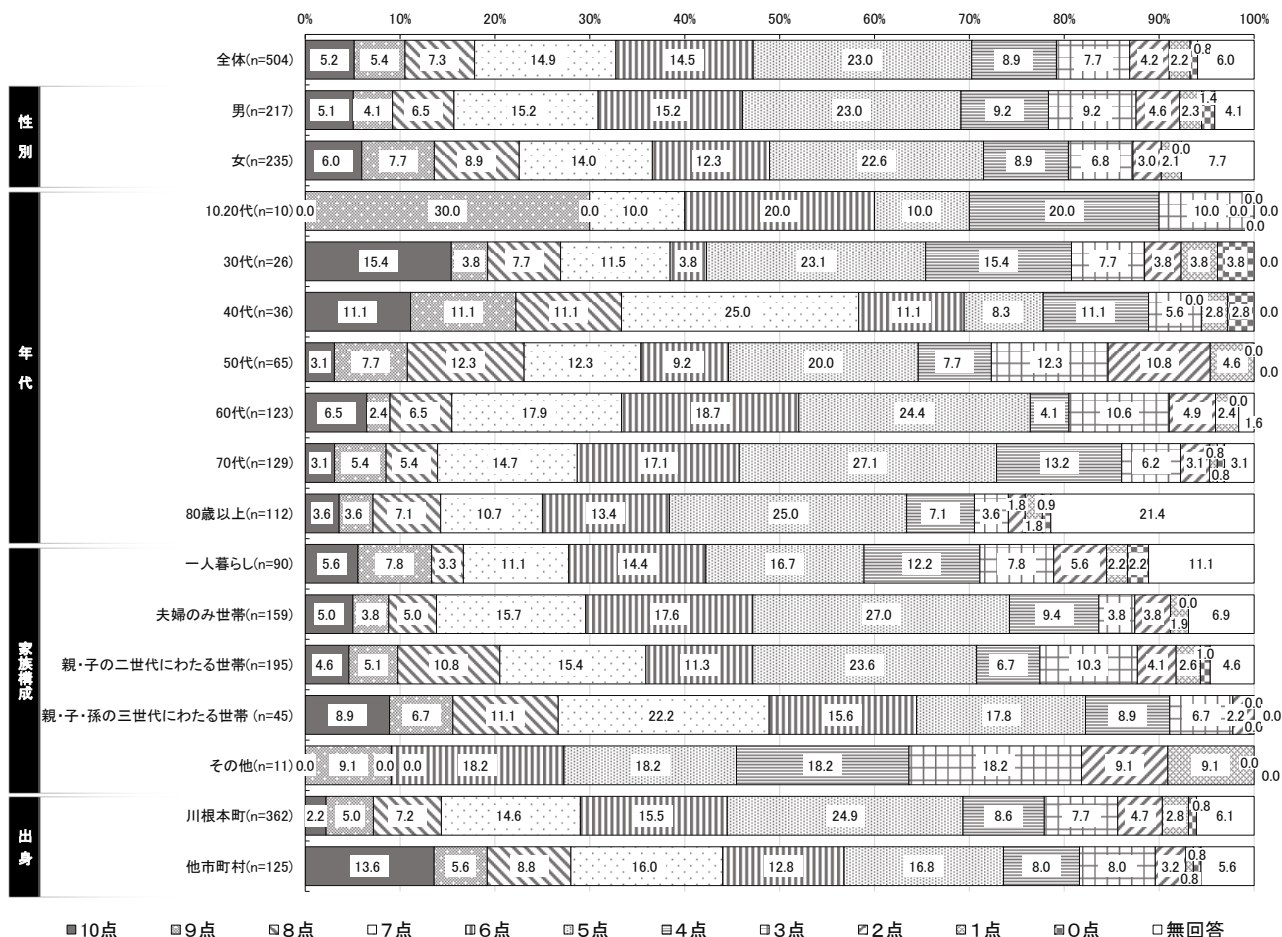
地区の人々の「幸せ度」(全体)



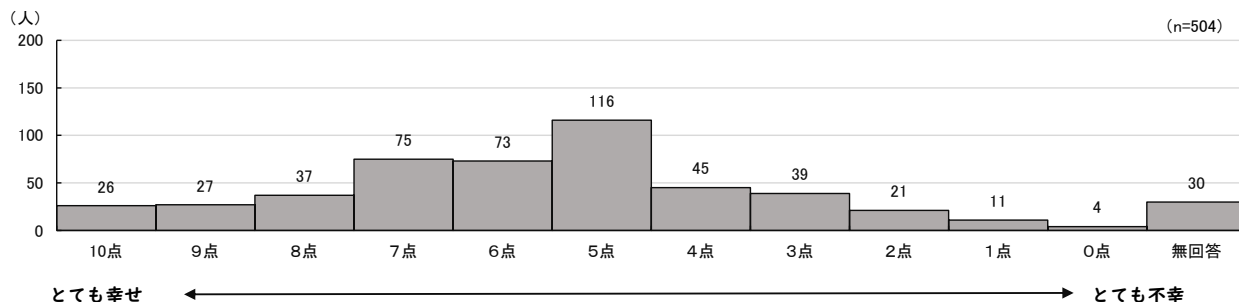
問 21

今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(1つに○印)

5年後のあなたの「幸せ度」については、「5点」が23.0%と最も高く、次いで、「7点」(14.9%)、「6点」(14.5%)、「4点」(8.9%)、「3点」(7.7%)などの順となっています。全体でみると、5年後のあなたの「幸せ度」の平均は5.7点となっています。



5年後のあなたの「幸せ度」(全体)

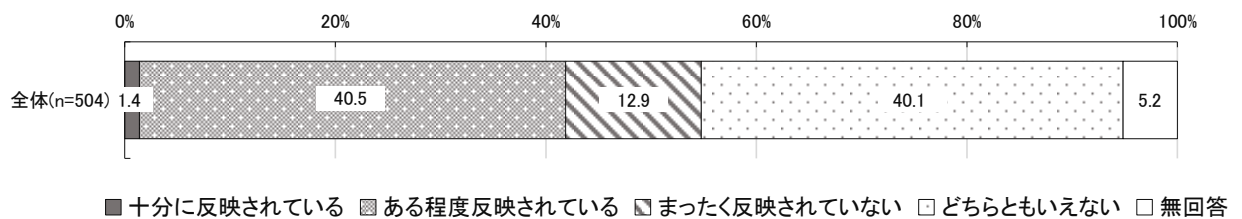


8 住民参加のまちづくりについて

問 22

町民の意向が川根本町の計画づくりやまちづくりの取組に反映されていると思いますか。(1つに○印)

計画づくりやまちづくりの取組に町民の意向が反映されているかについては、「十分に反映されている」(1.4%)と「ある程度反映されている」(40.5%)を合わせた『町民の意向が反映されている』は41.9%となっています。一方、「まったく反映されていない」は12.9%となっています。

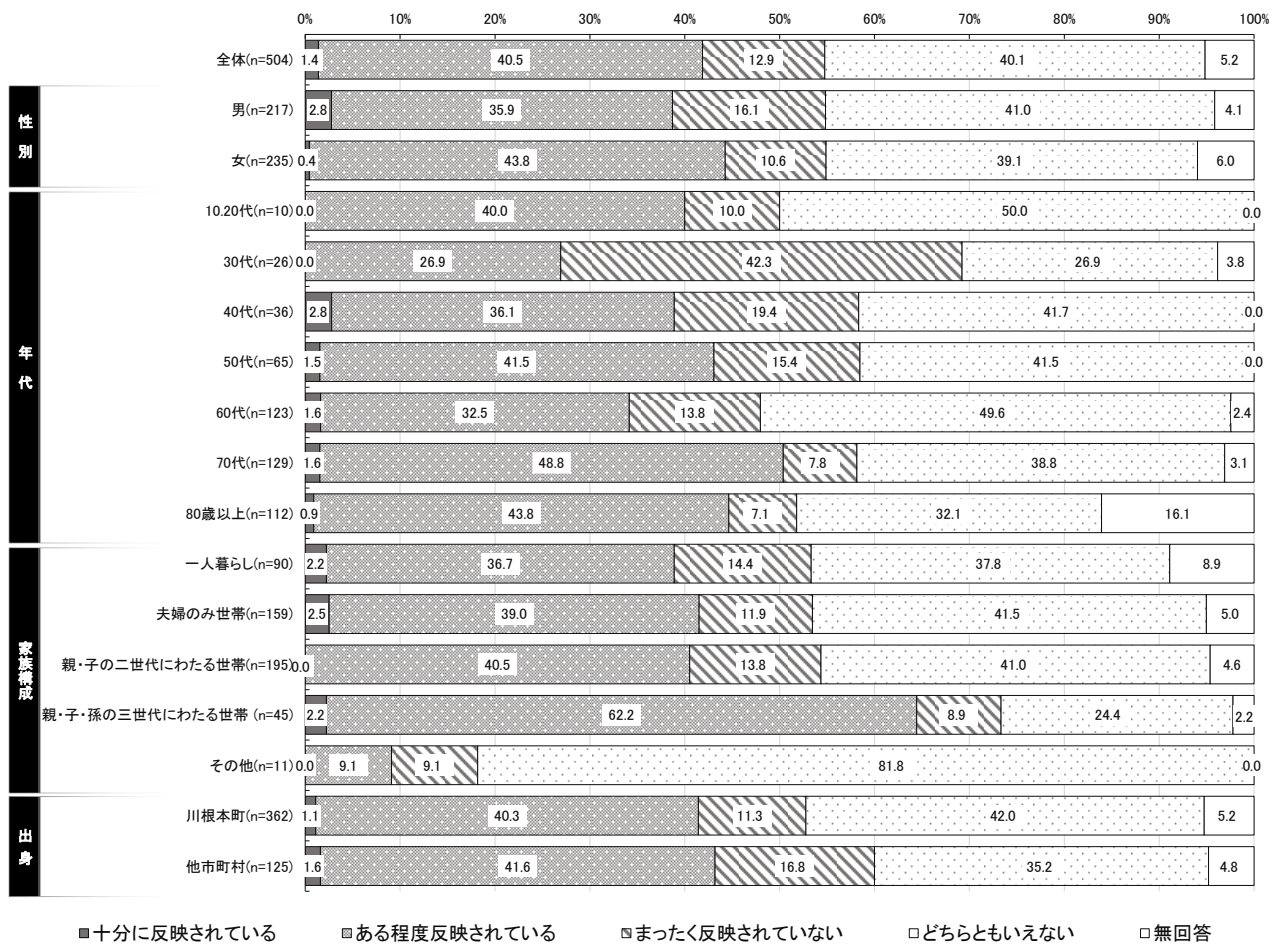


【 属性の分析 】

性別では、男性に「まったく反映されていない」の率がやや高くなっています。

年代別でみると、30代に「まったく反映されていない」の率が高くなっています。

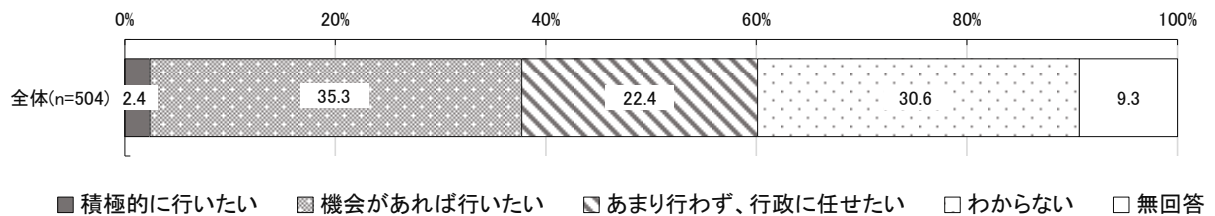
世帯種別では、親・子・孫の三世代にわたる世帯に「ある程度反映されている」の率が高くなっています。



問 23

あなたは、川根本町のまちづくりの取組に意見を出したり、活動したりすることについてどう思いますか。(1つに○印)

まちづくりの取組への参加については、「積極的に行いたい」(2.4%)と「機会があれば行いたい」(35.3%)を合わせた『まちづくりの取組に参加したい』は37.7%となっており、「参加したい」が4割弱となっており、潜在的な参加意欲は比較的高くなっています。一方、「あまり行わず、行政に任せたい」(22.4%)、「わからない」(30.6%)となっており、参加に踏み出せていない層もあります。

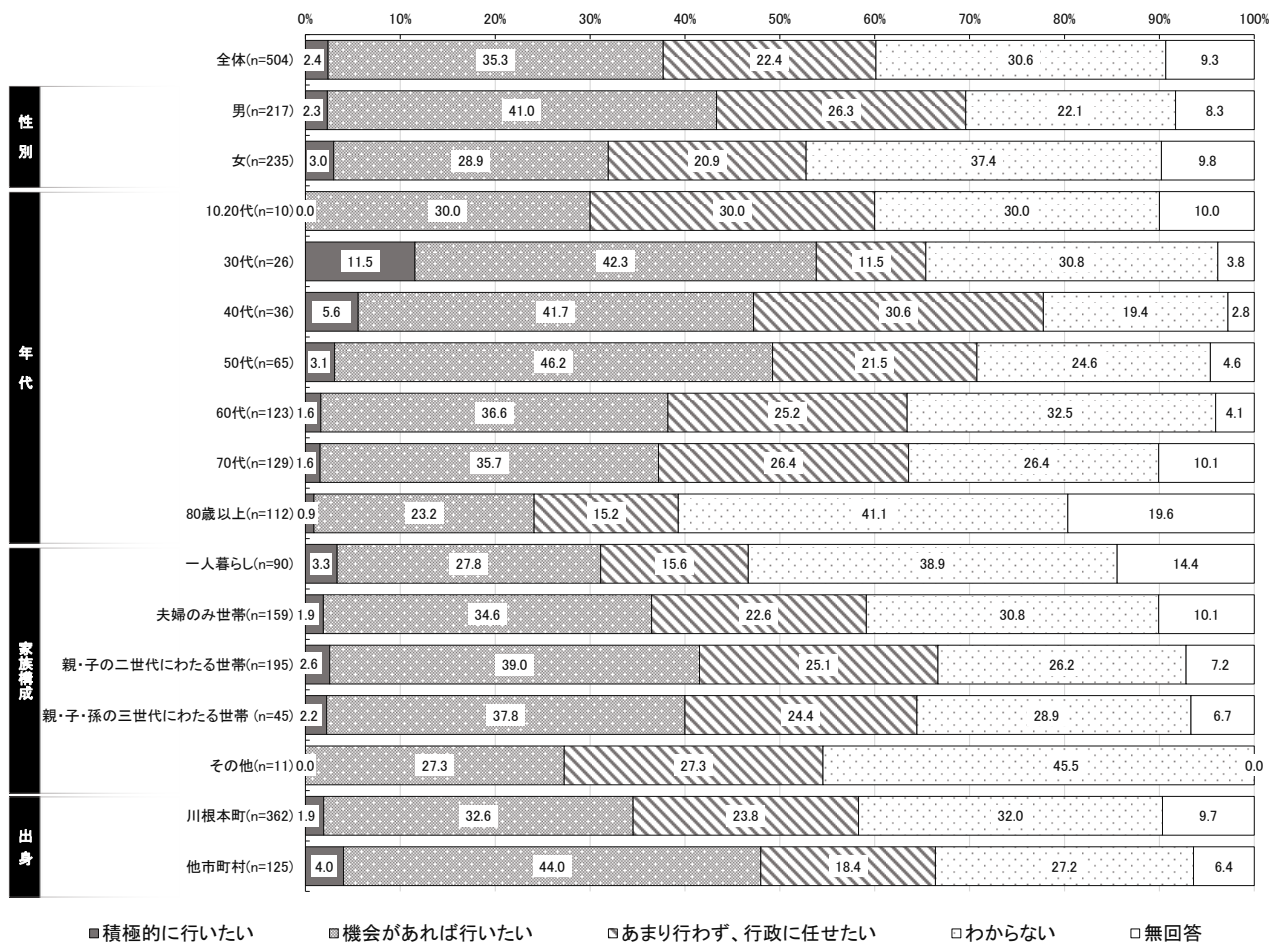


【 属性の分析 】

性別では、男性に「機会があれば行いたい」がやや高くなっています。

年代別でみると、30～50代に「機会があれば行いたい」がやや高くなっています。

世帯種別では、二世帯・三世帯にわたる世帯に「機会があれば行いたい」がやや高くなっています。

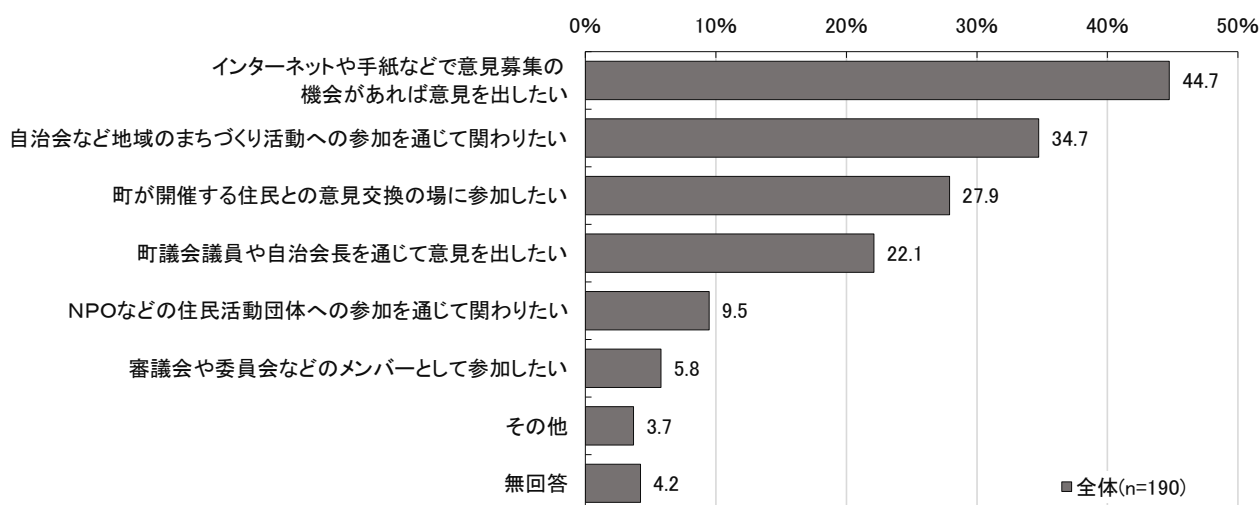


問 24

「1. 積極的に行いたい」または「2. 機会があれば行いたい」と回答した方におたずねします。

川根本町の計画づくりやまちづくりの取組について、どのように関わりたいと思いますか。(〇はいくつでも)

本町の計画づくりやまちづくりの取組との関わりについては、「インターネットや手紙などで意見募集の機会があれば意見を出したい」が44.7%と最も高く、次いで、「自治会など地域のまちづくり活動への参加を通じて関わりたい」(34.7%)、「町が開催する住民との意見交換の場に参加したい」(27.9%)、「町議会議員や自治会長を通じて意見を出したい」(22.1%)、「NPOなどの住民活動団体への参加を通じて関わりたい」(9.5%)、「審議会や委員会などのメンバーとして参加したい」(5.8%)などの順となっています。



〔その他〕

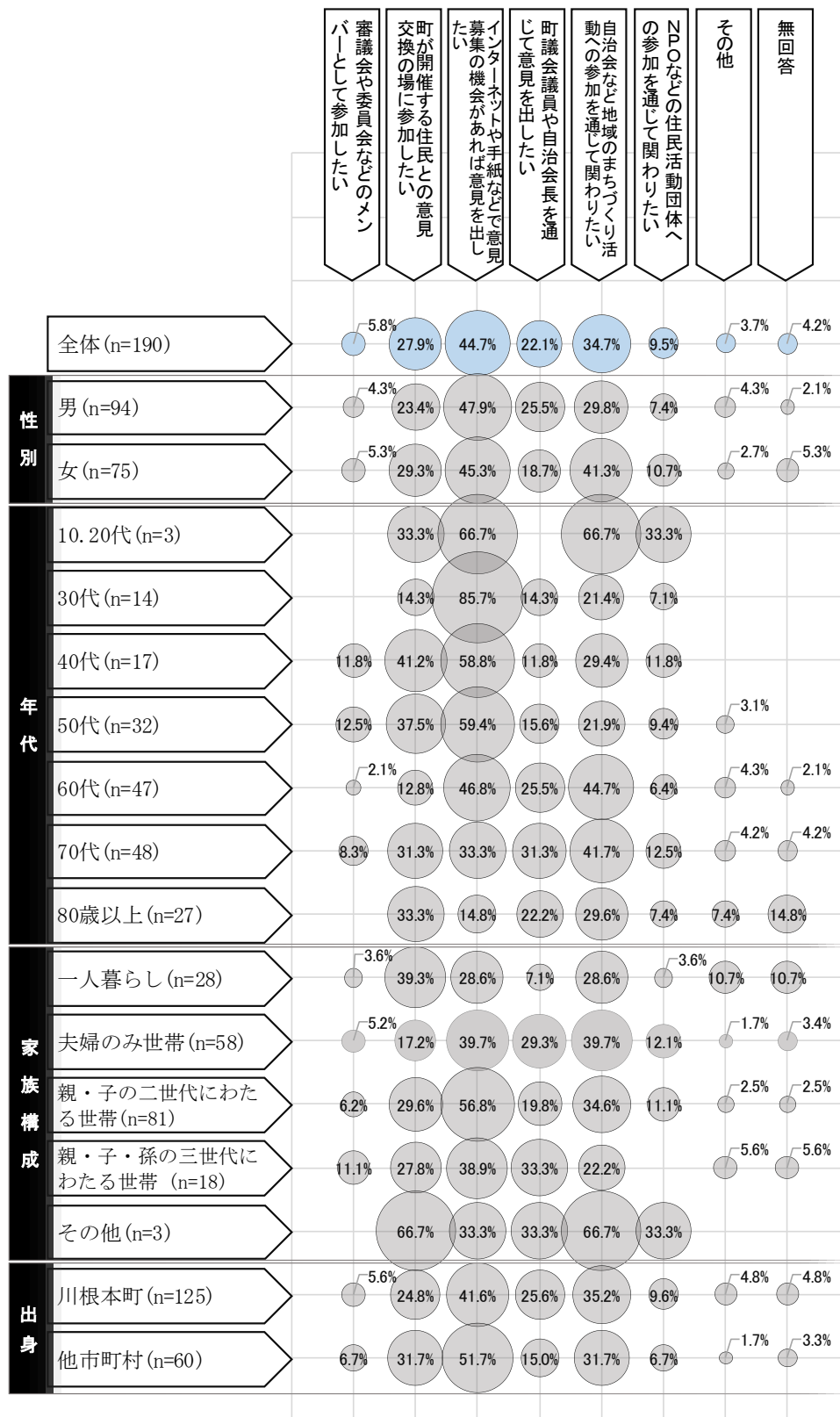
その時にならないとわからない/町議の人達が活動してほしい。町全体の責任をもって。/やりたくても年寄りで体が自由に動かせないのに、どうすれば参加できるの?意見だけは言えるけど。/直接役場へ/仲間で独自の活動をする/会議等、形式的な中での意見表出ではなく、日常生活の場で生活者の姿として伝えたい。/役場に誰にでも言いに行ける、ネットワーク等を設置する

【属性の分析】

性別でみると、女性では「自治会など地域のまちづくり活動への参加を通じて関わりたい」が男性に比べ高くなっています。

年代別でみると、50代以下では「インターネットや手紙などで意見募集の機会があれば意見を出したい」が高くなっています。

世帯種別では、二世帯世帯で「インターネットや手紙などで意見募集の機会があれば意見を出したい」が高くなっています。

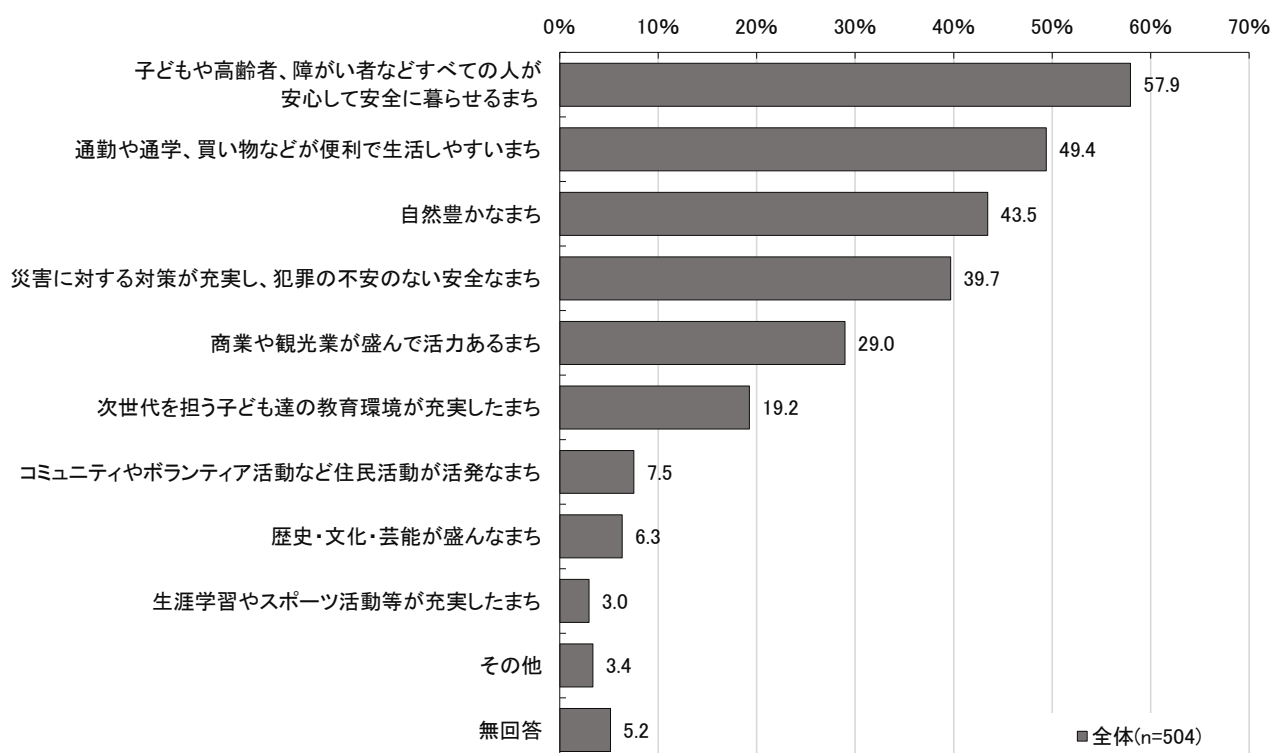


9 行政施策全般について

問 25

今後、川根本町はどのようなまちになってほしいですか。（3つまで○印）

川根本町の将来像については、「子どもや高齢者、障がい者などすべての人が安心して安全に暮らせるまち」が57.9%と最も高く、次いで、「通勤や通学、買い物などが便利で生活しやすいまち」（49.4%）、「自然豊かなまち」（43.5%）、「災害に対する対策が充実し、犯罪の不安のない安全なまち」（39.7%）、「商業や観光業が盛んで活力あるまち」（29.0%）、「次世代を担う子ども達の教育環境が充実したまち」（19.2%）などの順となっています。

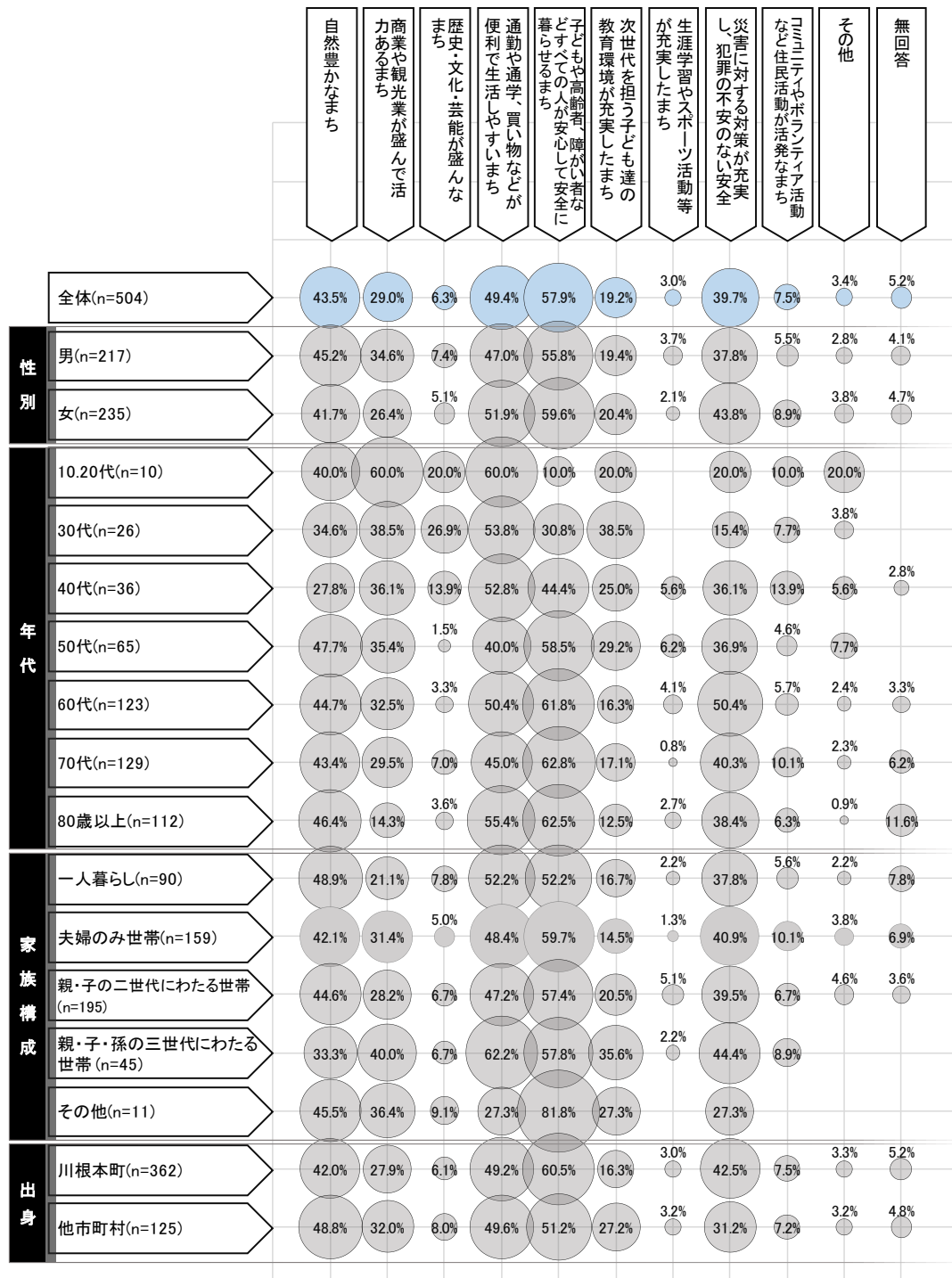


〔その他〕

それぞれの世代の人が満足できる町/医療が充実している町/町民が意見を言いやすい町、伝えやすい町、子育てがしやすい町、町が子供を宝だと思っていることが伝わってくる町/車利用ができなくなった時の医療、買い物が最大の心配事です。/移動のための車が欲しい、バスやタクシーなど/ペットと共存しやすいまち/人工的な山林川を元に戻していく/医療機関の充実、働ける場所がある町/茶一点に依存したモノカルチャーではなく、衣食住が成立するマルチファンクショナルな衛星都市的なまちです。/ライブハウスが欲しい/人口が増えて上記の事が実現できる/役場職員が町外へ出て転職せず、川根本町に住めるようになる事。それこそが町民が住みやすい町。/景観良好な町、森林整備、右岸の道路整備/経済縮小に追従して、他地域への依存度を高めていくまち（川根本町の機能を外部へ移転していく）/祭りなどの行事を減らしてほしい、休みがなくなる/第一次産業が活発な街/

【 属性の分析 】

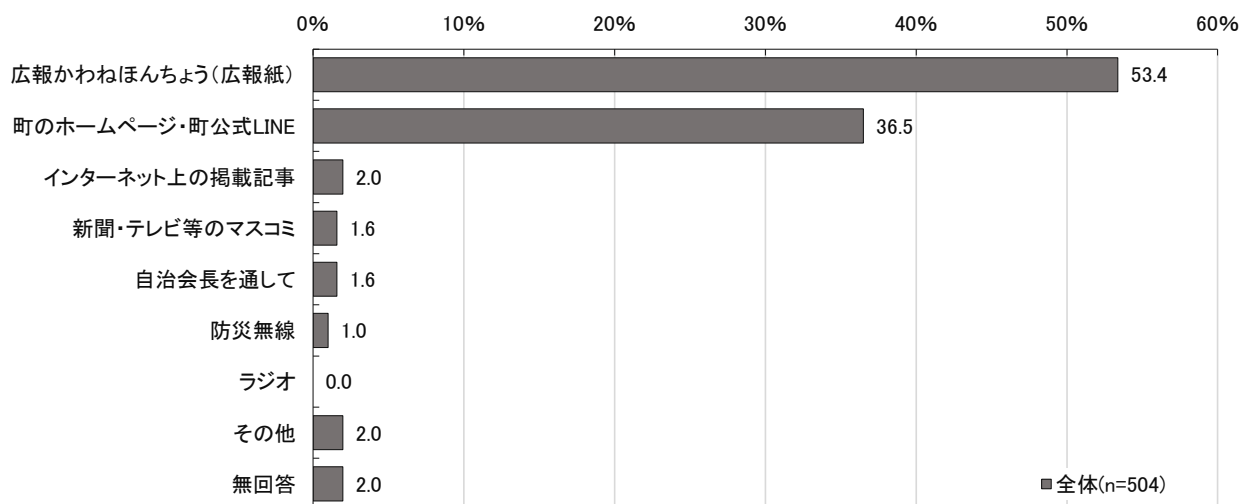
年代別でみると、10・20代では「商業や観光業が盛んで活力あるまち」が高くなっております。



問 26

川根本町に関する情報を、どのようにして入手していますか。(1つに○印)

川根本町に関する情報の入手方法については、「広報かわねほんちょう(広報紙)」が53.4%と最も高く、次いで、「町のホームページ・町公式LINE」(36.5%)、「インターネット上の掲載記事」(2.0%)「新聞・テレビ等のマスコミ」(1.6%)「自治会長を通して」(同率1.6%)、「防災無線」(1.0%)などの順となっています。



【その他】

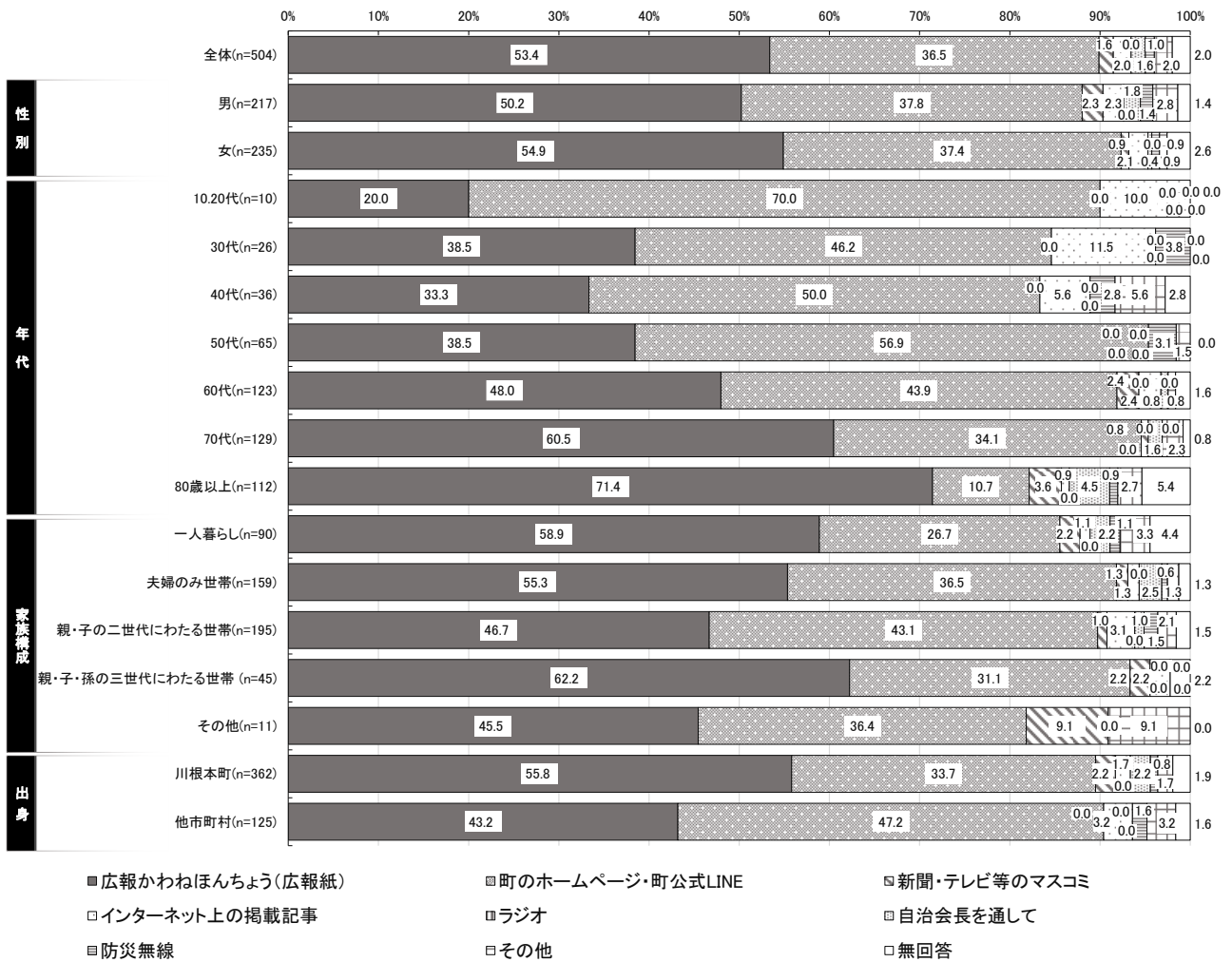
かわかぜのチラシ/近所の噂話から/人に聞く/身近な人たち/子供から教えてもらっている/友人からの情報/ヤマセミ/

【属性の分析】

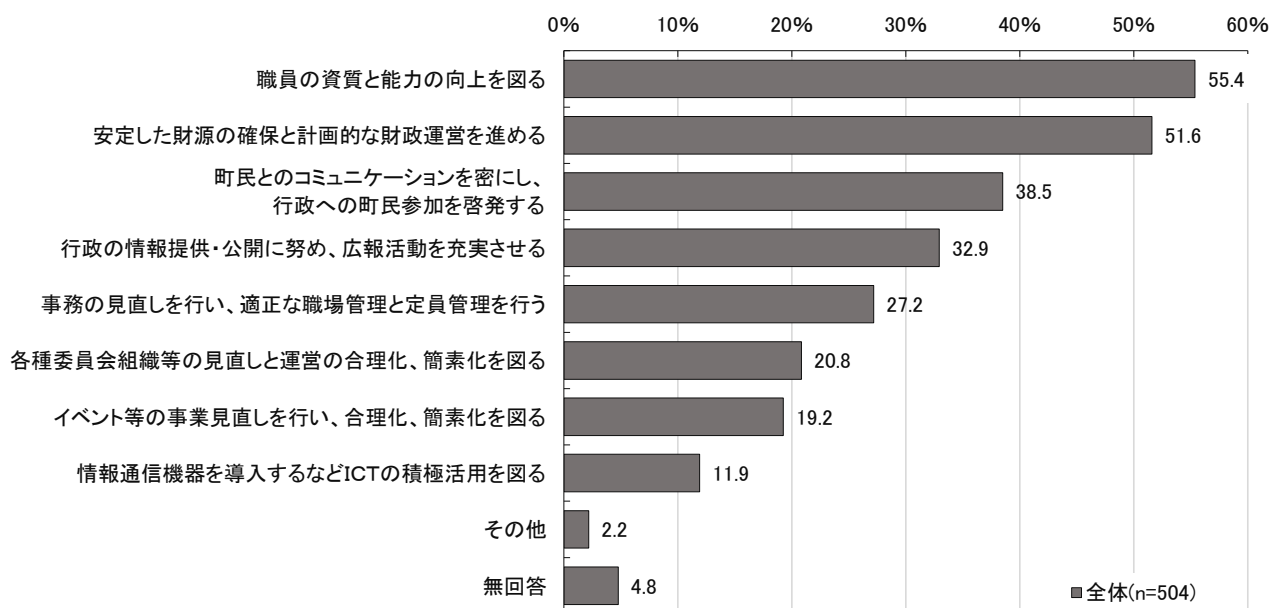
年代別でみると、概ね年代が高くなるにつれて「広報かわねほんちょう(広報紙)」が高くなっていき、一方「町のホームページ・町公式LINE」が低くなっています。

家族構成別でみると、ひとり暮らし世帯、親・子・孫の三世代にわたる世帯では「広報かわねほんちょう(広報紙)」が高くなっています。

Ⅱ-9 行政施策全般について



行政の効率性を高めるために必要なことについては、「職員の資質と能力の向上を図る」が55.4%と最も高く、次いで、「安定した財源の確保と計画的な財政運営を進める」(51.6%)、「町民とのコミュニケーションを密にし、行政への町民参加を啓発する」(38.5%)、「行政の情報提供公開に努め、広報活動を充実させる」(32.9%)、「事務の見直しを行い、適正な職場管理と定員管理を行う」(27.2%)、「各種委員会組織等の見直しと運営の合理化、簡素化を図る」(20.8%)、「イベント等の事業見直しを行い、合理化、簡素化を図る」(19.2%)、「情報通信機器を導入するなどICTの積極活用を図る」(11.9%)などの順となっています。

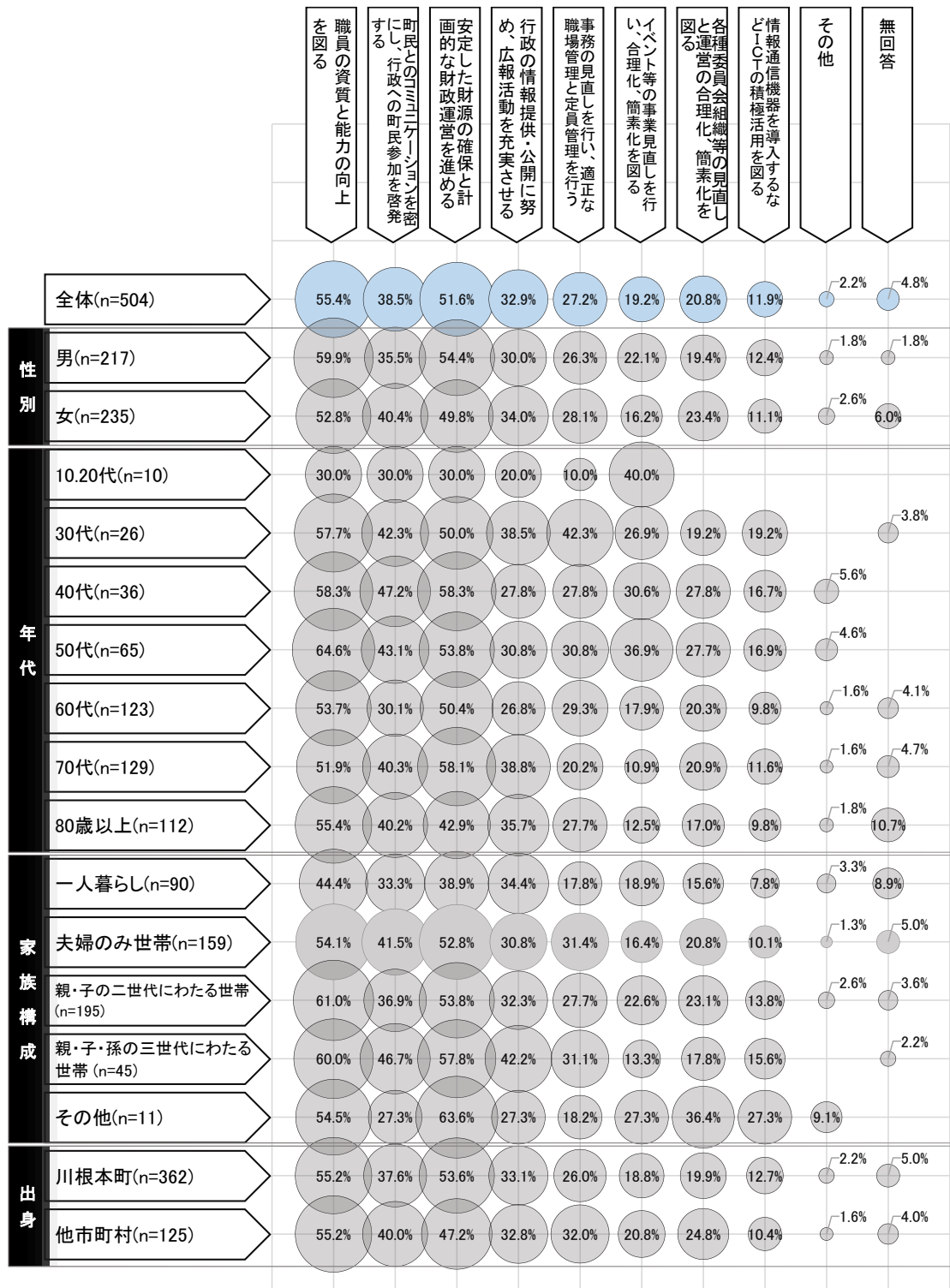


【その他】

民生委員が働かない/明るい挨拶、町民の意見を苦情ととらえるのではなく、ピンチをチャンスに変えられるアイデアを考えられる前向きな意思の向上。/人工的な作り物より生活に密着している物をつくりたい/課の連携の強化、人を大切にする職場づくり/今のままでいいと思う/他地域の成功例と失敗例から学ぶこと/役場も頑張ってくれていると思っている。/学校はひとつ！中川根と本川根合わせてひとつにするべき！また、川根高校の寮生への援助は断ち切るべき！/独自路線を行くのは大変なので、全国の同じような市町村と連携、協力する。/

【属性の分析】

年代別でみると、30代では「事務の見直しを行い、適正な職場管理と定員管理を行う」が、50代では「イベント等の事業見直しを行い、合理化、簡素化を図る」が高くなっています。



10 自由意見等について

◎あなたの生活で、現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことやまちづくりについて、ご意見などがありましたら、率直なお考えやご要望をお聞かせください。

行政に望むことやまちづくりについてのご要望やご意見等は、41人の方からありました。

その中で＜まちづくり・行政＞、＜自然・環境＞、＜住生活＞、＜道路・交通＞、＜観光・PR＞、＜学校・教育＞、＜祭り・歴史・文化＞、＜子育て＞、＜高齢者＞、＜店舗・買い物＞に分類しています。

いただきましたご希望やご意見等は下記のとおりとなります。

内 容
まちづくり・行政
○町で行っているプロジェクトや土地利用などが、一部の人達で回っている印象がある。特に、町長や議員、役場職員幹部の人間関係や親戚関係に有利にはたらいっている様にうつる。不利に感じる町民は、情報をキャッチできていない側面もあると思うが、後から不満が出ない様に、この町に住む人間の現状に合わせて、その辺りの住民への説明や調整などをもっと丁寧にやって頂けるといいかと思います。 ○町が関わって移住される方には、自治体の活動に必ず参加する事を条件にして欲しい。また、移住したらそれで終わりではなく、移住者が地域の方と馴染んでいるかなど、時々、双方にヒヤリングして頂きたい。移住者の方には自治体の活動に全く関わらない方もいて、不満や不安の声が出ています。 ○人口減少が大きな課題であるだけに、町から出ていく役場職員の方の考えがわかりません。その様な方がどれだけ真剣に町の事を考えてくれているか、とても疑問です。そこが、行政と住民の一番大きな溝になっていると思っています。 ○少子高齢化に歯止めを掛け、人口増加させるために何をやるべきかを音頭をとって考えていく事を推進して貰いたい。 ○放棄茶園の対策を考えて下さい。文化会館の活用ですが、町民が、行って観たくなるような、公演等も、お願いします。町で、若者が、長く住み続けたい町になるように取り組んで欲しいです。 ○若者もこの町に残りたくるよう 風通しの良い町、若者が声を出せる町 ○合併した時の、人口は、9600人、現在は、6000人を切ってしまった。過疎化と、若者流出が止まらない。道路問題が、進んでないのは、政治の力が無いのではないかな？ ○可能な限り他地域のリソースを活用する ○川根本町職員なのに他の市や町から通うのはどうかと思う ○役場の回答が、何かあってからの行動、まるで警察みたいでびっくり!!、お年寄りが多いのに何も見回りもしない、声かけもしない。 ○今後住民の高齢化と実質的な労働人口が減っていくことは確実なので、過疎地区住民を人口が多い地区へ移転を促すなど、人口減に合わせた取り組みをしていく必要があると思う。 ○若者が安心して結婚出産子育てできる手厚い手当で、補助、環境を整えてあげてほしい ○老若男女、みんなが暮らしやすい町づくりを期待します ○税金の払い込み用紙をコンビニでも使えるようにして欲しい ○コロナ感染問題からか通夜・葬儀は島田等町外で行うことが増えている。町内で会場がひとつあればと思う。 ○若い人が、島田市藤枝市静岡市辺りと遜色ない給与で働くことができる企業誘致と子育て支援 ○安心して暮らせる町づくり ○熊、野良猫、空き家の問題は、国、県、他の市町村と連携、協力して、後手に回らないよう対応してほしい。

内 容
○人口減については避けられないと思う。財政の健全性は担保したうえで、無理のない範囲で合理的に対応してほしい。将来的には市町村合併も1つの選択肢として、今から研究はしておいてほしい。 ○基本的に今の行政に満足しています。いろいろな意見があると思うが、最後は優先順位を決めて、また全国の同じような町村の様子を参考にして、行政を運営してほしい。 ○女性の積極的な参画を推進してほしいです。私が住んでいる地区では、区長や防災委員などの役割はすべて男性が担っています。女性も「女性はやらなくてもよい」という雰囲気があります。男性だけでなく、女性の考え方を考える取り組みに期待します。 ○他人を非難中傷したりせずに、意見を広く取り入れる人が議員や町長であってほしい。仕事や子育てであまり地域の活動や講座には参加することは難しいが、こういったアンケートなどは喜んで協力したいが、回答が2つまでしかできない点は改良してほしい。結婚して町民になったが、川根本町が大好き。 ○犬を連れて出かけられる場所（ドッグランやカフェ等）が町内になく、豊かな自然があるのにもったいなく感じる。高速道路のSAのようにある程度整備すれば観光客が増え町全体の観光収入増加に繋がるのでは。 ○まちづくり講座に参加し、大変充実した時間となりました。役場の職員さん自ら声をかけて下さり、町のことを真剣に考えていらっしゃる様子が伝わってきました。もっと町のことを知る機会となりそうで今後も楽しみです。そのような機会があるのはとても良いことだと思います！ ○ここの町は、長年住み慣れたとても愛着のある町で、今後も住み続けたいと思う町です。ICTの進化と共に、教育文化面や健康福祉面など様々な分野で便利になってきましたが、子どもからお年寄りまでが、わかりやすく安心して生活できる川根本町であってほしいと願います。 ○昔からの仕組みを変えられていない。（例えば消防活動や各区での役割など）今生活している人も、これから川根本町で生活する人も負担なく楽しく安心して生活できる仕組み作りが必要だと思う。 ○民生委員不在など不安材料があります。LINEを通して住民が意見を自由に言える、提案できるといいと思います ○消防団で行われる酒を飲んだりする打ち上げ的な活動が参加者のコミュニケーションとなっているが下品で有名である。川根本町の消防団は費用対効果が低く、自治体に払う金額があるならプロを雇うか、別の対策を考える資金源にし、即刻解散でいいと思う。別の方法で火事の対策を考える事は必須ではあるが、納めている税金から酒代などに代わっている可能性があると思うととても残念である。また、入らないとお前の家には火を消しに行かない、と言われたこともある。無駄な時間と金を使っている事を認識したほうがよい。 ○移住者に優しい街では困る。元々川根本町出身の人が、教育や仕事を理由に出ていくのを何件もみている。現に役場の職員も外から通っている。 ○川根高校がいつまで存続するか分からない今、子育て世代がこれ以上出ていかないように交通機関等の充実を早急にすすめてほしい。
自然・環境
○獣が来なくなるよう山の管理 ○移住して来て2年たちます。自然豊かな環境の集落でとても良いと感じてます ○財政不足は理解出来るが、木が倒れそうだ等区長から申請があってもなかなか対応してくれない
住生活
○賃貸物件をもっと安くして欲しい、タクシー、代行を入れて欲しい

道路・交通
○道路に木が覆いかぶさって居るので 道路沿いの木の伐採 ○今は自動車を運転できるのでそこまで考えないのですが、運転が出来なくなってから買い物だとか病院(入院)とかになるとあまりにも遠いので不安になります。 ○自転車が安全に通れる道路の充実、歩行者が安全に歩ける歩道が足りてないところの整備を見直して欲しいです。地元の人の健康維持や、観光客でも利用すると思います。 ○道路(デコボコが多すぎる)、水道などのインフラ整備。歩行者や自転車が安心して通行できる歩道や側道の整備(雑草で側道が狭まっている)。
観光・PR
○まちづくりでは、湖上駅が全国から脚光を浴びている最高の場所なので、来てくれた人に少しでもまた来たいって思ってもらえる様なちょっとしたサービスがあるといいですね。心に残る場所を目指したいですね。 ○せっかく温泉が有名なのだから そこに行くまでのルートを楽しめるようにしてもらいたい。 ○川根本町のお茶や柚子などの宣伝など、発信をいろんなアイデアでしてください。 ○仕事から川根本町の紹介をすることが多いが、夢の吊り橋や湖上駅以外はあまり知られていないのが残念。川根本町の魅力を凝縮した水に強いポスターや手ぬぐいなどがほしい。 ○他の地域から訪れる人達が川根本町のどのようなイメージをもっているかリサーチして、イメージの多い順に設備を整備する。重要なこととして、その景色や風景にマッチしたものでなければならぬと思います。成功している観光地域や温泉場はそのあたりのセンスが良いと思います。
学校・教育
○高校生の通学に関して、家山まで朝送って行くという話を聞いた。早く電車を動かして親の負担を減らしてあげてほしい。自分の子供が高校生になり、川根高校以外の選択肢になった時、毎朝送り迎えがあると思うと本当に大変。
祭り・歴史・文化
○祭ですが、昔から続く鹿ん舞などは子供が少なくなってきたので子供たちだけでやらせるのはどうかと思う。ましてや、地区も限られていて強制的にやらされるのが苦痛な子供もいる。大人がやったって良いと思う。田舎だから、昔からあるから、などそういう思いを大切にするのはもちろん良いと思うが、それが原因で移住をやめる人もいることは事実。この環境で祭のあり方も考え直すこともやってほしい。
子育て
○子供が楽しめる公園がないことがずっと気がかりです。廃校の古い遊具ではなく、新しい遊具や安全な公園があればいいなと思います。グランドゴルフ場が1つくらい子供のための公園になってもいいのに……と感じます。 ○現在、子供が病気になると必ずどちらかが休みを取らなくてはいけない状況に困っています。 ○例えば診療所などで風邪などを引いて子供を見てもらえるような環境などがあると大変助かります。 ○子供が遊べる公園、遊具、室内施設などがあると助かります。 ○川根本町の未来は今の子供たちに託されているはず。個々の個性を伸ばす柔軟な教育と共に、川根本町の強みである地域密着の教育で子供たちを育て見守って行って欲しいです。 ○小学生以上で子どもだけで遊びに行けたり、おやつなどを買い物に行けたりする場所があれば良いと思う。 ○子どもから大人まで楽しめるアスレチックのある公園を！(10年前から訴え続けているが、この町には小中学生が楽しめる公園がひとつもない。グランドゴルフ場はたくさんあるのに…)

高齢者福祉
○介護の手が足りないのに、介護関係の給料が低すぎる。看護師などの確保が本当に大変だと聞いた。高齢者だらけの町なのに、介護の人手不足はまずいと思う。 ○老人に対する福祉はかなり充実しているが若者に対する施策はほとんどないように思う。かといって老人福祉を削減した頃に自分が老人になるであろうから碌なもんじゃない。 ○川根本町は高齢者施設等は現在介護をしている立場でみるととても対応が早く充実しているのでそこは安心しています。 ○今、母親を介護しながら生活しているが、毎日が忙しくて大変。土日も休めない。こういう家庭はこれからも増えていく。これでは行政に満足することはない。町がなにをしても厄介なだけ。 ○高齢者が安心して生活できる、人生を楽しむことができるまちづくりをお願いします ○障害をもった方々、そしてその家族が安心して生活できる、人生を楽しむことができるまちづくりをお願いします そのために、今も職員の方々は忙しい毎日だとは思いますがそういった方々の、それぞれの現状をよく把握して、一人一人の想いをきいてほしいと思います ○高齢者なので『10年後の川根本町』より、今日の自分の生活が優先課題です。 ○大井川鐵道の支援等、観光産業振興のために使うお金が有れば、災害等で通行止めや交通障害になっている道路を早く治してくれる方がありがたいです。また、大量のダンプカーの往来でデコボコになってしまった道路も治して欲しいと私は思います。ダンプカーからは通行料を頂きましょう。 ○高齢化が急速に進んでいることから、学校の空き教室を改装して、介護保険とは別に高齢者世帯、一人暮らしの方たちが、気兼ねなく宿泊できる場所とし、身体的には動くことが出来る人は、畑仕事等依頼があるお宅へ順番に皆で畑にいき、栽培や採集を行えれば、日々多くの力を借りること、楽しく安心して元気で暮らすことができるかと考えます。 ○現在子供に世話になりたくないと考えている方がいる ○動けるうちは動きたい。しかし家事等が大変な方たちが多いので、支援してくれれば生きがいがあり、認知症になる方減少に導いてくれるのではと思います。
店舗・買い物
○大型のスーパーまではいかないが、スーパー、ドラッグストアは欲しいです。 ○大型スーパーを入れて欲しい

※複数のご意見は、分割記載・集約などしています。

※誤字・脱字は修正させていただきましたが、基本お書き頂いた原文のままとなっています。

Ⅲ アンケート調査票

川根本町の未来は、あなたの声から。

～まちづくりアンケートへのご協力をお願いします～

町民の皆様には、日頃から町政に対し格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、川根本町では、今後のまちづくりの指針となる「第3次川根本町総合計画」と、少子高齢化の進展に対応し、将来にわたり活力ある社会を維持するための「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を進めています。

このアンケートは、皆様の暮らしの中でのご意見をお聞きし、これからの計画に反映させるための“大切な調査”です。

『一人ひとりの声が、川根本町の 明るい未来をつくる力となります』

本調査は、18歳以上の町民の皆様の中から、1,000人の方を無作為に選ばせていただき、お送りしています。ご回答は無記名方式で、アンケートは統計的に処理し、個人が特定されることはありませんので、安心してご協力ください。

回答に要する時間は約30分です。お忙しいところ恐縮ですが、町民の皆様のご意見をまちづくりに反映させる大切な調査ですので、ぜひともご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月

川根本町長

【回答方法】 いずれかの方法でご回答ください（所要時間 約30分）

インターネットで回答 (おすすめ 簡単に回答できます)	紙の調査票で回答
下の二次元コードまたはURLよりアクセスのうえ、ご回答ください。  (URL) https://gyosei.qualtrics.com/jfe/form/SV_79RxDmAKrZYCL8W	調査票にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れてポストにご投函ください。 ※切手は不要です。 ※○印は、番号を囲むように濃くつけてください。(例  1. 2.)

●月●日(●)までに(消印有効)ご回答をお願いします

【お問い合わせ先】

川根本町役場 経営戦略課 まちづくり推進室

電話(0547)56-2221

【アンケートのご回答にあたってのお願い】

1 アンケートの対象者の方がご回答できない場合は、ご家族の方がご回答ください。その際、ご回答いただいた方の年齢や性別などの該当箇所に○印をつけてください。

2 このアンケートは、インターネットでもご回答いただけます。インターネットでご回答いただく場合は、この紙の調査票をご返送いただく必要はありません。二次元コードまたはURL からアクセスしていただき、設問にそってご回答ください。

なお、インターネットでご回答いただく際は、あらかじめ以下の点をご了承ください。

- 通信サービスの接続料金は、ご回答者様のご負担となります。
- 一度ご回答を送信されると、その後の修正はできません。

あなたご自身のことについて

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに
○印をつけてください。

(1) 性 別	1. 男	2. 女	3. その他
(2) 年 齢	1. 10代 5. 50代	2. 20代 6. 60代	3. 30代 7. 70代 4. 40代 8. 80歳以上
(3) 川根本町に住んでいる通算年数	1. 1年未満 3. 5年以上10年未満 5. 20年以上30年未満	2. 1年以上5年未満 4. 10年以上20年未満 6. 30年以上	
(4) 職 業	1. 会社員 3. 公務員 5. 自営業（農林漁業） 7. パート・アルバイト 9. 学生	2. 会社役員 4. 自営業（商工・サービス業） 6. 派遣社員 8. 専業主婦（夫） 10. 無職 11. その他	
(5) あなたの通勤先・通学先	1. 川根本町内 4. 静岡市 7. 吉田町	2. 島田市 5. 焼津市 8. その他（	3. 藤枝市 6. 掛川市 ）
(6) 家族構成	1. 一人暮らし 3. 親・子の二世代にわたる世帯 4. 親・子・孫の三世代にわたる世帯 5. その他（具体的に：	2. 夫婦のみ世帯 5. その他（具体的に：	
(7) 住居形態	1. 持ち家（一戸建て） 3. 民間借家（一戸建て） 5. 公営住宅 7. 間借り・下宿 8. その他（	2. 持ち家（マンション） 4. 賃貸アパート・マンション 6. 給与住宅 （社宅・公務員住宅等） ）	
(8) あなたの出身地	1. 川根本町	2. 他市町村	

現在の町に対する、あなたの思い(考え)について

問2 あなたは、川根本町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。
(1つに○印)

1. 愛着を感じている
2. 愛着をやや感じている
3. 愛着をあまり感じていない
4. 愛着を感じていない

問3 あなたは、これからも川根本町に住み続けたいと思いますか。(1つに○印)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 住み続けたい
2. どちらかといえば住み続けたい | 3. できれば町外に転出したい
4. 町外に転出したい |
|--------------------------------|--------------------------------|

↓
「1. 住み続けたい」または「2. どちらか
といえば住み続けたい」と回答した
方に

問3-1 住み続けたい理由は？
(2つまで○印)

1. 自然環境に恵まれている
2. 自分に合う仕事(職場)がある
3. 快適な住まいを確保できている
4. 地域での人間関係がよい
5. 親・兄妹・親戚が近くにいる
6. 子育て・教育の環境がよい
7. 医療・保健・福祉が充実している
8. 住環境がよい
9. 消防・防災・防犯体制が整っている
10. 余暇や文化活動、娯楽を楽しむ場や機会が多い
11. まちのイメージ・雰囲気がよい
12. 仕事や商売に適している
13. まちには将来性・発展性が期待できる
14. その他

(具体的に:)

↓
「3. できれば町外に転出したい」また
は「4. 町外に転出したい」と回答した方
に

問3-2 転出したい理由は？
(2つまで○印)

1. 自然環境がよくない
2. 自分に合う仕事(職場)がない
3. 快適な住まいが確保できない
4. 地域での人間関係が不安
5. 親・兄妹・親戚が離れている
6. 買い物や生活に不便
7. 交通の便が悪く、通勤・通学に不便
8. 子育て・教育の環境がよくない
9. 医療・保健・福祉が充実していない
10. 住環境がよくない
11. 消防・防災・防犯体制が不安
12. 余暇や文化活動、娯楽を楽しむ場や機会が少ない
13. まちのイメージ・雰囲気がよくない
14. 仕事や商売には適さない
15. まちには将来性・発展性が期待できない
16. 地震やがけ崩れが心配
17. その他(具体的に:)

まちづくりの満足度・重要度について

問4 川根本町での暮らしについて、第2次総合計画の各分野の現在の「①評価」と、その分野の施策の今後の「②重要度」をおたずねします。それぞれの項目についてお答えください。

①あなたは、各項目の現状についてどの程度満足していますか？それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○印をつけてください。

②あなたは、各項目について今後どの程度重要と考えますか？それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○印をつけてください。

評価等 項目			評価					重要度				
			満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
■記入例 1. 川根茶 地域資源の価値の向上			①	2	3	4	5	1	②	3	4	5
川根茶・温泉・自然 川根本町の強みを活かすプロジェクト	1.	川根茶 地域資源の価値の向上 (茶業従事者、関係機関、各種団体、町が一体となった組織づくりにより、早急に茶業の戦略的な展開に向けた取組)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2.	温泉 地域資源の活用と新たな価値の創出 (豊かな自然環境を活かした体験と温泉を組み合わせた観光プログラムを早期に開発し、推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3.	自然 自然との共生・豊かな暮らしの実現 (キャンプ・カヌー等の体験を活かし、自然と共生したワーケーションなど、安らげる空間を提供)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

Ⅲ アンケート調査票について

評価等 項目			評価					重要度				
			満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
■記入例 1. しごと 多様な就労環境の創出			①	2	3	4	5	1	②	3	4	5
人口減少の克服を目指すプロジェクト	1.	しごと 多様な就労環境の創出 (ICTを活用したサテライトオフィスや企業誘致を行うとともに、商工会や関係機関、町が連携し、新たな産業の創出を検討)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2.	ひと 生産年齢人口の流入、定住の促進 (ICT教育・キャリア教育やリカレント教育等の川根本町らしい教育を展開させるとともに、移住・定住プロジェクトチームを立ち上げ、魅力あるまちを目指す。また、関係機関や近隣市町と連携し、マンパワーをフル活用して賑わいあるまちを創出)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3.	まち 誰もが暮らしやすいまちづくり (官民一体となって身近で顔の見えるサービス提供の維持・充実を図る。また、近隣市町と連携した広域的な医療・福祉サービスを展開)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



評価等 項目			評価					重要度				
			満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
■記入例 1-1-1 幼児教育			①	2	3	4	5	1	②	3	4	5
教育・文化分野地域を支えるひとであふれるいるさと	1.	1-1-1 幼児教育										
		(就学前教育の充実、家庭・地域教育の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2.	1-1-2 義務教育										
		(学校教育ビジョンの推進、教育内容の充実、学校と家庭、地域社会との連携)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3.	1-1-3 高校教育										
		(川根高校の魅力化の促進、可能性を広げる多様な体験の創出支援、交流機会の創出)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4.	1-1-4 学習環境										
		(教育環境の充実と活用)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5.	1-2 産業人材育成										
		(能力開発支援、人材確保)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6.	1-3-1 生涯学習										
		(生涯学習の推進、社会教育関連施設などの充実・整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7.	1-3-2 文化・芸術										
		(文化・芸術活動の促進、文化活動拠点の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8.	1-3-3 青少年活動										
		(青少年の育成、まちづくりへの参画促進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9.	1-4 生涯スポーツ										
		(生涯スポーツの推進、社会体育施設等の整備・充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

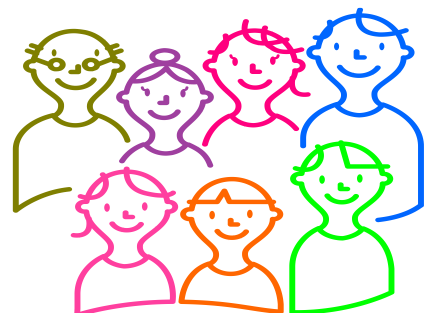
Ⅲ アンケート調査票について

評価等 項目			評価					重要度				
			満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
■記入例 2-1-1 保健			①	2	3	4	5	1	②	3	4	5
健康・福祉分野 安心して元気に暮らせるさと	1.	2-1-1 保健 (健康づくりの推進、健康づくりのための体制の整備・充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2.	2-1-2 医療 (地域医療体制の充実、救急医療体制の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3.	2-2 地域福祉 (地域における見守り体制の充実、生活困窮者の自立支援、福祉ボランティア等の育成・確保、地域共生社会を実現するための基盤整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4.	2-3 高齢者福祉 (高齢者の生きがいづくりと生活支援の充実、介護保険サービスの充実、地域包括ケアシステムの深化、高齢者を支える推進体制の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5.	2-4 障がい者福祉 (相談支援事業の充実、保健福祉サービスの充実、自立生活の支援と社会参加の促進、バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6.	2-5 子育て支援 (子ども・子育て支援サービスの充実、地域における子育ての支援、職業生活と家庭生活との両立の推進、見守り支援を必要とする児童への対応、子育てがしやすい環境づくり、男女の交流機会の創出)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

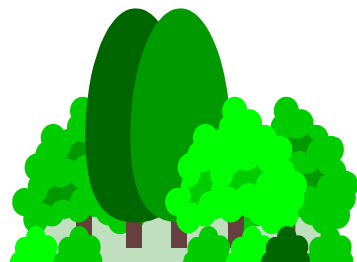
評価等 項目			評価					重要度				
			満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
■記入例 3-1-1 土地利用			①	2	3	4	5	1	②	3	4	5
生活環境・基盤整備分野 快適に安心して暮らせること	1.	3-1-1 土地利用 (計画的な土地利用の推進、地籍調査の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2.	3-1-2 道路・公共交通 (幹線道路網の整備、安全で快適な道路の整備、公共交通機関の維持・充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3.	3-1-3 ICT (地域情報化とICT利活用の推進、行政情報化の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4.	3-2-1 居住環境 (良好な住宅・宅地の供給推進、地域の住環境の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5.	3-2-2 移住・定住 (空き家の有効な利活用の促進、移住相談体制の充実、移住希望者の発掘)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6.	3-2-3 衛生 (ごみ減量化と資源化、環境美化の推進、生活環境の保全、公害の防止、斎場・墓地の適正な維持管理の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7.	3-2-4 水道 (良質な水の安定供給、水道経営の効率化)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8.	3-3-1 防災 (防災体制の強化、防災意識の高揚と自主防災組織の強化、治山・治水事業の促進、危機管理体制の強化)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

Ⅲ アンケート調査票について

評価等 項目			評価					重要度				
			満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
	9.	3-3-2 消防・救急 (防火意識の高揚と防火の徹底、消防体制の整備、救急・救助体制の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10.	3-3-3 交通安全・防犯 (交通安全意識の高揚、道路の改良と交通安全施設の充実、防犯活動の促進、消費者保護の充実、消費者の自立支援)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



評価等 項目			評価					重要度				
			満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
■記入例 4-1 歴史・文化			①	2	3	4	5	1	②	3	4	5
自然・環境・伝統分野 自然・歴史と共に暮らすいるさと	1.	4-1 歴史・文化										
		(文化財と伝統文化の保存・継承と活用)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2.	4-2 自然環境										
		(自然環境の保全、自然の利活用、河川の保全・整備、河川の有効利用)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3.	4-3 景観形成										
		(美しい景観づくりの推進、環境美化、「日本で最も美しい村連合」)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4.	4-4 環境保全										
		(環境保全活動の推進体制、脱炭素社会への取組、省エネルギーの推進、地域新エネルギー推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



Ⅲ アンケート調査票について

評価等 項目			評価					重要度				
			満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
■記入例 5-1-1 住民のまちづくり活動			①	2	3	4	5	1	②	3	4	5
住民参加・行政運営分野 住民主役の地域づくりが盛んないるさと		5-1-1 住民のまちづくり活動										
	1.	(地域コミュニティへの支援、地域活動の促進、住民主体のまちづくり)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2.	5-1-2 協働 (広報・広聴の充実、参画機会の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3.	5-1-3 地域間交流・国際交流 (地域間交流の促進、国際交流の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4.	5-1-4 人権尊重・男女共同参画 (人権教育の推進、人権尊重社会の実現、男女共同参画の推進、多文化共生社会の実現)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5.	5-2-1 行政運営 (効率的な施策の推進、組織・機構の合理化、町職員の意識改革と能力の向上、施設の維持・管理と整備、財源の確保、健全な財政運営の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6.	5-2-2 社会保険 (国民健康保険制度の適正な運営、国民健康保険と国民年金の連携強化、収納率向上対策の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7.	5-2-3 広域行政 (広域行政事業の推進、広域連携の強化)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

評価等 項目			評価					重要度				
			満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
■記入例 6-1 農林業			①	2	3	4	5	1	②	3	4	5
産業・労働分野 お茶と温泉 活気ある産業に満ちたふるさと	1.	6-1 農林業 (川根茶ブランドの強化、農業生産基盤の整備と経営の安定化、農業の意欲的な担い手の育成・確保、林業生産基盤の整備と需要拡大、森林の保全・整備、林業人材の確保と育成)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2.	6-2 商工業 (魅力ある商業づくり、生活密着型の商業の維持・確保、地元企業の支援、企業誘致の推進、起業支援)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3.	6-3 観光業 (観光の魅力化の推進、広域連携による観光の推進、インバウンド対応力強化、観光サービスの向上)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4.	6-4 プロモーション (プロモーション活動の仕組みづくり、戦略的な情報発信の展開、プロモーション活動の促進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



コミュニティについて

問5 あなたが、お住まいの地域で特にお困りのことはどれですか。（2つまで○印）

1. 日常の買い物が不便
2. 交通が不便
3. 病院が遠く、救急医療等が不安
4. 騒音や悪臭、振動、公害が不安
5. 災害時の避難など、防災対策が不安
6. 近所に頼れる人がいない
7. 娯楽や外食等を楽しむ場所がない
8. その他（ ）

問6 あなたは、清掃・美化活動、サークル活動、まちづくり活動など、地域が中心となった活動には、どのように参加したいと思いますか。（○印はいくつでも）

1. 企画・運営者として積極的に参加したい
2. 企画・運営の手伝いとして参加したい
3. 企画・運営してくれる人がいれば参加したい
4. 参加したいと思わない

問7 あなたは、この1年間に、どのような地域活動に参加していますか。
（○印はいくつでも）

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 自治会活動 | 2. PTA、子ども会育成活動 |
| 3. 防犯・交通安全活動 | 4. 消防団・自主防災活動 |
| 5. 趣味などの同好会・サークル活動 | 6. 福祉活動 |
| 7. 地域おこしなどまちづくり活動 | |
| 8. ボランティア活動（具体的に： ） | |
| 9. NPO活動（具体的に： ） | |
| 10. その他（具体的に： ） | |
| 11. 参加していない | |

問8 あなたは、地域活動に参加する上で、支障になることがありますか。

(○印はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 仕事をもっているので時間がない | 2. 家事・育児に忙しくて時間がない |
| 3. 家族の支援・理解がない | 4. 介護で時間がない |
| 5. 健康や体力に自信がない | 6. 人間関係がわずらわしい |
| 7. どのような活動があるのか情報が少ない | 8. 子どもを見てくれる人や施設がない |
| 9. 身近なところに活動の場が見つからない | 10. 興味をもてる活動が見つからない |
| 11. その他 (|) |

問9 あなたは、自治会などご自分の地域コミュニティにどのようなことを期待しますか。

(2つまで○印)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 緊急事態が起きたときの対応 | 2. 防災・防犯などの日常協力体制 |
| 3. 景観保護などの環境づくり | 4. リサイクル活動や環境保全の活動 |
| 5. 子どもや高齢者のお世話などの助け合い | 6. 一人暮らし高齢者などの見守り活動 |
| 7. お祭りなど住民間の交流の場の確保 | 8. 日常的なコミュニケーションの場の確保 |
| 9. その他 (|) |

問10 人口・世帯数の減少や高齢化の進行が予想されますが、今後の自治会のあり方についてどのようにお考えですか。(1つに○印)

- | |
|---|
| 1. 少ない人数や世帯でもこれまで通りの活動を継続する |
| 2. 他の自治会と合併するなどして、組織を再編し機能の補強を図る |
| 3. 行事等を減らし、活動を縮小する |
| 4. 自治会とは別の形(有償ボランティアや民間事業者等の利用)で、地域課題の解決を図る |
| 5. その他 (|



就労について

★現在、働いていない方（主婦・主夫、無職・休職中）にお伺いします。（学生は除く。）

働いている方は問 13 へ

問 11 働きたい意向はありますか。(1つに○印)

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 1. 現在、求職中である | 3. 働く意向はない |
| 2. 働きたい意向はあるが、事情があり今は働いていない | |

「1. 現在、求職中である」または「2. 働きたい意向はあるが、事情があり今は働いていない」と回答した方におたずねします。

問12 どのような環境が整えば、働きやすいと思いますか。(1つに○印)

1. 希望の職種がある（具体的希望： ）
2. 在宅勤務や短時間勤務による柔軟な働き方が導入されている
3. 保育料の軽減
4. 子どもの預け先（保育園、学童保育）が確保できる
5. もしもの時に頼れる親戚や知人が近くにいる
6. 仕事と家庭（育児・介護等）を両立できる職場がある
7. 介護老人福祉施設に要介護者を預けられる
8. 職能技能等の習得機会の拡充・支援
9. 町内に高齢者が働きやすい職種や職場がある（具体的希望： ）
10. 町内に女性が働きやすい職種や職場がある（具体的希望： ）
11. 町内に障がいや病気に理解のある職場がある（具体的希望： ）
12. その他（ ）



デジタル化について

問 13 日頃、主にどの SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を利用していますか。
(該当するものすべてに○印)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. X(旧 Twitter(ツイッター)) | 2. Facebook(フェイスブック) |
| 3. LINE(ライン) | 4. YouTube(ユーチューブ) |
| 5. Instagram(インスタグラム) | 6. TikTok(ティックトック) |
| 7. その他 () | 8. 利用していない |

問 14 あなたは、今後行政手続きや行政サービスがデジタル化されることで、どのように良くなることを期待しますか。(○印はいくつでも)

1. 転出入等の手続きが1ヶ所の窓口で済む
2. 届出や申請に必要な添付書類が減る
3. インターネット申請により、届出や申請の為に窓口に出向くことが不要になる
4. オンライン決済ができる
5. 窓口でキャッシュレスによる支払いができる
6. 災害発生時の緊急情報受信、被害・安否情報のやりとりができる
7. 健康診断の結果・医療機関の受信情報・処方内容をインターネット上で確認できる
8. インターネット上で子育て等の情報交換・相談(オンライン・チャット相談)ができる
9. 町 からプッシュ型情報配信がある
10. 行政が保有するデータを加工・利用できる(オープンデータ・匿名加工情報など)
11. 情報通信機器の操作支援や ICT(情報通信技術)の講習会が受けられる
12. 特にない
13. その他 具体的に： []

暮らしやすさの幸福度 (Well (ウェル) -Being (ビーイング)) について

「暮らしやすさの幸福度に関する調査」は、我が国の経済社会の構造を人々の満足度 (Well-being) の観点から多面的に把握し、政策運営に活かしていくことを目的としたものです。問4の「評価」「重要度」は川根本町の総合計画に掲げられた施策に対しての町民の皆さんの評価をお聞きするものですが、Well-being 調査は、総合的な主観的満足度を把握し、まちづくりに生かしていこうとするものです。

問15 生活環境に関する次の項目について、あなたのお考えにあてはまるものをお答えください。（それぞれ1つに○印）

項目 \ 選択肢	非常に あてはまる	ある 程度あてはまる	どちらとも いえない	あまり あてはまらない	全くあては まらない
記入例 医療機関が充実している	5	④	3	2	1
①医療機関が充実している	5	4	3	2	1
②介護・福祉施設のサービスが受けやすい	5	4	3	2	1
③日常の買い物にまったく不便がない	5	4	3	2	1
④飲食を楽しめる場所が充実している	5	4	3	2	1
⑤自宅には、心地のいい居場所がある	5	4	3	2	1
⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない	5	4	3	2	1
⑦適度な費用で住居を確保できる	5	4	3	2	1
⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	5	4	3	2	1
⑨楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	5	4	3	2	1
⑩子育て支援・補助が手厚い	5	4	3	2	1
⑪子どもたちがいきいきと暮らせる	5	4	3	2	1
⑫教育環境（小中高校）が整っている	5	4	3	2	1
⑬通学しやすい場所に学校がある	5	4	3	2	1
⑭行政は地域のことを真剣に考えていると思う	5	4	3	2	1
⑮公共施設は使い勝手がよく便利である	5	4	3	2	1
⑯行政サービスのデジタル化が進んでいる	5	4	3	2	1
⑰仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい	5	4	3	2	1
⑱地域の雰囲気は、自分にとって心地よい	5	4	3	2	1

項目 \ 選択肢	非常に あてはまる	ある 程度あてはまる	どちらとも いえない	あまりあては まらない	全くあては まらない
⑱ まちなか、公園、川沿い等で心地よく歩ける場所がある	5	4	3	2	1
⑳ 自慢できる町並み景観がある	5	4	3	2	1
㉑ 自慢できる自然景観がある	5	4	3	2	1
㉒ 身近に自然を感じることができる	5	4	3	2	1
㉓ 空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	5	4	3	2	1
㉔ リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組が盛んである	5	4	3	2	1
㉕ 地域の防災対策がしっかりしている	5	4	3	2	1
㉖ 防犯対策が整っており、治安がよい	5	4	3	2	1
㉗ 歩道や信号が整備されていて安心である	5	4	3	2	1

問 16 地域の人間関係に関する次の項目について、あなたのお考えにあてはまるものをお答えください。（それぞれ1つに○印）

項目 \ 選択肢	非常に あてはまる	ある 程度あてはまる	どちらとも いえない	あまりあては まらない	全くあては まらない
① 同じ地区に住む人たちを信頼している	5	4	3	2	1
② 地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への参加が盛んである	5	4	3	2	1
③ 困った時に相談できる人が身近にいる	5	4	3	2	1
④ 同じ地区の人が困っていたら手助けをする	5	4	3	2	1
⑤ この地区に対して愛着を持っている	5	4	3	2	1
⑥ この地区には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	5	4	3	2	1
⑦ 見知らぬ他者であっても信頼する	5	4	3	2	1
⑧ 同じ地区の人が自分をどう思っているかが気になる	5	4	3	2	1
⑨ 女性が活躍しやすい雰囲気がある	5	4	3	2	1

項目 \ 選択肢	非常に あてはまる	ある 程度あてはまる	どちらとも いえない	あまり あてはまらない	全く あてはまらない
⑩若者が活躍しやすい雰囲気がある	5	4	3	2	1
⑪自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う	5	4	3	2	1

問 17 自分らしい生き方に関する次の項目について、あなたのお考えにあてはまるものをお答えください。（それぞれ1つに○）

項目 \ 選択肢	非常に あてはまる	ある 程度あてはまる	どちらとも いえない	あまり あてはまらない	全く あてはまらない
①自分のことを好ましく感じる	5	4	3	2	1
②身体的に健康な状態である	5	4	3	2	1
③精神的に健康な状態である	5	4	3	2	1
④地域の文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	5	4	3	2	1
⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	5	4	3	2	1
⑥学びたいことを学べる機会がある	5	4	3	2	1
⑦やりたい仕事を見つけやすい	5	4	3	2	1
⑧適切な収入を得るための機会がある	5	4	3	2	1
⑨新たな事に挑戦・成長するための機会がある	5	4	3	2	1

問 18 あなたは、川根本町での暮らしをどの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点になると思いますか。（1つに○印）

とても幸せ とても不幸										
10点	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0点

問19 あなたは、現在住んでいる地域での暮らしにどの程度「満足」していますか。

「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。（1つに○印）

とても満足 ←————→ とても不満足										
10点	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0点

問20 あなたの地区の人々は、大体において、どれくらい「幸せ」だと思いますか。

「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。
ここでは、自分の同居家族は除いてお考えください。（1つに○印）

とても幸せ ←————→ とても不幸										
10点	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0点

問21 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。（1つに○印）

とても幸せ ←————→ とても不幸										
10点	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0点

住民参加のまちづくりについて

問22 町民の意向が川根本町の計画づくりやまちづくりの取組に反映されていると思いますか。
（1つに○印）

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 十分に反映されている | 2. ある程度反映されている |
| 3. まったく反映されていない | 4. どちらともいえない |



問 23 あなたは、川根本町のまちづくりの取組に意見を出したり、活動したりすることについて
どう思いますか。（1つに○印）

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 積極的に行いたい | 2. 機会があれば行いたい |
| 3. あまり行わず、行政に任せたい ⇒問 25 へ | 4. わからない ⇒問 25 へ |

「1. 積極的に行いたい」または「2. 機会があれば行いたい」と回答した方におたずねします。

→ 問 24 川根本町の計画づくりやまちづくりの取組について、どのように関わりたいと思いますか。（○印はいくつでも）

- | |
|------------------------------------|
| 1. 審議会や委員会などのメンバーとして参加したい |
| 2. 町が開催する住民との意見交換の場に参加したい |
| 3. インターネットや手紙などで意見募集の機会があれば意見を出したい |
| 4. 町議会議員や自治会長を通じて意見を出したい |
| 5. 自治会など地域のまちづくり活動への参加を通じて関わりたい |
| 6. NPOなどの住民活動団体への参加を通じて関わりたい |
| 7. その他（具体的に： _____） |

行政施策全般について

問 25 今後、川根本町はどのようなまちになってほしいですか。（3つまで○印）

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 自然豊かなまち |
| 2. 商業や観光業が盛んで活力あるまち |
| 3. 歴史・文化・芸能が盛んなまち |
| 4. 通勤や通学、買い物などが便利で生活しやすいまち |
| 5. 子どもや高齢者、障がい者などすべての人が安心して安全に暮らせるまち |
| 6. 次世代を担う子ども達の教育環境が充実したまち |
| 7. 生涯学習やスポーツ活動等が充実したまち |
| 8. 災害に対する対策が充実し、犯罪の不安のない安全なまち |
| 9. コミュニティやボランティア活動など住民活動が活発なまち |
| 10. その他（具体的に： _____） |

問 26 川根本町に関する情報を、どのようにして入手していますか。(1つに○印)

1. 広報かわねほんちょう (広報紙)	2. 町のホームページ・町公式 LINE
3. 新聞・テレビ等のマスコミ	4. インターネット上の掲載記事
5. ラジオ	6. 自治会長を通して
7. 防災無線	8. その他 ()

問 27 行政の効率性を高めるために必要だと思うことはどのようなことですか。(○印はいくつでも)

1. 職員の資質と能力の向上を図る
2. 町民とのコミュニケーションを密にし、行政への町民参加を啓発する
3. 安定した財源の確保と計画的な財政運営を進める
4. 行政の情報提供・公開に努め、広報活動を充実させる
5. 事務の見直しを行い、適正な職場管理と定員管理を行う
6. イベント等の事業見直しを行い、合理化、簡素化を図る
7. 各種委員会組織等の見直しと運営の合理化、簡素化を図る
8. 情報通信機器を導入するなど I C T の積極活用を図る
9. その他 ()

◎あなたの生活で、現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことやまちづくりについて、ご意見などがありましたら、率直なお考えやご要望をお聞かせください。

自由ご意見欄

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

もう一度、記入漏れがないかご確認いただき、同封の返信用封筒に切手を貼らずに入れ、令和 7 年●月●日 (●) までにポストに投函をお願いします。

川根本町の未来を考えるまちづくりアンケート調査
結果報告書(町民)

令和8年3月
川根本町 経営戦略課 町づくり推進室
〒428-0313 静岡県川根本町上長尾627
TEL:0547-56-2221
FAX:0547-56-2235